

平成 30 年度
狛江市後期基本計画の指標等に係る
市民アンケート
調査報告書

平成 30 年 7 月

狛 江 市

目 次

1. 調査概要	1
2. 回答者属性	3
3. 後期基本計画の指標に係る調査結果	5
4. 市民の分野別の関心度及び市の取組みに対する満足度に係る調査結果	53
5. 市民の分野別の関心度及び市の取組みに対する満足度に係る調査結果（記述）	58
【参考】調査票	131

1. 調査概要

i) 調査目的

本調査は、以下の事項の把握を目的とする。

- ① 粕江市後期基本計画に掲げる指標のうち、市民の状況等を対象とするものの現状値
- ② 各課から希望のあった調査
- ③ 粕江市総合戦略で掲げる KPI の進捗調査
- ④ 市民の分野別の関心度及び市の取組みに対する満足度

ii) 調査対象

住民基本台帳に登録されている市民のうち、平成 30 年 4 月 1 日現在で満 18 歳以上の者から無作為に抽出した 2,500 人

iii) 調査期間

平成 30 年 4 月 9 日から 5 月 2 日まで（24 日間）

iv) 調査方法

郵送配布・郵送回収

v) 設問

▽ 回答者属性

… 6 問（性別、年齢、世帯構成、家族内の子ども・高齢者、居住地域、居住歴）

▽ 後期基本計画の指標に係る調査

… 10 問（防災関連 2 問、防犯関連 1 問、住宅関連 1 問、保健・医療関連 1 問、文化・芸術関連 1 問、歴史・伝統関連 1 問、農業関連 1 問、スポーツ関連 1 問、高齢者福祉関連 1 問）

▽ 各課から希望のあった調査

… 9 問（市民憲章関連 1 問、防災関連 2 問、公共施設関連 3 問、自転車利用関連 3 問）

▽ 粕江市総合戦略で掲げる KPI の進捗調査

… 3 問（定住関連 1 問、催事関連 1 問、公益活動関連 1 問）

▽ 市民の分野別の関心度及び市の取組みに対する満足度に係る調査

… 調査票に記載された各分野の中から関心のある分野を 5 つ選択し、その分野を選んだ理由を記述していただく。また、各分野における市の取組みに対する満足度を 5 段階で評価していただく。

vi) 調査結果

回収数…752 通（回収率 30.1%）

vii) 標本誤差

本アンケートは、無作為により抽出された満 18 歳以上の市民を対象に行ったものであり、全数調査を行った場合に得られる調査結果と誤差が生じる可能性がある。(標本誤差という。)

全数調査を行った場合の母集団を N とし、本アンケートの標本数(回答数)を n 、設問に対するある回答の比率を p とすると、標本誤差は次の式で表される。

$$\text{標本誤差} = \pm 1.96 \sqrt{\frac{(N-n)}{(N-1)} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

上記計算式から求められる本アンケートにおける各標本数及び各回答比率の標本誤差は下表のとおりとなる。

例えば、ある設問に対して 752 人が回答し、その内ある回答の比率が 30%であった場合、その回答比率の誤差の範囲は 3.24%以内(26.76%~33.24%)とみることができる。

回答比率 標本数	90%又は 10%程度	80%又は 20%程度	70%又は 30%程度	60%又は 40%程度	50%程度
752	±2.13	±2.82	±3.25	±3.43	±3.55
700	±2.21	±2.95	±3.38	±3.61	±3.69
600	±2.39	±3.19	±3.65	±3.90	±3.98
500	±2.62	±3.49	±4.00	±4.28	±4.37
300	±3.39	±4.52	±5.17	±5.53	±5.65

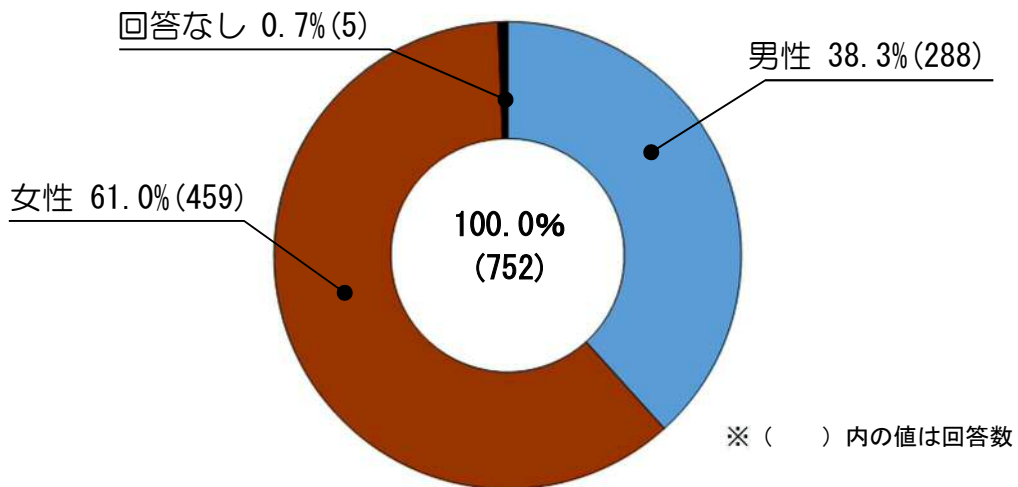
※なお、上記計算式の信頼度は 95%である。

viii) その他

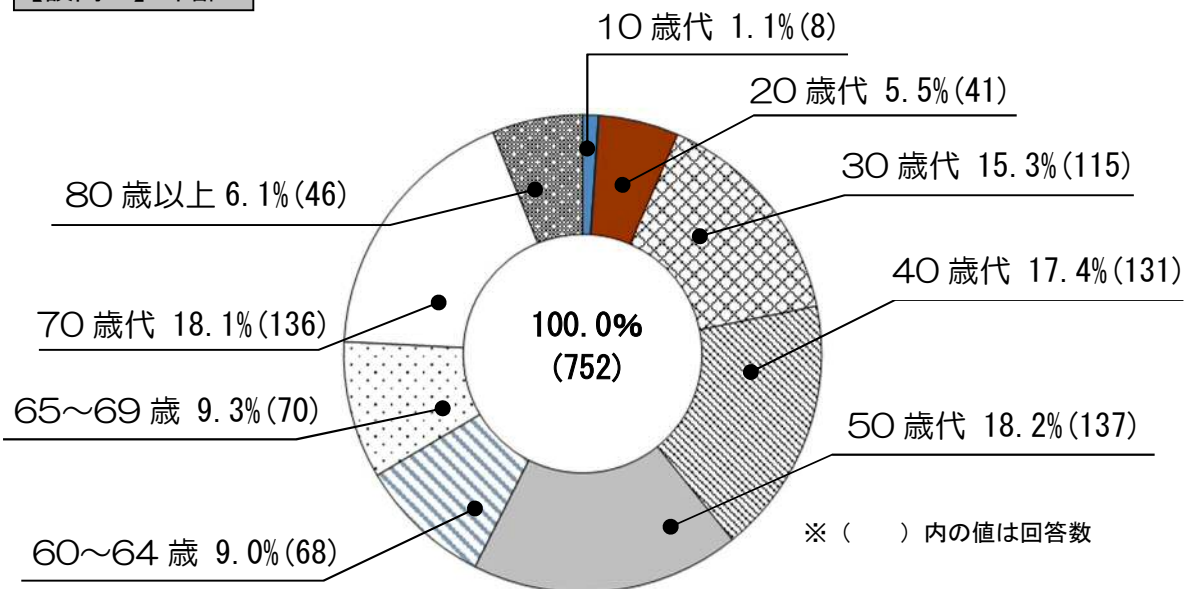
百分率(%)の計算は、小数点以下第2位を四捨五入して算出しているため、百分率の合計が 100%にならない場合がある。

2. 回答者属性

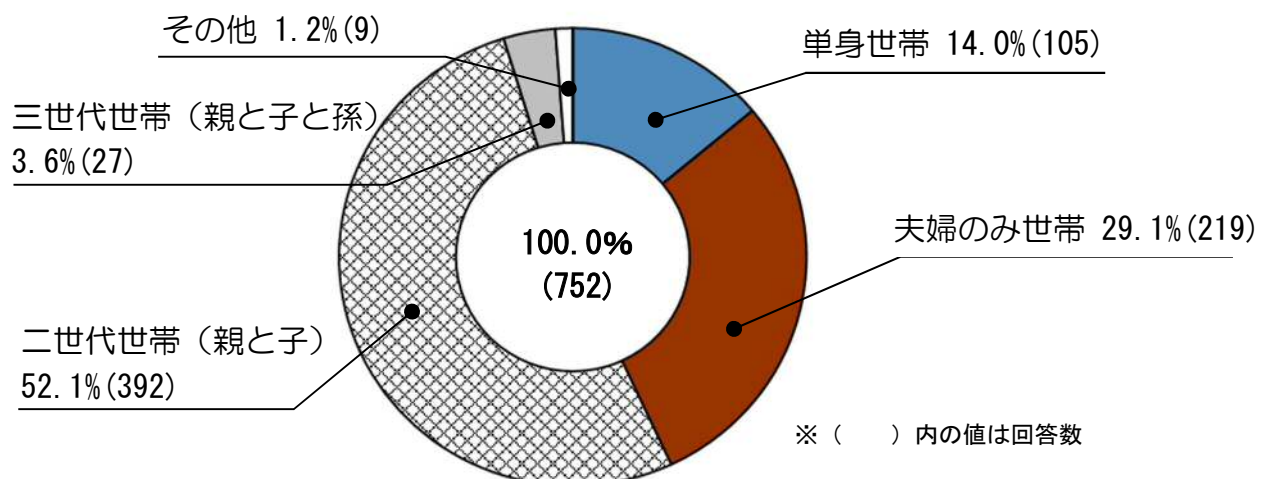
【設問1】性別



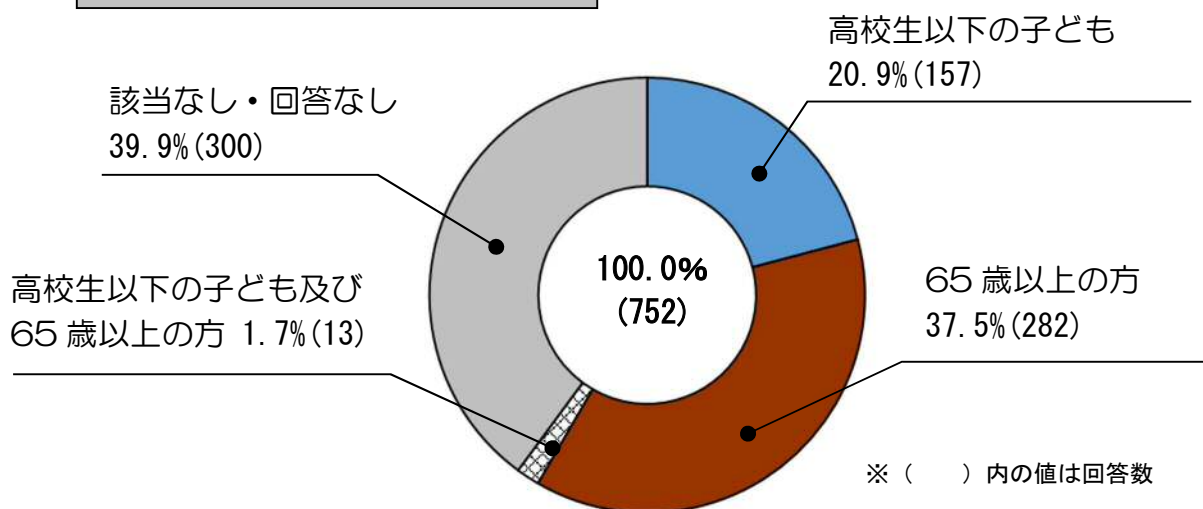
【設問2】年齢



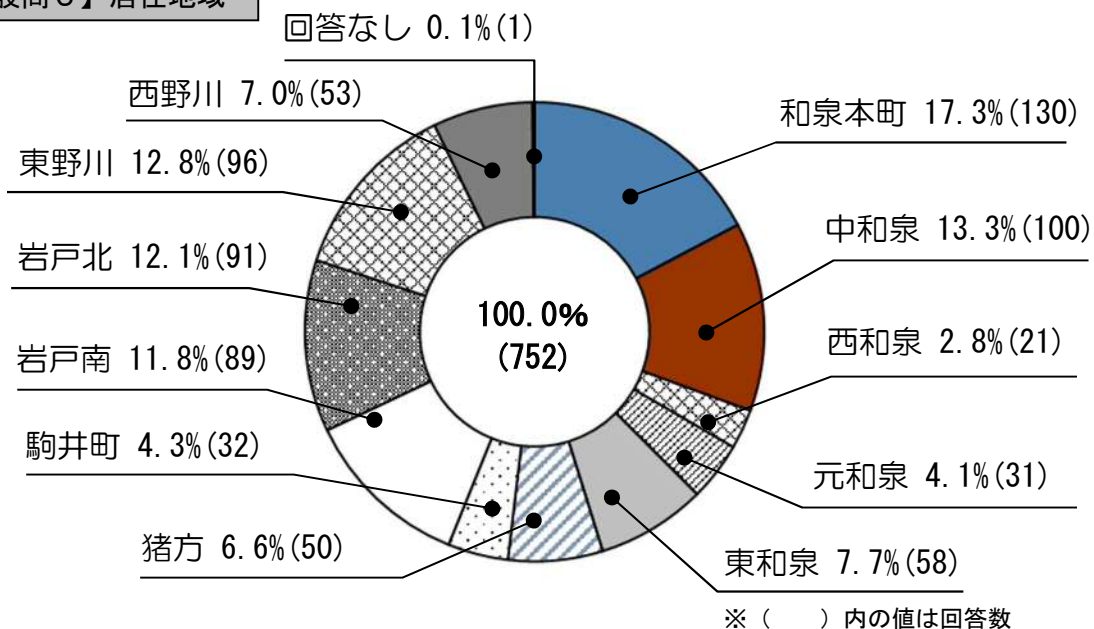
【設問3】世帯構成



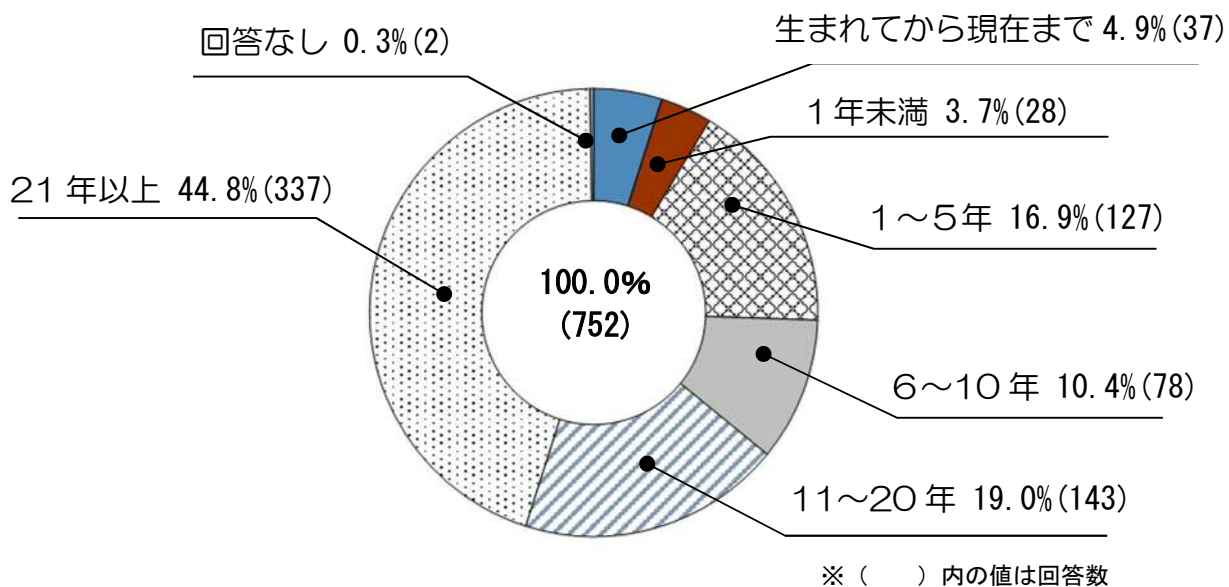
【設問 4】 家族内の子ども・高齢者



【設問 5】 居住地域



【設問 6】 居住歴



3. 後期基本計画の指標に係る調査結果

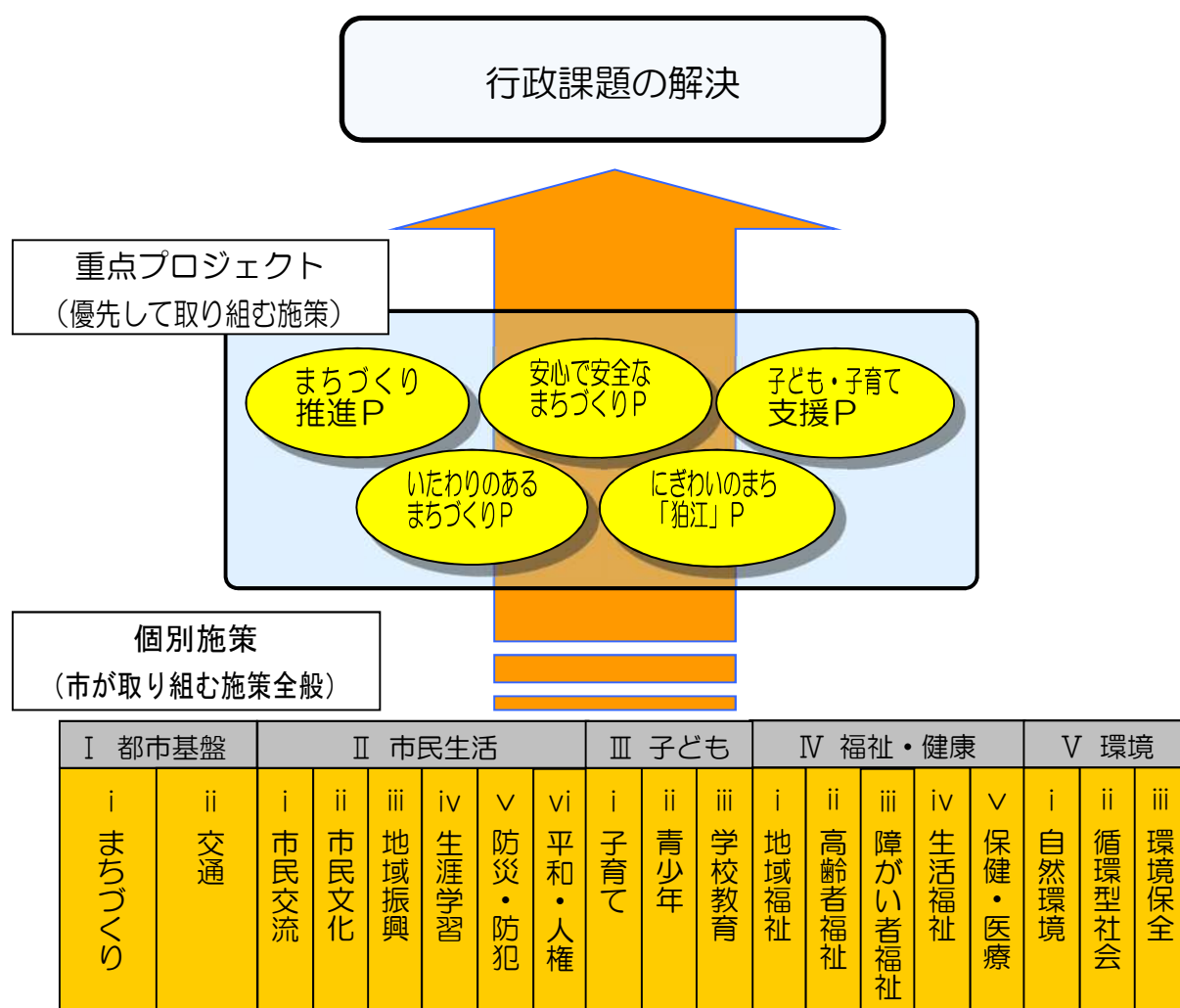
狛江市後期基本計画では、取組みの進捗状況を測るために指標を設定しており、このうち、市民の状況等を対象とするものの現状値を把握するためのアンケート調査を行った。

ここでは、各設問の調査結果と併せて、指標値の推移、関連する指標・施策、回答者属性を交えた集計（クロス集計）を記載している。

なお、後期基本計画は、優先して取り組むべき施策を「重点プロジェクト」として位置付けており（「後期基本計画のつくり」参照。）、この「重点プロジェクト」に関連する指標については、計画最終年度である31年度の目標値を掲げている。

【参考】 狛江市後期基本計画のつくり

基本構想「私たちがつくる水と緑のまち」の実現



設問一覧

設問		ページ
問 7※	あなたは、今後も狛江市に住み続けたいと思いますか。	9
問 8※	あなたが考える、狛江市の将来めざしたいイメージを3つ選んでください。	11
問 9	あなたは、平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの間に、狛江市が主催する総合防災訓練や水防訓練のほか、お住まいの地域や学校で行われている防災訓練や講演会など、防災に関する催しに参加しましたか。	13
問 10	あなたは、地震や台風などの自然災害に対して、非常食の準備や防災グッズの用意など、何らかの備えをしていますか。	15
問 11※	あなたは、市で作成している「狛江市防災ガイド」に掲載しているハザードマップ（多摩川はん乱版・集中豪雨版）を知っていますか。	17
問 12※	あなたは、水害や地震災害が発生した場合や発生危険性がある場合、市から災害情報をどのような方法で入手したいですか。（該当するものすべてに○をつけてください。）	19
問 13	あなたは、空き巣・ひったくり・振り込め詐欺など、身近で起こり得る犯罪の被害にあわないよう、何らかの対策をとったり、心がけていることはありますか。	21
問 14	あなたがお住まいの住宅は、昭和 56 年 6 月 1 日以降に建てられたもの（新耐震基準により建てられた住宅）、または、その日より前に建てられた住宅で既に耐震化されているものですか。	23
問 15	あなたは、かかりつけの医療機関がありますか。	25
問 16	あなたは、平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの間に、コンサートホールや美術館・ギャラリーで芸術を鑑賞したり、自ら文化・芸術活動に取り組むなど、文化・芸術活動に触れる機会がありましたか。（自宅や通勤通学途中で音楽を聴くといったことは除外してください。）	27
問 17	あなたは、狛江市の歴史や伝統について、関心を持ったり、見聞きしたことがありますか。	29
問 18※	あなたは、平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの間に、狛江市内で開催されたイベントや催しに何回参加・見学しましたか。	31
問 19	あなたは、狛江産の野菜をどれくらいの頻度で食べていますか。	33
問 20	あなたは、週に 1 回以上の頻度でスポーツ活動をしていますか。	35
問 21※	あなたは、市民公益活動に取り組んでいますか。	37
問 22※	あなたの公民館の利用頻度を教えてください。	39
問 23※	問 22 で「3. 年に数回程度」、「4. 全く利用したことがない」とお答えいただいた方に伺います。公民館をあまり利用しないのはなぜですか。	41
問 24※	あなたは、市民活動支援センター「こまえくぼ 1 2 3 4」を利用したことがありますか。	43
問 25	あなたは、日ごろから地域の行事や活動に参加したり、他の人とふれあう機会がありますか。	45
問 26※	あなたは、狛江市でコミュニティサイクルが導入されたら、利用しますか。	47
問 27※	問 26 で「1. 利用したい」、「2. 近隣自治体でも移動可能であれば利用したい」とお答えいただいた方に伺います。利用目的は何ですか。	49
問 28※	市では、駅周辺等に自転車放置禁止区域を設置し、歩行スペース確保のために自転車の撤去をしています。あなたが追加で行うべきだと思うのはどれですか。	51

※後期基本計画の指標とは直接関連はないが、市民の方の状況を把握するための設問

ページの見方

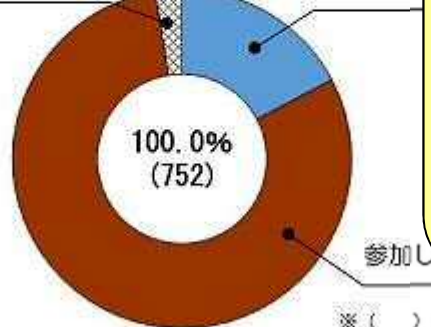
各設問の回答結果を円グラフで表示している。

【設問 9】 あなたが住んでいる地域から平成 30 年 3 月 31 日までの間に、狛江市が主催する総合防災訓練や水防訓練のほか、お住まいの地域や学校で行われている防災訓練や防災講座など、防災に関する催しに参加したことがありますか。

▼ 調査結果

回答なし 2.5%(19)

参加した



平成 23 年度（計画当初値）からの指標値の推移を示している。

※ 後期基本計画は、平成 25 年度が計画開始年度となるが、平成 24 年度に策定作業を行ったため、計画当初値は、平成 23 年度となる。

各設問により現状値を把握する指標名と、その指標が関連する施策を記載している。

▼ 後期基本計画との関連

設問により現状値を把握する指標

「昨年 1 年間に防災に関する催しに参加したことがある市民の割合 (%)」(参加した市民の割合)

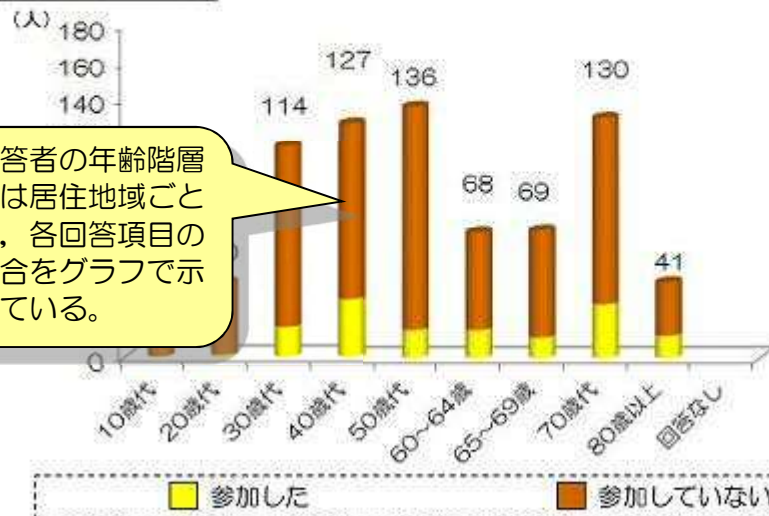
指標に関連する施策

重点プロジェクト②「安心で安全なまちづくりプロジェクト」
 ◇ 地域の活動への支援
 ◇ 災害対応体制の整備

▼ 指標値の推移



▼ 年齢別クロス集計



回答者の年齢階層又は居住地ごとに、各回答項目の割合をグラフで示している。

ページの見方

【参考】その他回答者属性とのクロス集計

各設問の回答者属性を表示している。

各回答者属性による回答結果の割合を表示している。

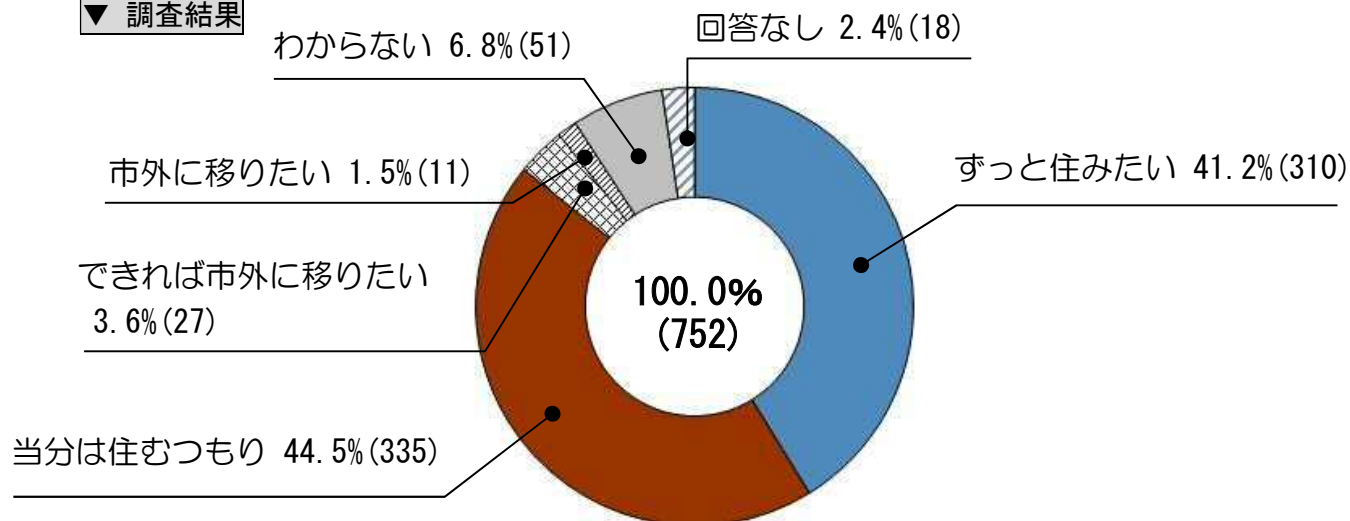
	回答	参加した	参加していない
年齢	10 歳代	15%	85%
	20 歳代	20%	80%
	30 歳代	0%	100%
	40 歳代	3%	98%
	50 歳代	14%	86%
	60 歳代	24%	76%
	65～69 歳	11%	89%
	70 歳代	22%	78%
	75～79 歳	16%	84%
	80 歳代	22%	78%
	80 歳以上	29%	71%
世帯	単身世帯	19%	81%
	夫婦のみ世帯	19%	81%
	二世帯世帯（親・子）	17%	83%
	三世帯世帯（親と子と孫）	12%	88%
	その他	38%	63%
家族	高校生以下の子ども	27%	73%
	65 歳以上の方	19%	81%
	高校生以下の子ども及び 65 歳以上の方	17%	83%
住所	和泉本町	27%	73%
	中和泉	19%	81%
	西和泉	50%	50%
	元和泉	13%	87%
	東和泉	26%	74%
	猪方	15%	85%
	駒井町	19%	81%
	岩戸南	9%	91%
	岩戸北	9%	91%
	東野川	17%	83%
	西野川	6%	94%
居住歴	生まれてから現在まで	22%	78%
	1 年未満	11%	89%
	1～5 年	17%	83%
	6～10 年	16%	84%
	11～20 年	20%	80%
	21 年以上	18%	82%

※ 構成割合は四捨五入をしているため、その合計が 100 にならないものがある。

【設問 7】 あなたは、今後も粕江市に住み続けたいと思いますか。

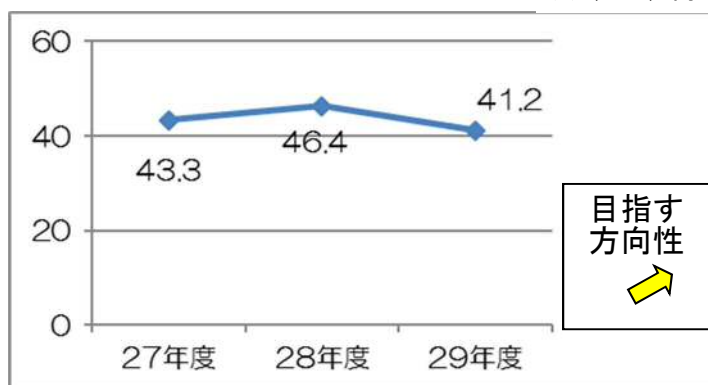
※ 本設問は、後期基本計画の指標とは直接関連のないものですが、市民の方の状況を把握するためにお聞きするものです。

▼ 調査結果

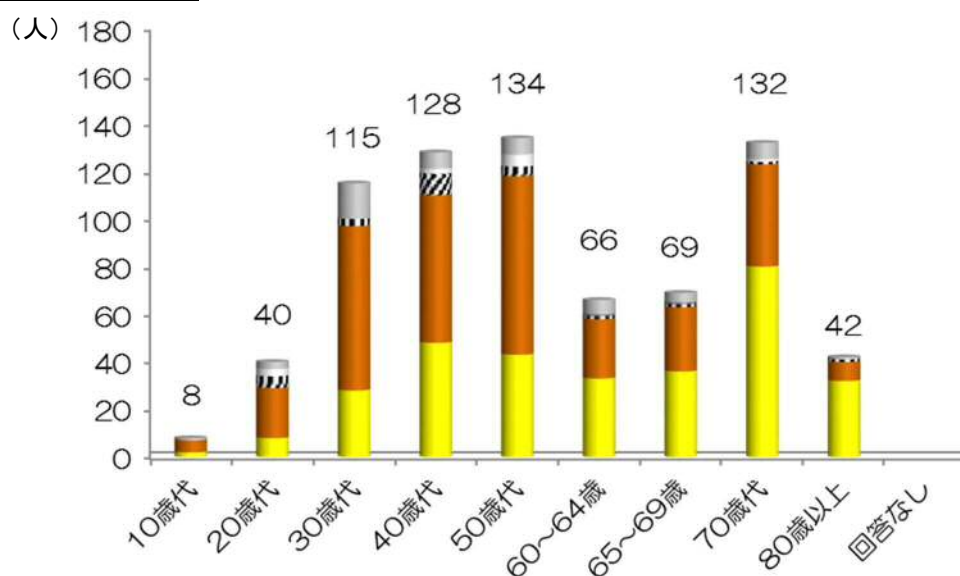


※ () 内の値は回答数

▼ 指標値の推移



▼ 年齢別クロス集計



ずっと住みたい
 当分は住むつもり
 市外に移りたい
 わからない

【参考】その他回答者属性とのクロス集計

	回答	ずっと住みたい	当分は住むつもり	できれば市外に移りたい	市外に移りたい	わからない
性別	男性	40%	43%	3%	2%	11%
	女性	43%	47%	4%	1%	4%
年齢	10 歳代	25%	63%	0%	0%	13%
	20 歳代	20%	53%	13%	8%	8%
	30 歳代	24%	60%	3%	0%	13%
	40 歳代	38%	48%	7%	2%	5%
	50 歳代	32%	56%	3%	4%	5%
	60～64 歳	50%	38%	3%	0%	9%
	65～69 歳	52%	39%	3%	0%	6%
	70 歳代	61%	33%	1%	1%	5%
	80 歳以上	76%	19%	2%	0%	2%
世帯	単身世帯	33%	46%	4%	1%	17%
	夫婦のみ世帯	46%	44%	2%	1%	6%
	二世帯世帯（親・子）	42%	48%	4%	2%	5%
	三世帯世帯（親と子と孫）	48%	37%	4%	0%	11%
	その他	56%	11%	11%	22%	0%
家族	高校生以下の子ども	38%	54%	4%	1%	3%
	65 歳以上の方	54%	36%	3%	1%	7%
	高校生以下の子ども及び 65 歳以上の方	54%	38%	8%	0%	0%
住所	和泉本町	44%	48%	2%	2%	4%
	中和泉	45%	40%	3%	2%	10%
	西和泉	35%	50%	0%	0%	15%
	元和泉	45%	42%	6%	0%	6%
	東和泉	39%	46%	5%	2%	9%
	猪方	43%	40%	4%	0%	13%
	駒井町	35%	55%	6%	0%	3%
	岩戸南	41%	48%	3%	3%	5%
	岩戸北	37%	48%	4%	2%	8%
	東野川	48%	45%	2%	1%	4%
	西野川	41%	45%	6%	0%	8%
居住歴	生まれてから現在まで	61%	25%	8%	3%	3%
	1 年未満	18%	79%	4%	0%	0%
	1～5 年	26%	59%	6%	1%	9%
	6～10 年	32%	55%	3%	3%	8%
	11～20 年	31%	59%	3%	3%	4%
	21 年以上	56%	32%	3%	1%	8%

※ 構成割合は四捨五入をしているため、その合計が 100 にならないものがある。

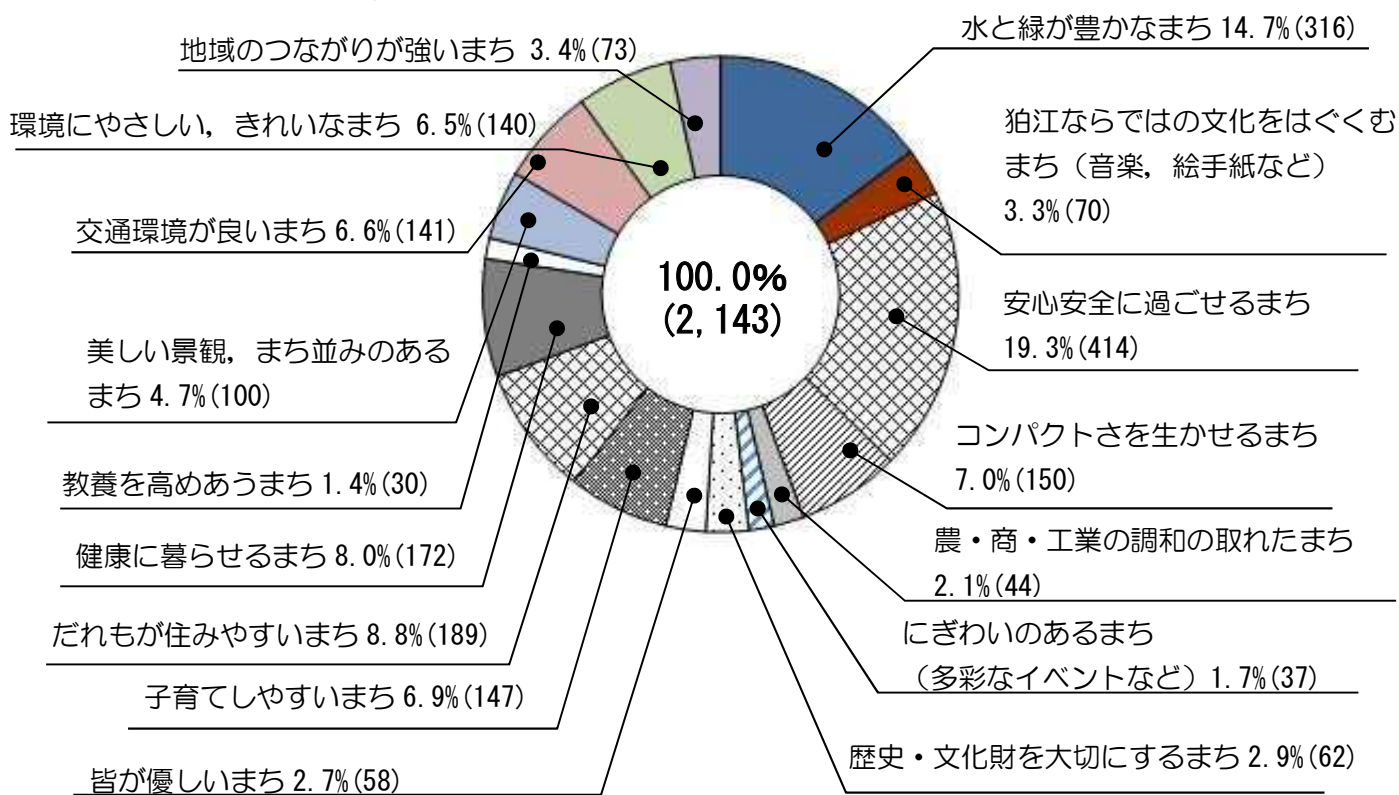
【設問8】 あなたが考える、狛江市の将来めざしたいイメージを3つ選んでください。

- ①水と緑が豊かなまち ②狛江ならではの文化をはぐくむまち（音楽、絵手紙など）
 ③安心安全に過ごせるまち ④コンパクトさを生かせるまち
 ⑤農・商・工業の調和の取れたまち ⑥歴史・文化財を大切にすまち
 ⑦にぎわいのあるまち（多彩なイベントなど） ⑧皆が優しいまち ⑨子育てしやすいまち
 ⑩だれもが住みやすいまち ⑪健康に暮らせるまち ⑫教養を高めあうまち
 ⑬美しい景観、まち並みのあるまち ⑭交通環境が良いまち ⑮環境にやさしい、きれいなまち
 ⑯地域のつながりが強いまち

※ 本設問は、後期基本計画の指標とは直接関連のないものですが、市民の方の状況を把握するためにお聞きするものです。

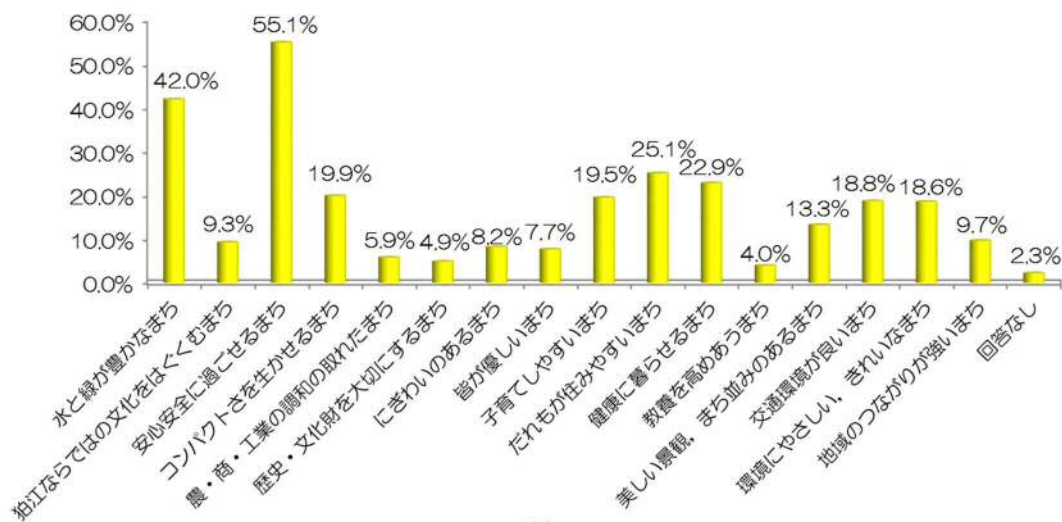
調査結果

（1）総回答数（2,143 件）のうち、各項目の占める割合



※（ ）内の値は回答数

（2）総回答者数（752 人）のうち、各項目を選択した割合



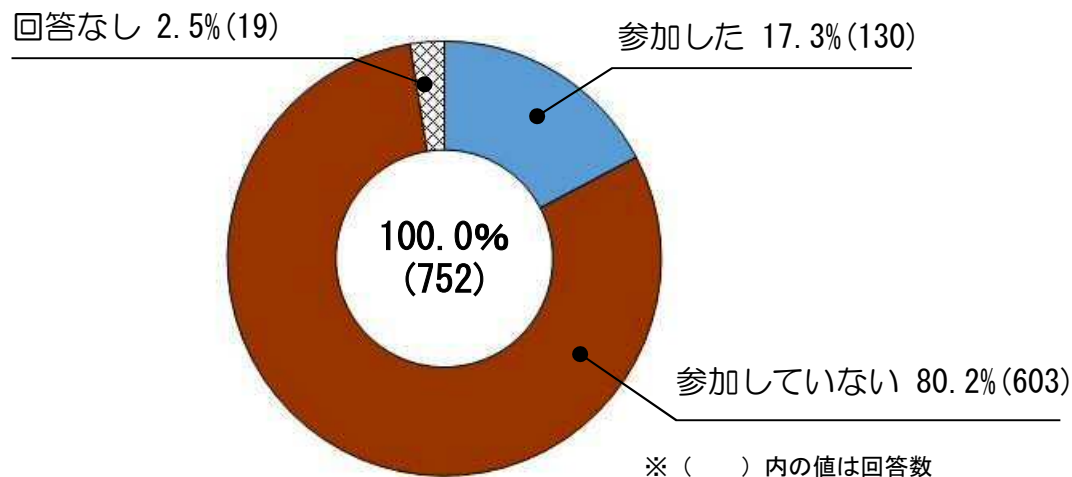
	回答	水と緑が豊かなまち	狛江ならではの文化をはぐくむまち（音楽、絵手紙など）	安心安全に過ごせるまち	コンパクトさを生かせるまち	農・商・工業の調和の取れたまち	歴史・文化財を大切にするまち	にぎわいのあるまち（多彩なイベントなど）	皆が優しいまち	子育てしやすいまち	だれもが住みやすいまち	健康に暮らせるまち	教養を高めあうまち	美しい景観、まち並みのあるまち	交通環境が良いまち	環境にやさしい、きれいなまち	地域のつながりが強いまち
性別	男性	15%	3%	18%	7%	3%	2%	3%	2%	5%	9%	8%	2%	5%	6%	7%	3%
	女性	14%	3%	20%	7%	2%	2%	3%	3%	8%	9%	8%	1%	4%	7%	6%	4%
年齢	10歳代	18%	0%	18%	0%	5%	9%	5%	14%	5%	14%	0%	0%	5%	0%	0%	9%
	20歳代	9%	2%	20%	7%	1%	1%	3%	3%	13%	11%	6%	0%	5%	10%	7%	4%
	30歳代	10%	2%	19%	8%	2%	1%	4%	2%	20%	7%	4%	1%	4%	7%	4%	2%
	40歳代	15%	3%	18%	8%	3%	1%	5%	3%	9%	7%	4%	2%	7%	7%	6%	2%
	50歳代	17%	5%	20%	9%	3%	2%	2%	2%	3%	10%	7%	1%	5%	6%	6%	3%
	60～64歳	17%	1%	18%	7%	2%	2%	2%	1%	3%	10%	10%	2%	5%	3%	10%	4%
	65～69歳	17%	4%	18%	8%	2%	3%	2%	5%	2%	5%	10%	2%	6%	5%	8%	3%
	70歳代	15%	5%	20%	5%	1%	2%	2%	2%	3%	10%	13%	2%	2%	6%	8%	4%
	80歳以上	17%	4%	25%	2%	2%	3%	0%	2%	0%	10%	14%	2%	1%	9%	6%	5%
世帯	単身世帯	14%	4%	18%	9%	2%	1%	2%	3%	5%	11%	8%	1%	1%	7%	7%	5%
	夫婦のみ世帯	16%	4%	19%	6%	2%	2%	2%	2%	6%	8%	9%	1%	5%	6%	7%	3%
	二世帯世帯（親・子）	15%	3%	20%	7%	2%	2%	3%	3%	8%	9%	7%	1%	5%	7%	6%	3%
	三世帯世帯（親と子と孫）	8%	4%	24%	6%	4%	1%	4%	1%	6%	10%	9%	0%	8%	4%	6%	5%
	その他	17%	0%	8%	13%	4%	0%	8%	0%	0%	8%	13%	4%	8%	4%	13%	0%
家族	高校生以下の子ども	13%	3%	20%	8%	2%	1%	4%	3%	16%	5%	5%	2%	5%	6%	4%	4%
	65歳以上の方	15%	4%	19%	5%	2%	2%	2%	3%	3%	10%	12%	2%	4%	6%	8%	3%
	高校生以下の子ども及び65歳以上の方	10%	5%	26%	8%	5%	0%	3%	3%	10%	3%	8%	0%	8%	10%	0%	3%
住所	和泉本町	15%	4%	19%	7%	2%	1%	3%	2%	7%	7%	6%	2%	4%	8%	7%	4%
	中和泉	15%	3%	18%	6%	2%	3%	4%	4%	8%	7%	8%	3%	5%	6%	7%	2%
	西和泉	15%	3%	19%	3%	2%	0%	2%	8%	2%	12%	10%	2%	3%	3%	7%	8%
	元和泉	12%	4%	19%	9%	0%	2%	2%	1%	6%	12%	8%	0%	6%	9%	8%	2%
	東和泉	17%	2%	20%	6%	3%	2%	2%	2%	8%	8%	8%	1%	5%	6%	3%	4%
	猪方	14%	2%	17%	9%	4%	2%	3%	1%	6%	8%	10%	1%	8%	6%	7%	3%
	駒井町	17%	2%	18%	2%	2%	1%	4%	4%	11%	13%	2%	0%	3%	8%	9%	2%
	岩戸南	13%	3%	22%	9%	3%	2%	3%	2%	7%	8%	10%	1%	4%	6%	6%	2%
	岩戸北	12%	4%	20%	7%	2%	1%	3%	3%	7%	12%	9%	2%	4%	7%	5%	2%
	東野川	17%	3%	20%	7%	1%	1%	1%	2%	5%	10%	8%	1%	4%	6%	8%	4%
	西野川	16%	3%	18%	7%	3%	2%	4%	1%	6%	8%	7%	1%	5%	7%	7%	6%
居住歴	生まれてから現在まで	14%	1%	20%	4%	2%	5%	6%	5%	2%	11%	6%	0%	8%	4%	8%	5%
	1年未満	11%	4%	19%	9%	2%	1%	1%	2%	12%	7%	9%	2%	6%	7%	4%	2%
	1～5年	13%	2%	18%	8%	2%	1%	4%	2%	14%	7%	5%	1%	6%	7%	7%	2%
	6～10年	15%	5%	19%	11%	1%	1%	5%	3%	10%	9%	4%	1%	5%	8%	3%	2%
	11～20年	18%	3%	19%	7%	2%	1%	2%	2%	7%	8%	7%	2%	5%	5%	6%	4%
	21年以上	14%	3%	20%	6%	2%	2%	2%	3%	3%	10%	11%	1%	3%	7%	7%	4%

※ 構成割合は四捨五入をしているため、その合計が100にならないものがある。

【参考】 その他回答者属性とのクロス集計

【設問 9】 あなたは平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの間に、狛江市が主催する総合防災訓練や水防訓練のほか、お住まいの地域や学校で行われている防災訓練や講演会など、防災に関する催しに参加しましたか。

▼ 調査結果



▼ 後期基本計画との関連

設問により現状値を把握する指標

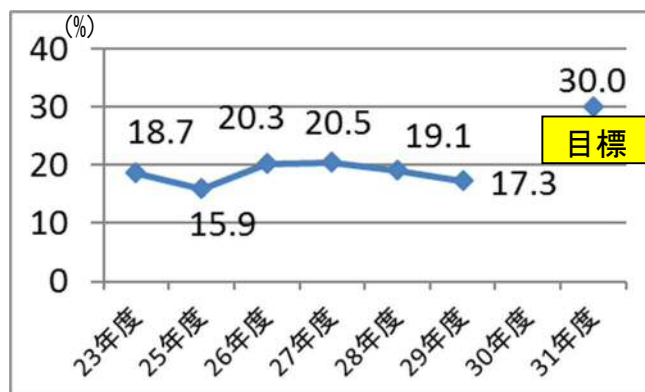
「昨年 1 年間に防災に関する催しに参加したことがある市民の割合 (%)」(参加した市民の割合)

指標に関連する施策

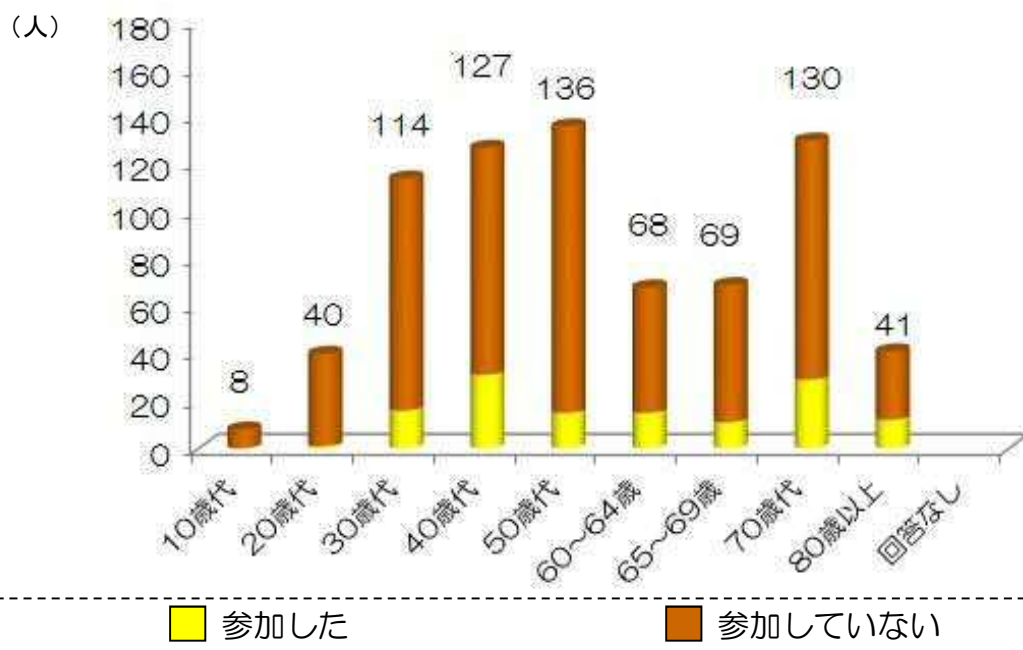
重点プロジェクト②「安心して安全なまちづくりプロジェクト」

- ◇ 地域の活動への支援
- ◇ 災害対応体制の整備

▼ 指標値の推移



▼ 年齢別クロス集計



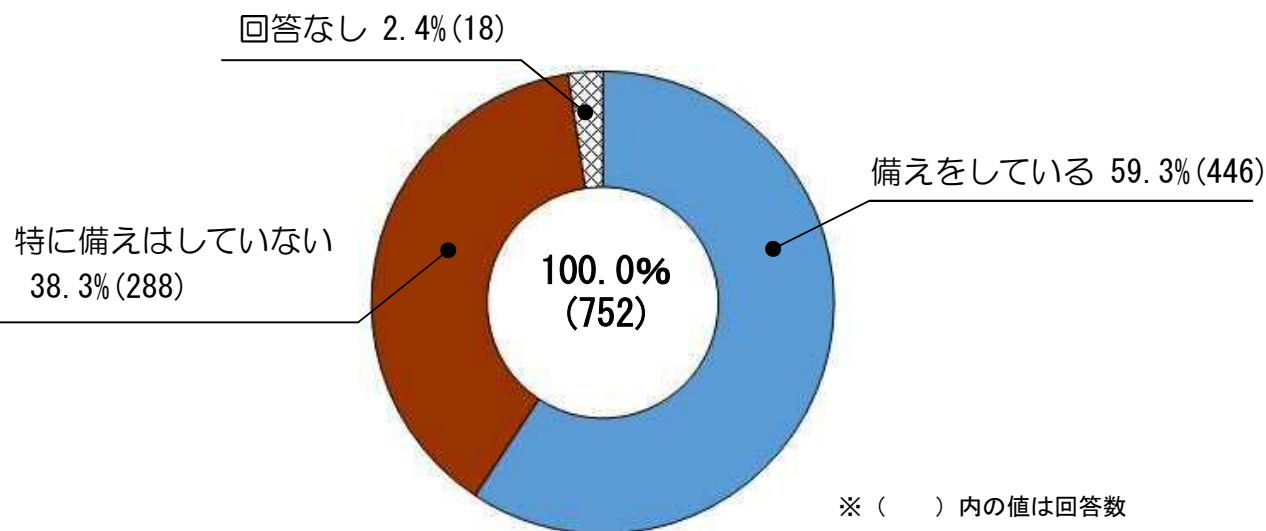
【参考】その他回答者属性とのクロス集計

	回答	参加した	参加していない
性別	男性	15%	85%
	女性	20%	80%
年齢	10 歳代	0%	100%
	20 歳代	3%	98%
	30 歳代	14%	86%
	40 歳代	24%	76%
	50 歳代	11%	89%
	60～64 歳	22%	78%
	65～69 歳	16%	84%
	70 歳代	22%	78%
	80 歳以上	29%	71%
世帯	単身世帯	19%	81%
	夫婦のみ世帯	19%	81%
	二世代世帯（親・子）	17%	83%
	三世代世帯（親と子と孫）	12%	88%
	その他	38%	63%
家族	高校生以下の子ども	27%	73%
	65 歳以上の方	19%	81%
	高校生以下の子ども及び 65 歳以上の方	17%	83%
住所	和泉本町	27%	73%
	中和泉	19%	81%
	西和泉	50%	50%
	元和泉	13%	87%
	東和泉	26%	74%
	猪方	15%	85%
	駒井町	19%	81%
	岩戸南	9%	91%
	岩戸北	9%	91%
	東野川	17%	83%
	西野川	6%	94%
居住歴	生まれてから現在まで	22%	78%
	1 年未満	11%	89%
	1～5 年	17%	83%
	6～10 年	16%	84%
	11～20 年	20%	80%
	21 年以上	18%	82%

※ 構成割合は四捨五入をしているため、その合計が 100 にならないものがある。

【設問 10】 あなたは、地震や台風などの自然災害に対して、非常食の準備や防災グッズの用意など、何らかの備えをしていますか。

▼ 調査結果



▼ 後期基本計画との関連

設問により現状値を把握する指標

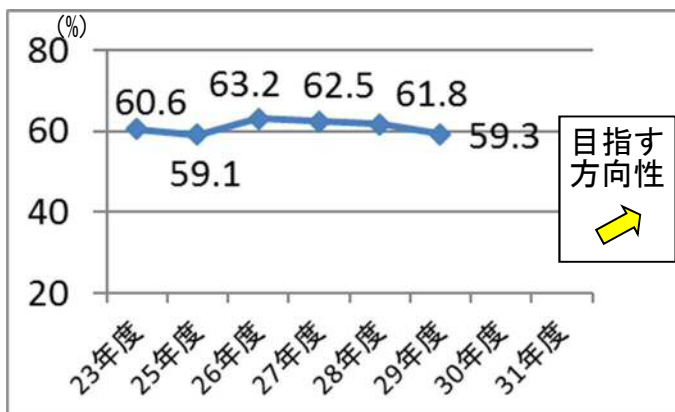
「自然災害に対して何らかの備えをしている市民の割合(%)」(備えをしている市民の割合)

指標に関連する施策

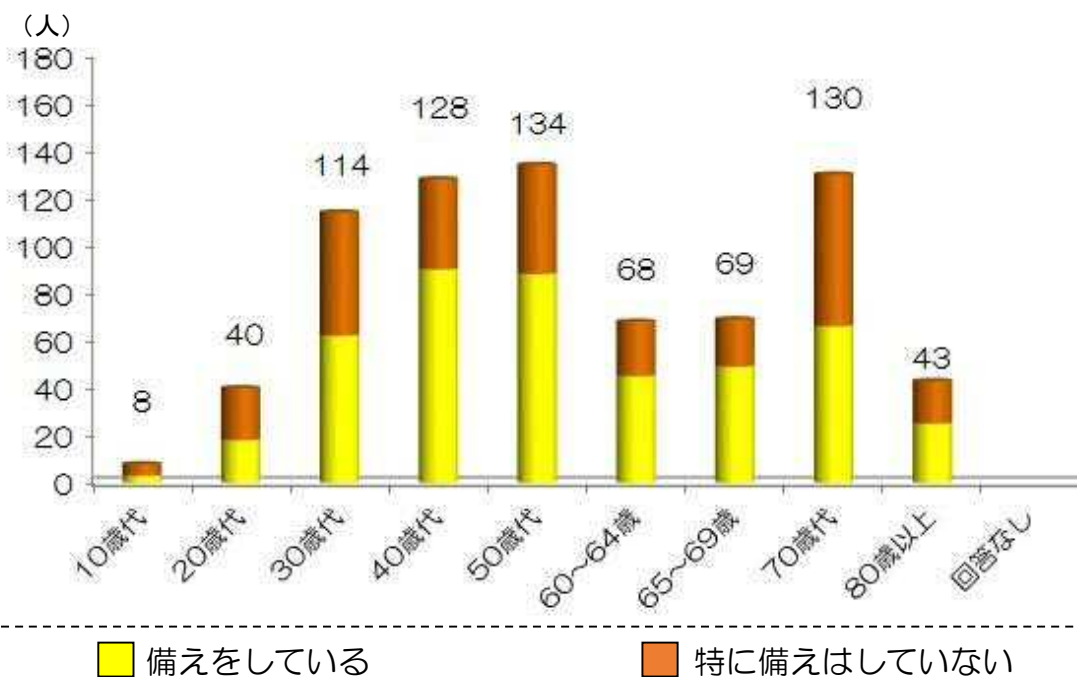
個別施策Ⅱ-ⅴ「防災・防犯」

◇ 地域との連携

▼ 指標値の推移



▼ 年齢別クロス集計



【参考】その他回答者属性とのクロス集計

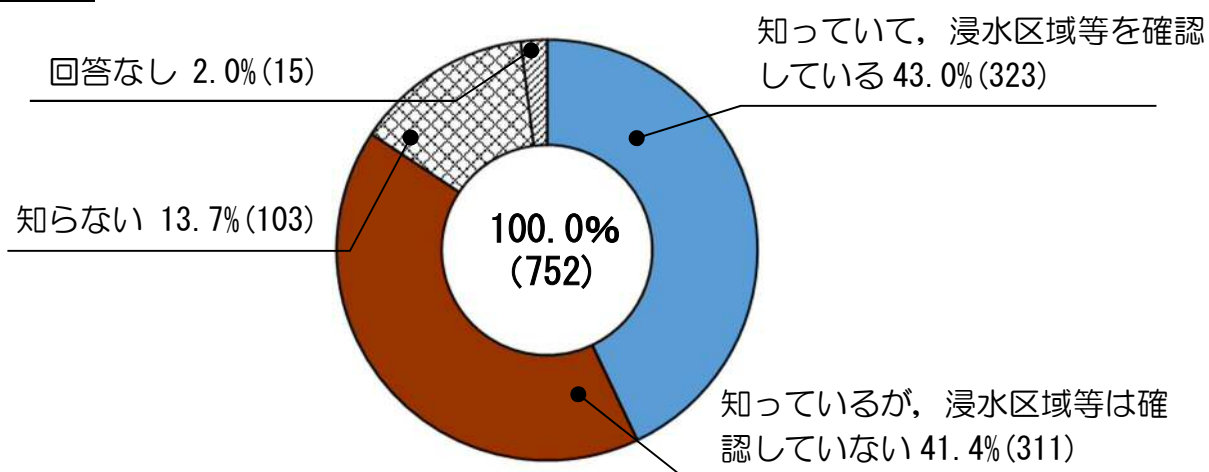
	回答	備えをしている	特に備えはしていない
性別	男性	56%	44%
	女性	63%	37%
年齢	10 歳代	38%	63%
	20 歳代	45%	55%
	30 歳代	54%	46%
	40 歳代	70%	30%
	50 歳代	66%	34%
	60～64 歳	66%	34%
	65～69 歳	71%	29%
	70 歳代	51%	49%
	80 歳以上	58%	42%
世帯	単身世帯	46%	54%
	夫婦のみ世帯	57%	43%
	二世帯世帯（親・子）	67%	33%
	三世帯世帯（親と子と孫）	63%	37%
	その他	50%	50%
家族	高校生以下の子ども	66%	34%
	65 歳以上の方	64%	36%
	高校生以下の子ども及び 65 歳以上の方	69%	31%
住所	和泉本町	64%	36%
	中和泉	60%	40%
	西和泉	50%	50%
	元和泉	52%	48%
	東和泉	62%	38%
	猪方	65%	35%
	駒井町	63%	37%
	岩戸南	63%	37%
	岩戸北	58%	42%
	東野川	61%	39%
	西野川	57%	43%
居住歴	生まれてから現在まで	49%	51%
	1 年未満	54%	46%
	1～5 年	56%	44%
	6～10 年	62%	38%
	11～20 年	69%	31%
	21 年以上	61%	39%

※ 構成割合は四捨五入をしているため、その合計が 100 にならないものがある。

【設問 11】 あなたは、市で作成している「狛江市防災ガイド」に掲載しているハザードマップ（多摩川はん乱版・集中豪雨版）を知っていますか。

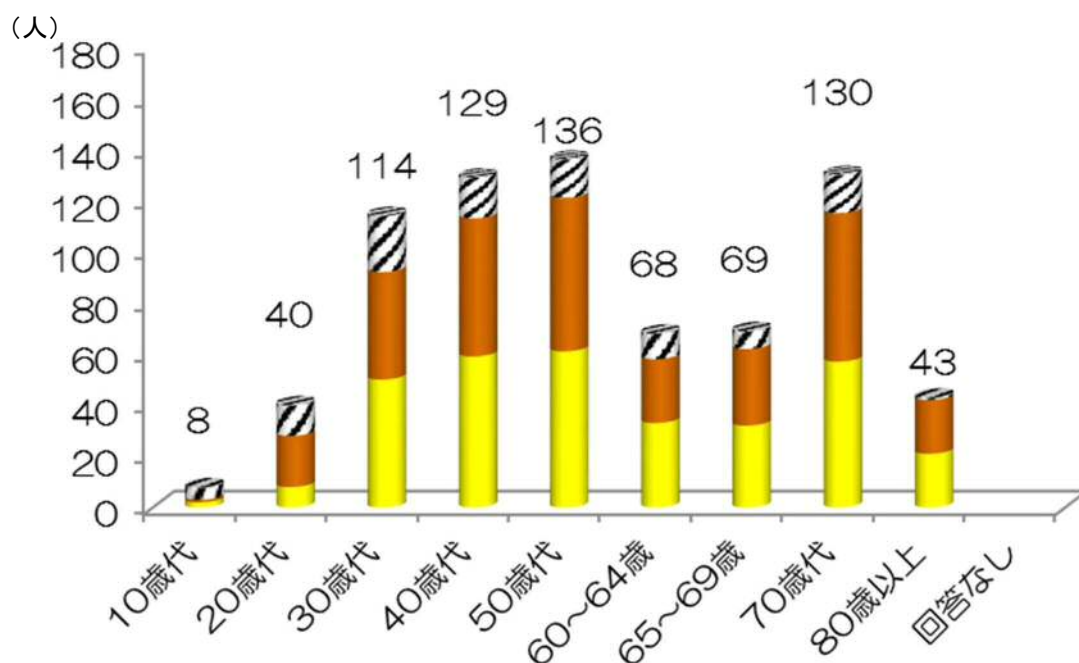
※ 本設問は、後期基本計画の指標とは直接関連のないものですが、市民の方の状況を把握するためにお聞きするものです。

▼ 調査結果



※ () 内の値は回答数

▼ 年齢別クロス集計



- 知っている、浸水区域等を確認している
- 知っているが、浸水区域等は確認し
- 知らない

【参考】 その他回答者属性とのクロス集計

	回答	知っていて、 浸水区域等を 確認している	知っている が、浸水区域 等は確認して いない	知らない
性別	男性	44%	40%	16%
	女性	43%	44%	13%
年齢	10 歳代	25%	13%	63%
	20 歳代	20%	50%	30%
	30 歳代	44%	37%	19%
	40 歳代	46%	42%	12%
	50 歳代	45%	44%	11%
	60～64 歳	49%	37%	15%
	65～69 歳	46%	43%	10%
	70 歳代	44%	45%	12%
	80 歳以上	49%	49%	2%
世帯	単身世帯	36%	45%	19%
	夫婦のみ世帯	45%	42%	13%
	二世帯世帯（親・子）	45%	42%	13%
	三世帯世帯（親と子と孫）	41%	52%	7%
	その他	56%	11%	33%
家族	高校生以下の子ども	50%	41%	9%
	65 歳以上の方	43%	44%	13%
	高校生以下の子ども及び 65 歳以上の方	38%	62%	0%
住所	和泉本町	47%	46%	7%
	中和泉	39%	44%	17%
	西和泉	37%	47%	16%
	元和泉	45%	45%	10%
	東和泉	47%	41%	12%
	猪方	51%	32%	17%
	駒井町	55%	32%	13%
	岩戸南	48%	38%	14%
	岩戸北	40%	43%	17%
	東野川	42%	39%	19%
	西野川	34%	55%	11%
居住歴	生まれてから現在まで	46%	32%	22%
	1 年未満	32%	32%	36%
	1～5 年	49%	38%	13%
	6～10 年	45%	41%	14%
	11～20 年	43%	41%	16%
	21 年以上	42%	47%	10%

※ 構成割合は四捨五入をしているため、その合計が 100 にならないものがある。

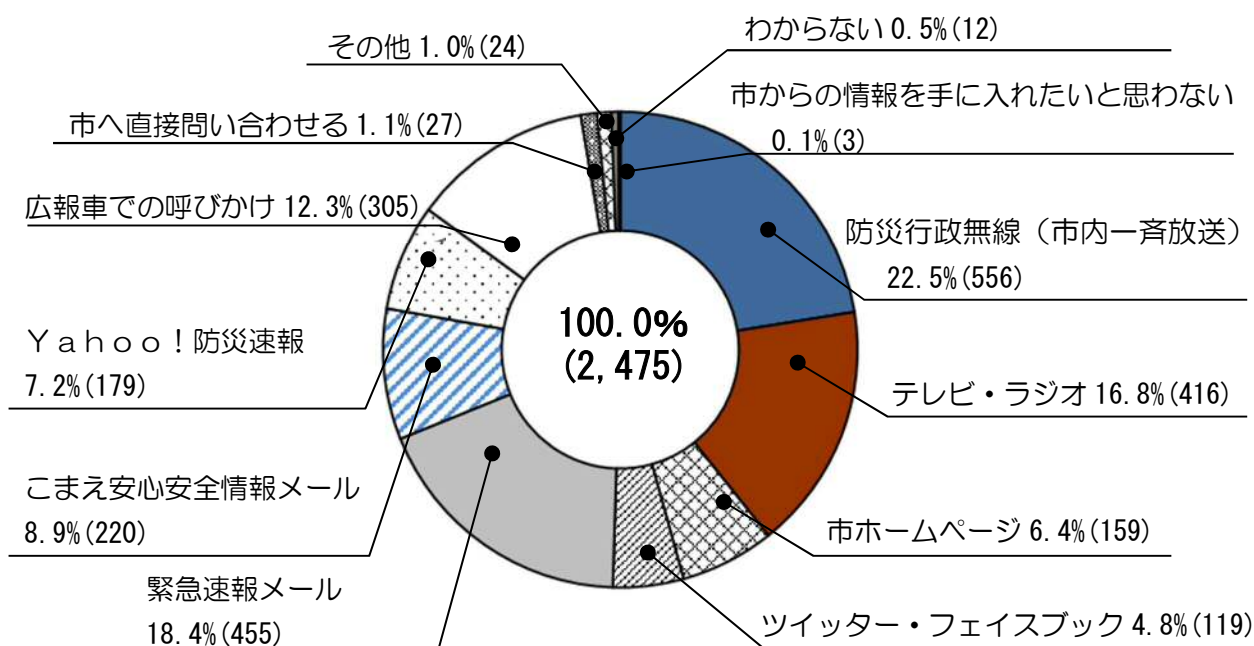
【設問 12】 あなたは、水害や地震災害が発生した場合や発生の危険性がある場合、市から災害情報をどのような方法で入手したいですか。（該当するものすべてに○をつけてください。）

- ①防災行政無線（市内一斉放送） ②テレビ・ラジオ ③市ホームページ
④ツイッター・フェイスブック ⑤緊急速報メール ⑥こまえ安心安全情報メール
⑦Yahoo! 防災速報 ⑧広報車で呼びかけ ⑨市へ直接問い合わせる
⑩その他 ⑪わからない ⑫市からの情報を手に入れたくないと思わない

※ 本設問は、後期基本計画の指標とは直接関連のないものですが、市民の方の状況を把握するためにお聞きするものです。

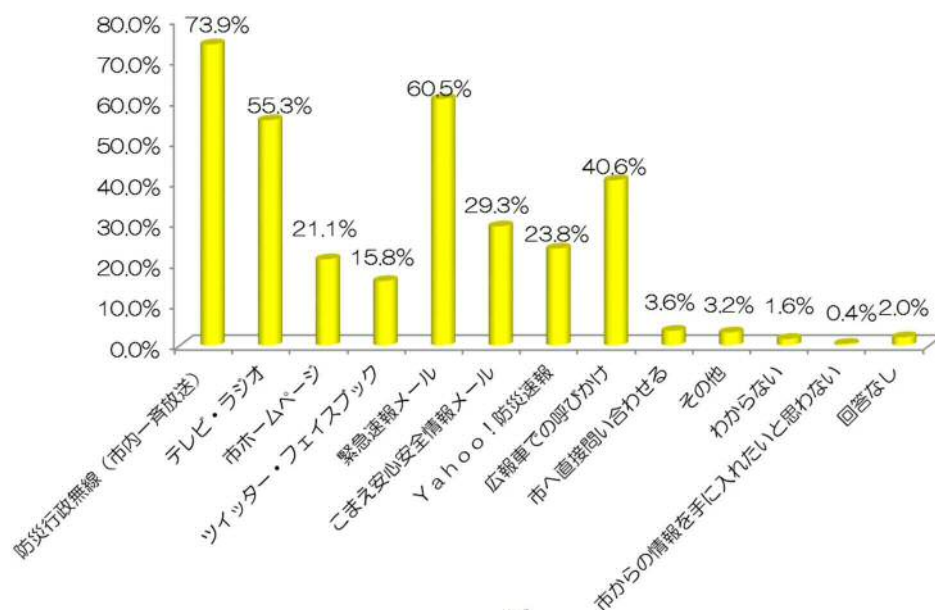
調査結果

（１）総回答数（2,475 件）のうち、各項目の占める割合



※（ ）内の値は回答数

（２）総回答者数（752 人）のうち、各項目を選択した割合



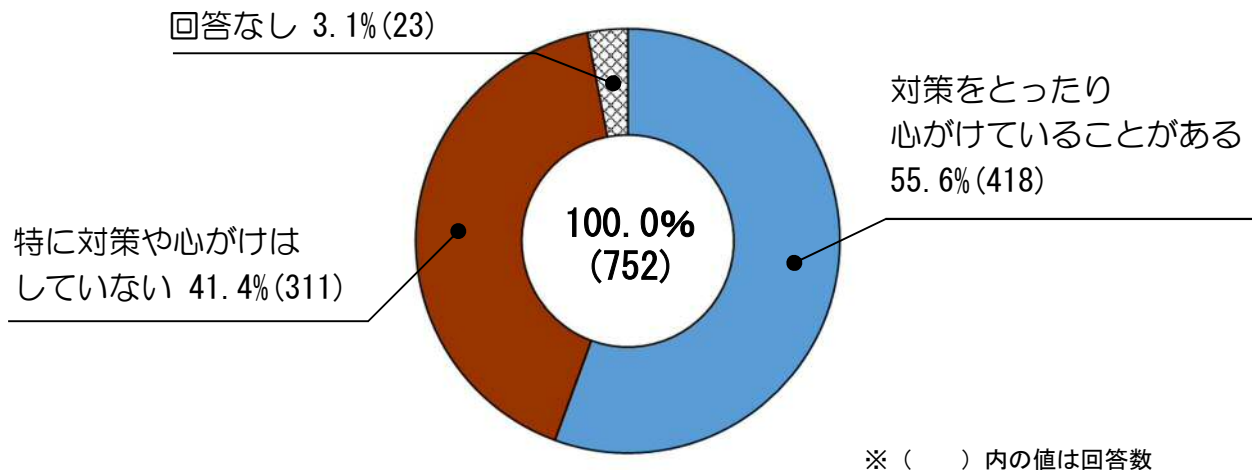
	回答	防災行政無線（市内一斉放送）	テレビ・ラジオ	市ホームページ	ツイッター・フェイスブック	緊急速報メール	こまえ安心安全情報メール	Yahoo!防災速報	広報車での呼びかけ	市へ直接問い合わせる	その他	わからない	市からの情報を手に入れたくない
性別	男性	24%	16%	6%	5%	17%	9%	7%	13%	1%	1%	1%	0%
	女性	22%	17%	7%	5%	19%	9%	8%	12%	1%	1%	0%	0%
年齢	10歳代	19%	15%	8%	15%	23%	0%	8%	12%	0%	0%	0%	0%
	20歳代	20%	20%	6%	15%	18%	3%	12%	6%	0%	1%	0%	0%
	30歳代	19%	14%	12%	7%	17%	9%	12%	9%	0%	1%	0%	0%
	40歳代	23%	14%	5%	6%	20%	12%	8%	9%	1%	1%	0%	0%
	50歳代	22%	16%	8%	6%	19%	9%	7%	11%	1%	0%	0%	0%
	60～64歳	23%	17%	6%	2%	22%	9%	8%	13%	0%	0%	0%	0%
	65～69歳	26%	15%	4%	1%	20%	10%	6%	13%	2%	0%	0%	0%
	70歳代	24%	21%	3%	1%	17%	8%	2%	18%	2%	1%	1%	0%
	80歳以上	28%	23%	0%	1%	9%	7%	2%	21%	3%	2%	3%	1%
世帯	単身世帯	23%	18%	6%	4%	18%	8%	7%	13%	1%	1%	1%	0%
	夫婦のみ世帯	23%	17%	6%	4%	18%	8%	6%	14%	2%	1%	0%	0%
	二世代世帯（親・子）	22%	17%	7%	5%	19%	9%	8%	12%	1%	1%	0%	0%
	三世代世帯（親と子と孫）	21%	15%	3%	7%	19%	9%	10%	11%	3%	1%	1%	0%
	その他	29%	6%	6%	6%	12%	24%	6%	6%	0%	6%	0%	0%
家族	高校生以下の子ども	21%	14%	8%	6%	18%	12%	10%	10%	1%	1%	0%	0%
	65歳以上の方	24%	19%	4%	2%	17%	9%	5%	16%	2%	1%	1%	0%
	高校生以下の子ども及び65歳以上の方	21%	10%	2%	4%	23%	8%	10%	13%	6%	2%	0%	0%
住所	和泉本町	24%	18%	7%	4%	19%	10%	5%	12%	1%	0%	0%	0%
	中和泉	21%	17%	6%	3%	19%	9%	6%	15%	2%	0%	0%	0%
	西和泉	29%	19%	5%	2%	21%	6%	3%	14%	0%	2%	0%	0%
	元和泉	22%	17%	7%	4%	15%	7%	10%	13%	4%	2%	0%	0%
	東和泉	21%	16%	7%	5%	17%	11%	7%	12%	1%	2%	0%	0%
	猪方	23%	16%	4%	7%	21%	8%	7%	9%	1%	1%	0%	1%
	駒井町	22%	14%	4%	5%	21%	9%	10%	14%	1%	1%	0%	0%
	岩戸南	21%	17%	7%	5%	19%	8%	9%	12%	0%	1%	0%	0%
	岩戸北	23%	16%	5%	6%	18%	8%	9%	10%	1%	1%	2%	0%
	東野川	21%	18%	7%	5%	18%	9%	8%	12%	1%	2%	0%	0%
	西野川	26%	16%	7%	5%	16%	9%	5%	13%	1%	1%	1%	0%
居住歴	生まれてから現在まで	26%	16%	4%	6%	20%	7%	7%	12%	1%	0%	0%	1%
	1年未満	19%	16%	12%	8%	22%	7%	7%	7%	1%	0%	0%	0%
	1～5年	21%	17%	9%	7%	17%	6%	9%	11%	1%	1%	0%	0%
	6～10年	22%	16%	8%	4%	20%	10%	9%	11%	0%	0%	0%	0%
	11～20年	23%	14%	6%	7%	18%	11%	8%	11%	1%	2%	0%	0%
	21年以上	23%	19%	5%	3%	18%	10%	6%	14%	1%	1%	1%	0%

【参考】その他回答者属性とのクロス集計

※ 構成割合は四捨五入をしているため、その合計が100にならないものがある。

【設問 13】 あなたは、空き巣・ひったくり・振り込め詐欺など、身近で起こり得る犯罪の被害にあわないよう、何らかの対策をとったり、心がけていることはありますか。

▼ 調査結果



▼ 後期基本計画との関連

設問により現状値を把握する指標

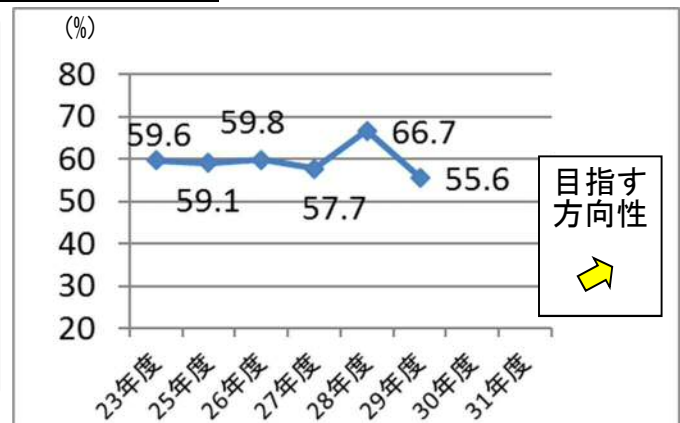
「空き巣・ひったくり・振り込め詐欺などの犯罪に対して何らかの対策をとったり心がけていることがある市民の割合(%)」(対策や心がけを行っている市民の割合)

指標に関連する施策

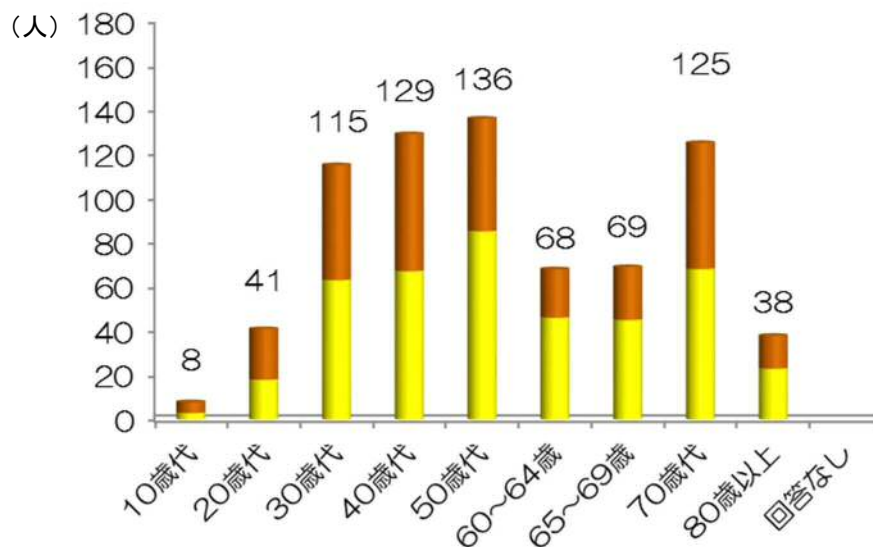
個別施策Ⅱ-Ⅴ「防災・防犯」

◇ 防犯対策の充実

▼ 指標値の推移



▼ 年齢別クロス集計



■ 対策をとったり心がけていることがある ■ 特に対策や心がけはしていない

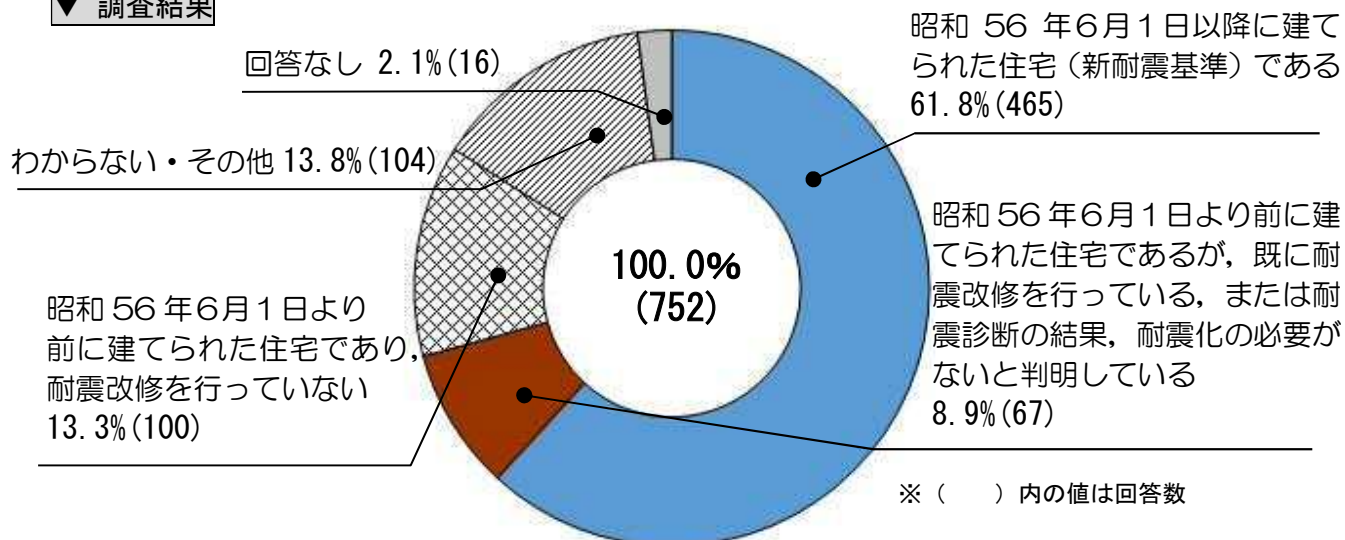
【参考】 その他回答者属性とのクロス集計

	回答	対策をとったり心がけていることがある	特に対策や心がけはしていない
性別	男性	51%	49%
	女性	61%	39%
年齢	10 歳代	38%	63%
	20 歳代	44%	56%
	30 歳代	55%	45%
	40 歳代	52%	48%
	50 歳代	63%	38%
	60～64 歳	68%	32%
	65～69 歳	65%	35%
	70 歳代	54%	46%
	80 歳以上	61%	39%
世帯	単身世帯	50%	50%
	夫婦のみ世帯	55%	45%
	二世帯世帯（親・子）	60%	40%
	三世帯世帯（親と子と孫）	70%	30%
	その他	43%	57%
家族	高校生以下の子ども	59%	41%
	65 歳以上の方	60%	40%
	高校生以下の子ども及び 65 歳以上の方	85%	15%
住所	和泉本町	54%	46%
	中和泉	54%	46%
	西和泉	65%	35%
	元和泉	48%	52%
	東和泉	55%	45%
	猪方	41%	59%
	駒井町	77%	23%
	岩戸南	66%	34%
	岩戸北	60%	40%
	東野川	61%	39%
	西野川	53%	47%
居住歴	生まれてから現在まで	53%	47%
	1 年未満	68%	32%
	1～5 年	50%	50%
	6～10 年	59%	41%
	11～20 年	55%	45%
	21 年以上	60%	40%

※ 構成割合は四捨五入をしているため、その合計が 100 にならないものがある。

【設問 14】 あなたがお住まいの住宅は、昭和 56 年 6 月 1 日以降に建てられたもの（新耐震基準により建てられた住宅）、またはその日より前に建てられた住宅で既に耐震化されているものですか。

▼ 調査結果



▼ 後期基本計画との関連

設問により現状値を把握する指標

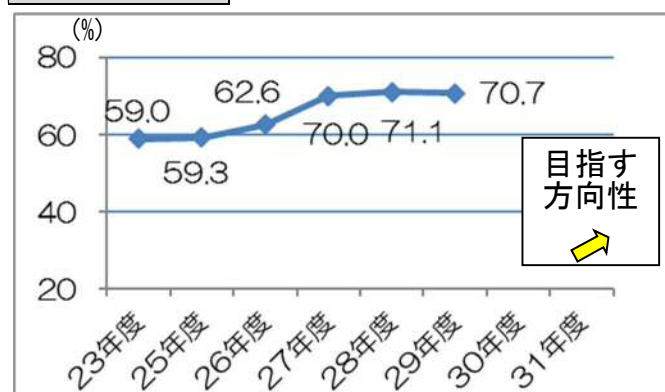
「耐震性能が確保された住宅に住んでいる市民の割合(%)」(新耐震基準、既に耐震改修を行っている又は耐震化の必要がない住宅に住む市民の割合)

指標に関連する施策

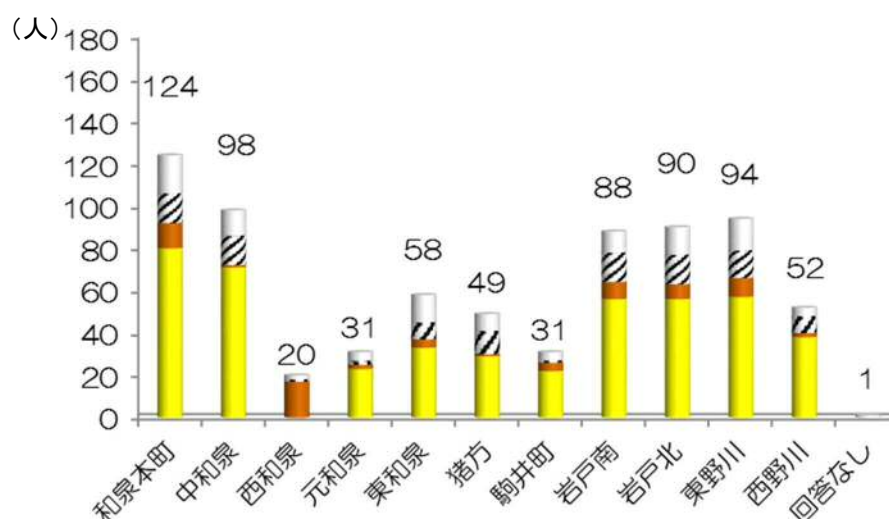
個別施策 I - i 「まちづくり」

◇ 住宅施策の推進

▼ 指標値の推移



▼ 居住地別クロス集計



- 昭和 56 年 6 月 1 日以降に建てられた住宅（新耐震基準）である
- 昭和 56 年 6 月 1 日より前に建てられた住宅であるが、既に耐震改修を行っている、または耐震診断の結果、耐震化の必要がないと判明している
- ▨ 昭和 56 年 6 月 1 日より前に建てられた住宅であり、耐震改修を行っていない
- わからない・その他

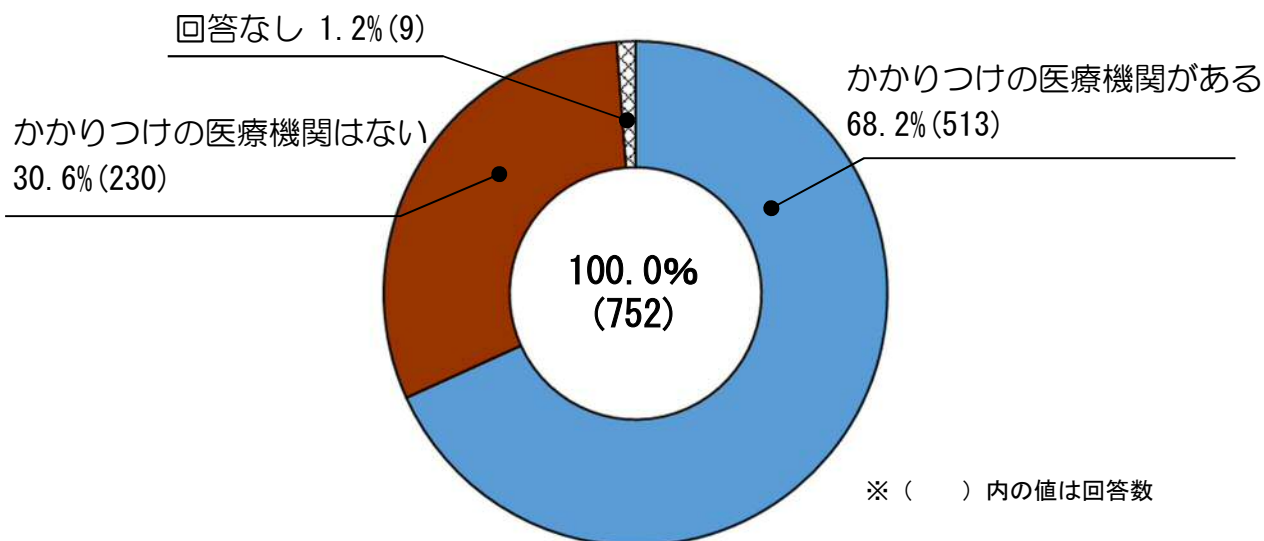
【参考】その他回答者属性とのクロス集計

	回答	昭和 56 年 6 月 1 日以降に建てられた住宅（新耐震基準）である	昭和 56 年 6 月 1 日より前に建てられた住宅であるが、既に耐震改修を行っている、または耐震診断の結果、耐震化の必要がないと判断している	昭和 56 年 6 月 1 日より前に建てられた住宅であり、耐震改修を行っていない	わからない・その他
性別	男性	63%	10%	13%	14%
	女性	63%	9%	14%	14%
年齢	10 歳代	88%	0%	0%	13%
	20 歳代	68%	2%	7%	22%
	30 歳代	81%	3%	5%	11%
	40 歳代	77%	5%	5%	13%
	50 歳代	68%	7%	12%	13%
	60～64 歳	65%	7%	19%	9%
	65～69 歳	58%	10%	16%	16%
	70 歳代	38%	22%	23%	17%
	80 歳以上	29%	20%	33%	18%
世帯	単身世帯	39%	13%	13%	35%
	夫婦のみ世帯	58%	13%	15%	14%
	二世代世帯（親・子）	72%	6%	13%	9%
	三世代世帯（親と子と孫）	67%	7%	11%	15%
	その他	50%	25%	13%	13%
家族	高校生以下の子ども	84%	3%	5%	8%
	65 歳以上の方	48%	16%	21%	14%
	高校生以下の子ども及び 65 歳以上の方	77%	15%	0%	8%
住所	和泉本町	65%	10%	11%	15%
	中和泉	72%	1%	14%	12%
	西和泉	0%	85%	5%	10%
	元和泉	74%	6%	6%	13%
	東和泉	57%	7%	14%	22%
	猪方	59%	2%	22%	16%
	駒井町	71%	13%	3%	13%
	岩戸南	64%	9%	16%	11%
	岩戸北	62%	8%	16%	14%
	東野川	61%	10%	14%	16%
	西野川	73%	4%	15%	8%
居住歴	生まれてから現在まで	69%	8%	11%	11%
	1 年未満	61%	7%	4%	29%
	1～5 年	82%	2%	4%	12%
	6～10 年	75%	9%	4%	12%
	11～20 年	72%	9%	9%	10%
	21 年以上	49%	12%	23%	17%

※ 構成割合は四捨五入をしているため、その合計が 100 にならないものがある。

【設問 15】 あなたは、かかりつけの医療機関がありますか。

▼ 調査結果



▼ 後期基本計画との関連

設問により現状値を把握する指標

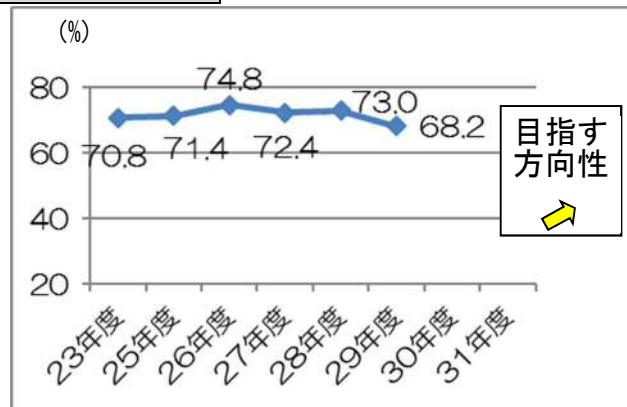
「かかりつけ医がいる市民の割合(%)」(かかりつけの医療機関がある市民の割合)

指標に関連する施策

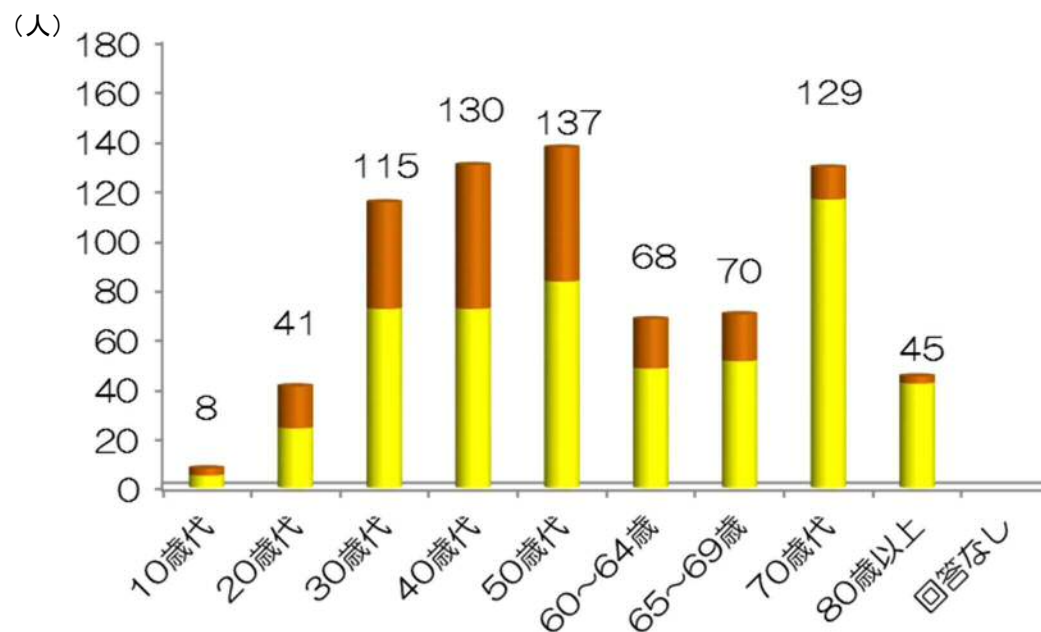
個別施策Ⅳ-Ⅴ「保健・医療」

◇ 地域医療体制の充実

▼ 指標値の推移



▼ 年齢別クロス集計



■ かかりつけの医療機関がある

■ かかりつけの医療機関はない

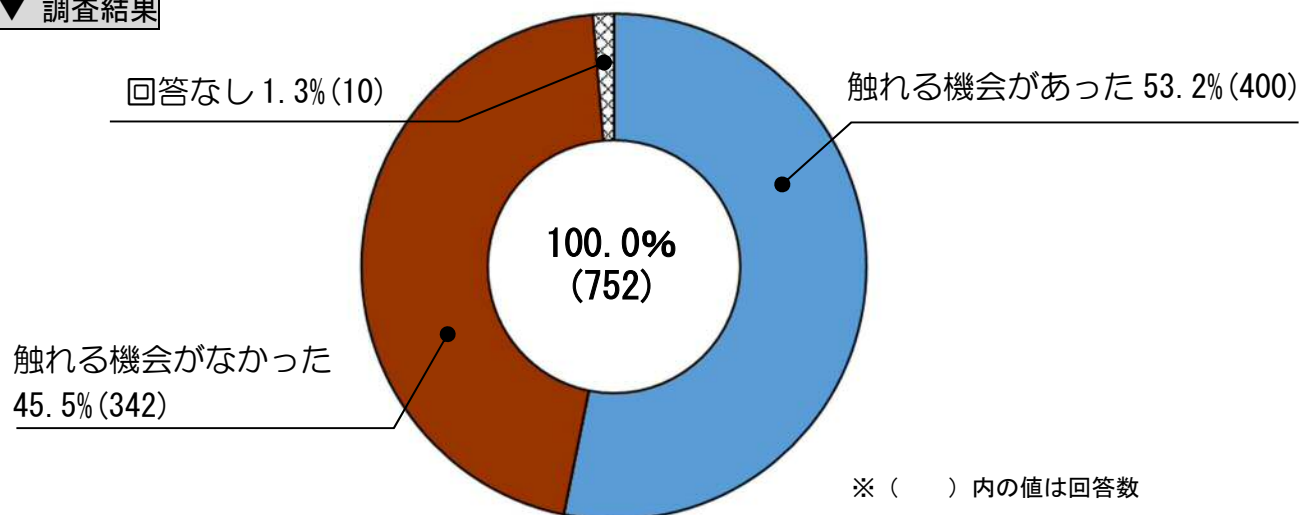
【参考】その他回答者属性とのクロス集計

	回答	かかりつけの 医療機関がある	かかりつけの 医療機関はない
性別	男性	66%	34%
	女性	71%	29%
年齢	10 歳代	63%	38%
	20 歳代	59%	41%
	30 歳代	63%	37%
	40 歳代	55%	45%
	50 歳代	61%	39%
	60～64 歳	71%	29%
	65～69 歳	73%	27%
	70 歳代	90%	10%
	80 歳以上	93%	7%
世帯	単身世帯	67%	33%
	夫婦のみ世帯	72%	28%
	二世帯世帯（親・子）	68%	32%
	三世帯世帯（親と子と孫）	74%	26%
	その他	75%	25%
家族	高校生以下の子ども	58%	42%
	65 歳以上の方	81%	19%
	高校生以下の子ども及び 65 歳以上の方	69%	31%
住所	和泉本町	71%	29%
	中和泉	61%	39%
	西和泉	80%	20%
	元和泉	55%	45%
	東和泉	71%	29%
	猪方	68%	32%
	駒井町	78%	22%
	岩戸南	72%	28%
	岩戸北	67%	33%
	東野川	73%	27%
	西野川	68%	32%
居住歴	生まれてから現在まで	67%	33%
	1 年未満	54%	46%
	1～5 年	54%	46%
	6～10 年	59%	41%
	11～20 年	66%	34%
	21 年以上	80%	20%

※ 構成割合は四捨五入をしているため、その合計が 100 にならないものがある。

【設問 16】 あなたは、平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの間に、コンサートホールや美術館・ギャラリーで芸術を鑑賞したり、自ら文化・芸術活動に取り組むなど、文化・芸術活動に触れる機会がありましたか。（自宅や通勤通学途中で音楽を聴くといったことは除外してください。）

▼ 調査結果



▼ 後期基本計画との関連

設問により現状値を把握する指標

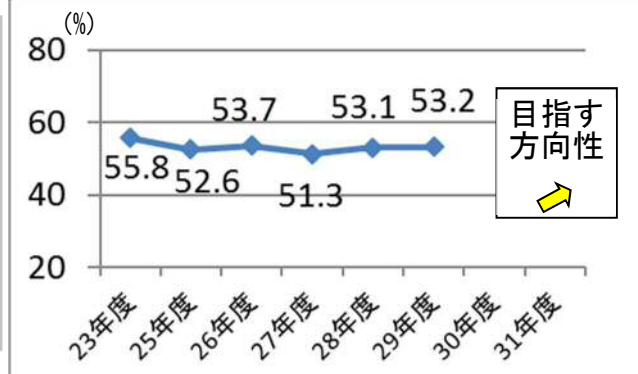
「昨年 1 年間に文化・芸術活動に触れる機会のあった市民の割合 (%)」(触れる機会があった市民の割合)

指標に関連する施策

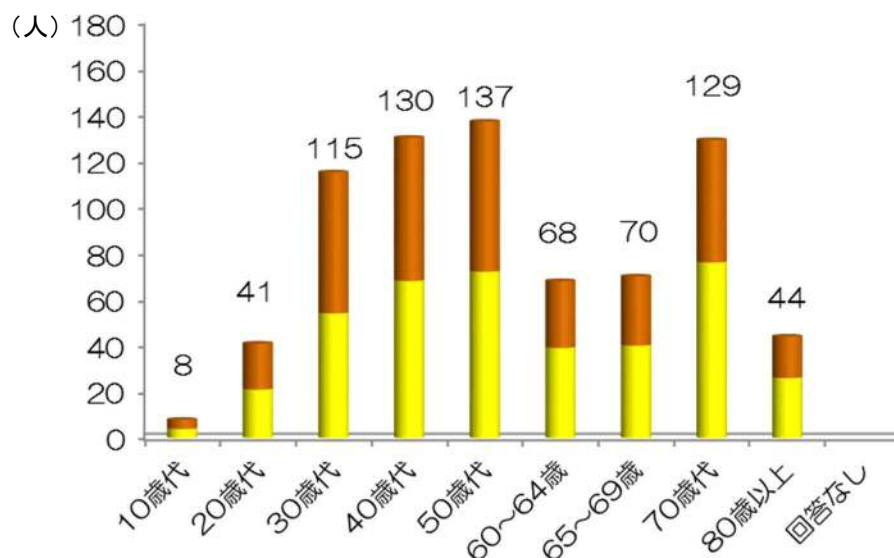
個別施策Ⅱ-ii「市民文化」

◇ 文化・芸術活動の推進

▼ 指標値の推移



▼ 年齢別クロス集計



触れる機会があった

触れる機会がなかった

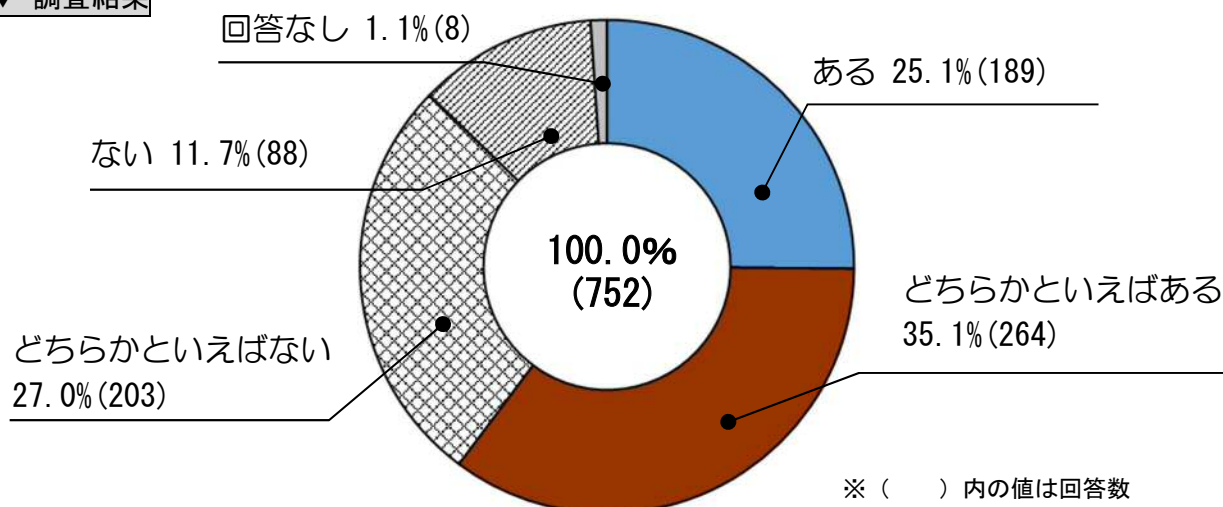
【参考】その他回答者属性とのクロス集計

	回答	触れる機会があった	触れる機会がなかった
性別	男性	45%	55%
	女性	59%	41%
年齢	10 歳代	50%	50%
	20 歳代	51%	49%
	30 歳代	47%	53%
	40 歳代	52%	48%
	50 歳代	53%	47%
	60～64 歳	57%	43%
	65～69 歳	57%	43%
	70 歳代	59%	41%
	80 歳以上	59%	41%
世帯	単身世帯	49%	51%
	夫婦のみ世帯	56%	44%
	二世帯世帯（親・子）	53%	47%
	三世帯世帯（親と子と孫）	70%	30%
	その他	50%	50%
家族	高校生以下の子ども	58%	42%
	65 歳以上の方	57%	43%
	高校生以下の子ども及び 65 歳以上の方	46%	54%
住所	和泉本町	61%	39%
	中和泉	47%	53%
	西和泉	50%	50%
	元和泉	58%	42%
	東和泉	64%	36%
	猪方	40%	60%
	駒井町	69%	31%
	岩戸南	54%	46%
	岩戸北	54%	46%
	東野川	52%	48%
	西野川	46%	54%
居住歴	生まれてから現在まで	56%	44%
	1 年未満	43%	57%
	1～5 年	50%	50%
	6～10 年	55%	45%
	11～20 年	51%	49%
	21 年以上	57%	43%

※ 構成割合は四捨五入をしているため、その合計が 100 にならないものがある。

【設問 17】 あなたは、狛江市の歴史や伝統について、関心を持ったり、見聞きしたことがありますか。

▼ 調査結果



▼ 後期基本計画との関連

設問により現状値を把握する指標

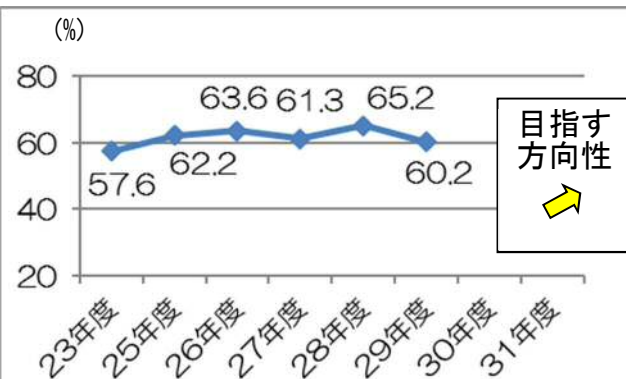
「市の歴史や伝統に関心を持ったり、見聞きしたことがある市民の割合(%)」(関心を持ったり、見聞きしたことがある(「どちらかといえばある」を含む)市民の割合)

指標に関連する施策

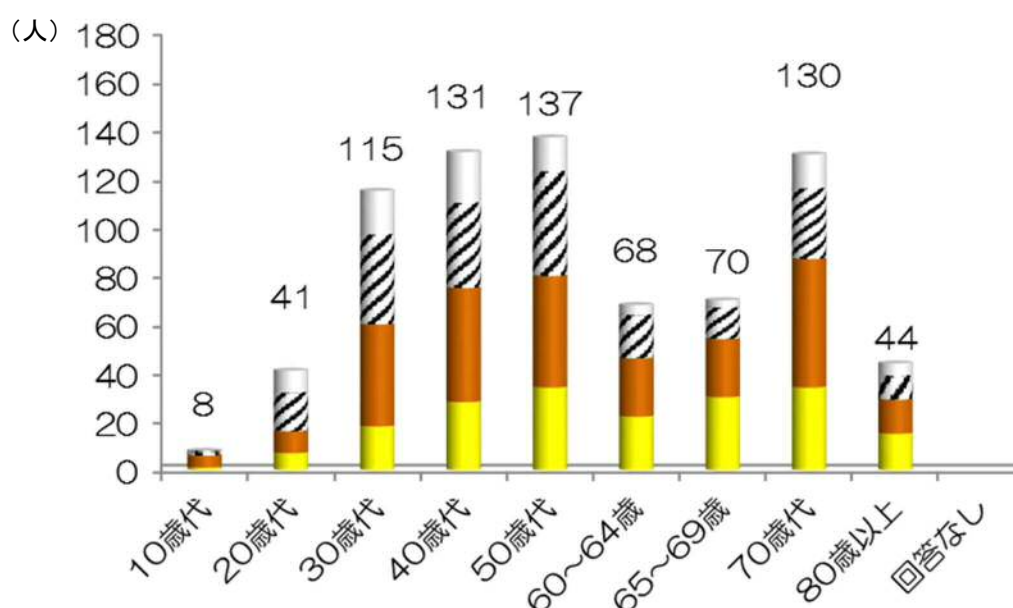
個別施策Ⅱ-iv「生涯学習」

◇ 歴史遺産・文化財の保存と活用

▼ 指標値の推移



▼ 年齢別クロス集計



ある
 どちらかといえばある
 どちらかといえばない
 ない

【参考】その他回答者属性とのクロス集計

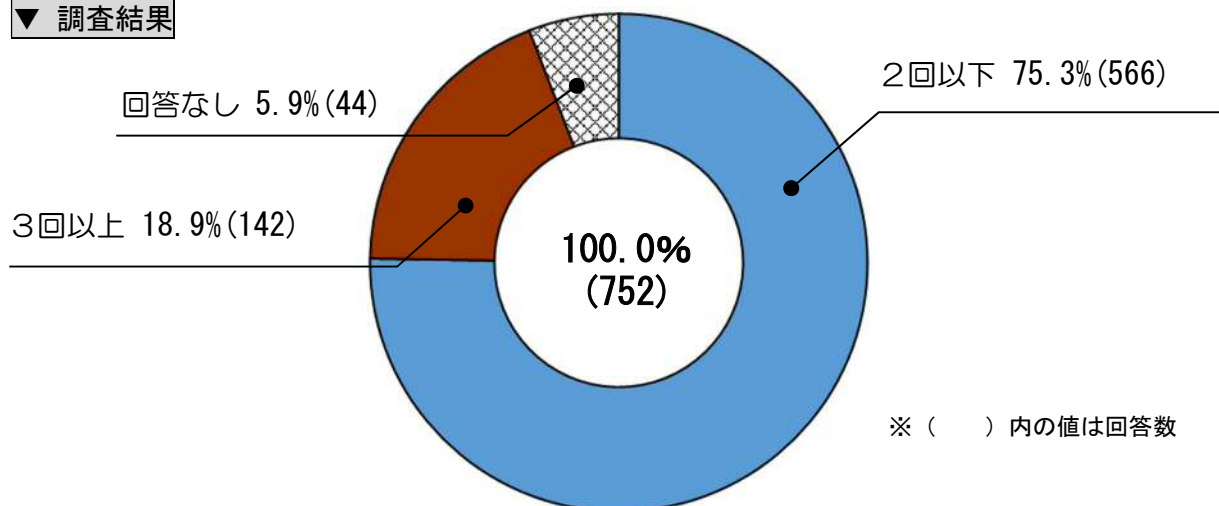
	回答	ある	どちらかといえはあ	どちらかといえはない	ない
性別	男性	26%	36%	23%	14%
	女性	25%	35%	30%	11%
年齢	10 歳代	13%	63%	25%	0%
	20 歳代	17%	22%	39%	22%
	30 歳代	16%	37%	32%	16%
	40 歳代	21%	36%	27%	16%
	50 歳代	25%	34%	31%	10%
	60～64 歳	32%	35%	26%	6%
	65～69 歳	43%	34%	19%	4%
	70 歳代	26%	41%	22%	11%
	80 歳以上	34%	32%	23%	11%
世帯	単身世帯	26%	31%	24%	18%
	夫婦のみ世帯	27%	38%	27%	9%
	二世帯世帯（親・子）	24%	38%	27%	12%
	三世帯世帯（親と子と孫）	41%	15%	41%	4%
	その他	11%	11%	44%	33%
家族	高校生以下の子ども	21%	39%	25%	15%
	65 歳以上の方	31%	37%	24%	9%
	高校生以下の子ども及び 65 歳以上の方	31%	31%	38%	0%
住所	和泉本町	19%	40%	30%	11%
	中和泉	30%	29%	28%	14%
	西和泉	15%	35%	50%	0%
	元和泉	29%	42%	23%	6%
	東和泉	26%	45%	19%	10%
	猪方	26%	30%	36%	8%
	駒井町	31%	31%	25%	13%
	岩戸南	29%	39%	22%	9%
	岩戸北	30%	27%	24%	19%
	東野川	24%	33%	30%	13%
	西野川	19%	42%	25%	13%
居住歴	生まれてから現在まで	31%	42%	19%	8%
	1 年未満	25%	32%	25%	18%
	1～5 年	16%	30%	39%	15%
	6～10 年	21%	35%	31%	13%
	11～20 年	21%	40%	24%	15%
	21 年以上	32%	35%	24%	9%

※ 構成割合は四捨五入をしているため、その合計が 100 にならないものがある。

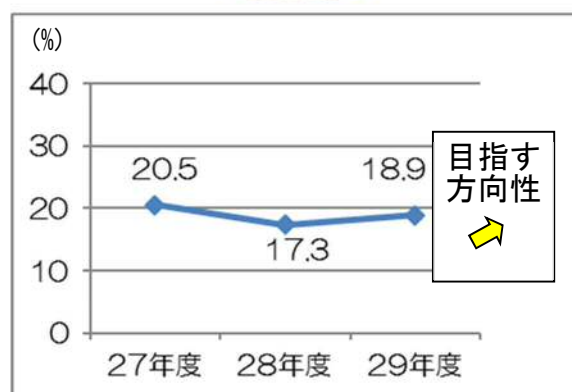
【設問 18】 あなたは、平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの間に、狛江市内で開催されたイベントや催しに何回参加・見学しましたか。

※ 本設問は、後期基本計画の指標とは直接関連のないものですが、市民の方の状況を把握するためにお聞きするものです。

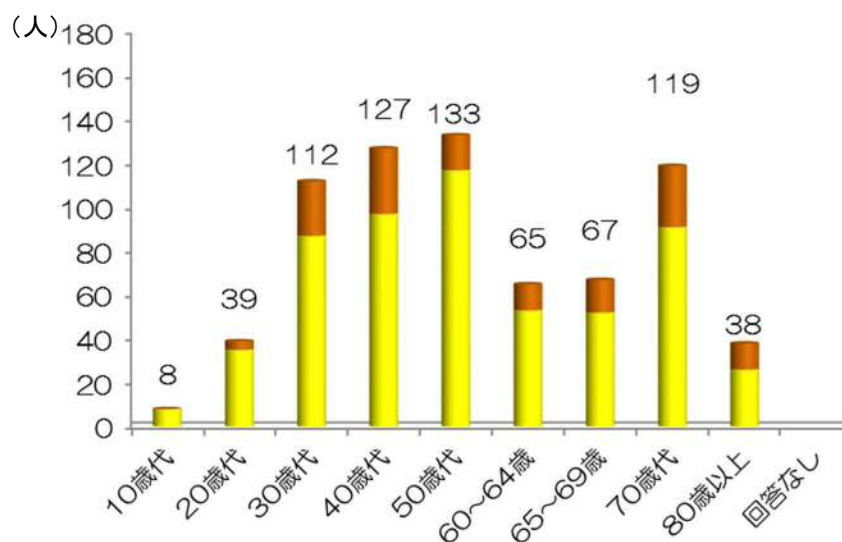
▼ 調査結果



▼ 指標値の推移



▼ 年齢別クロス集計



■ 2回以下

■ 3回以上

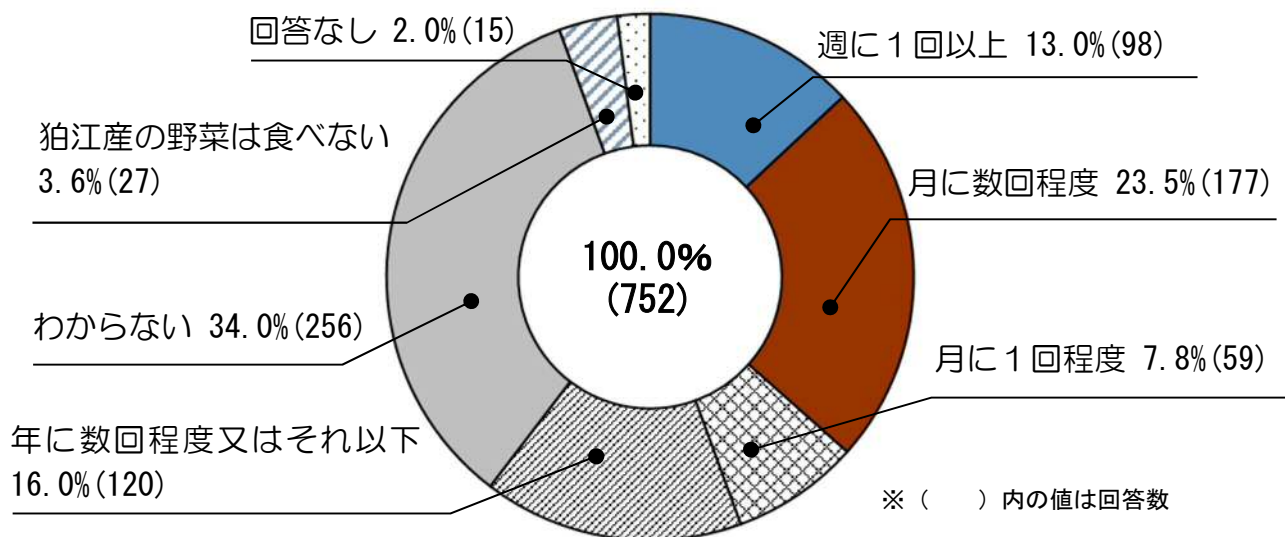
【参考】 その他回答者属性とのクロス集計

	回答	2回以下	3回以上
性別	男性	83%	17%
	女性	78%	22%
年齢	10 歳代	100%	0%
	20 歳代	90%	10%
	30 歳代	78%	22%
	40 歳代	76%	24%
	50 歳代	88%	12%
	60～64 歳	82%	18%
	65～69 歳	78%	22%
	70 歳代	76%	24%
	80 歳以上	68%	32%
世帯	単身世帯	82%	18%
	夫婦のみ世帯	79%	21%
	二世帯世帯（親・子）	79%	21%
	三世帯世帯（親と子と孫）	92%	8%
	その他	88%	13%
家族	高校生以下の子ども	68%	32%
	65 歳以上の方	79%	21%
	高校生以下の子ども及び 65 歳以上の方	85%	15%
住所	和泉本町	74%	26%
	中和泉	77%	23%
	西和泉	68%	32%
	元和泉	72%	28%
	東和泉	71%	29%
	猪方	85%	15%
	駒井町	87%	13%
	岩戸南	83%	17%
	岩戸北	88%	13%
	東野川	84%	16%
	西野川	84%	16%
居住歴	生まれてから現在まで	89%	11%
	1 年未満	88%	12%
	1～5 年	83%	17%
	6～10 年	70%	30%
	11～20 年	80%	20%
	21 年以上	80%	20%

※ 構成割合は四捨五入をしているため、その合計が 100 にならないものがある。

【設問 19】 あなたは、狛江産の野菜をどれくらいの頻度で食べていますか。

▼ 調査結果



▼ 後期基本計画との関連

設問により現状値を把握する指標

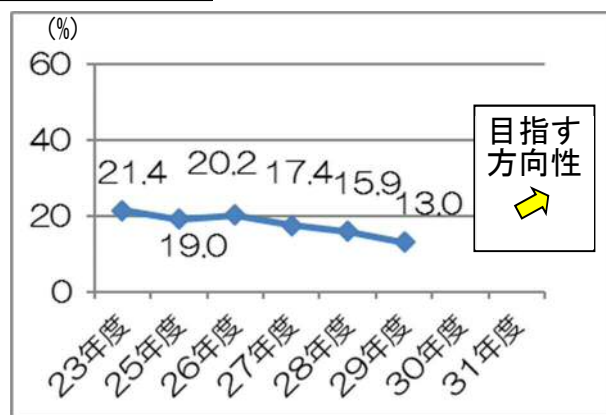
「日頃から狛江産の野菜を食べている市民の割合(%)」(週に1回以上狛江産の野菜を食べている市民の割合)

指標に関連する施策

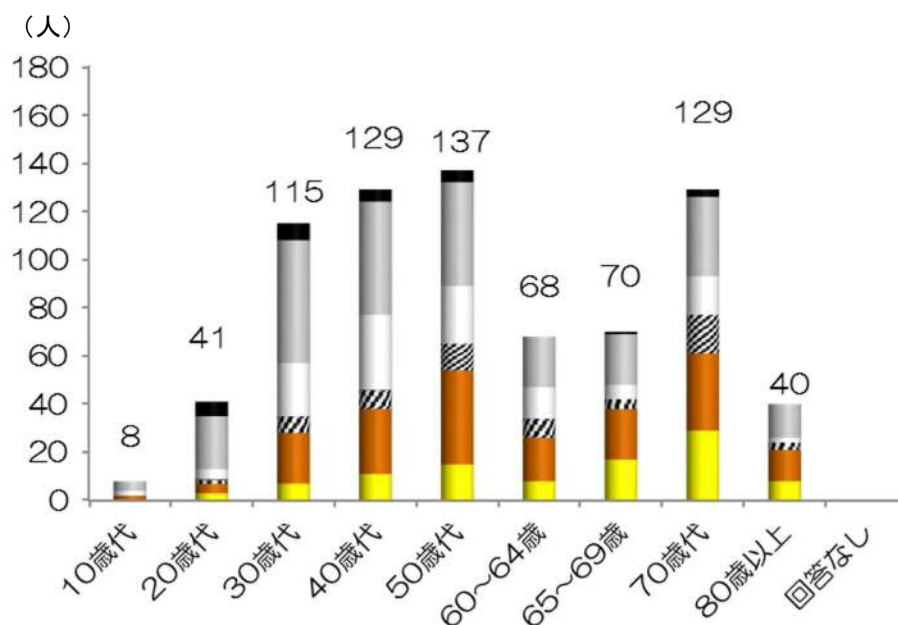
個別施策Ⅱ-iii「地域振興」

◇ 都市農業の振興

▼ 指標値の推移



▼ 年齢別クロス集計



週に1回以上
 月に数回程度
 月に1回程度
 年に数回程度又はそれ以下
 狛江産の野菜は食べない

【参考】その他回答者属性とのクロス集計

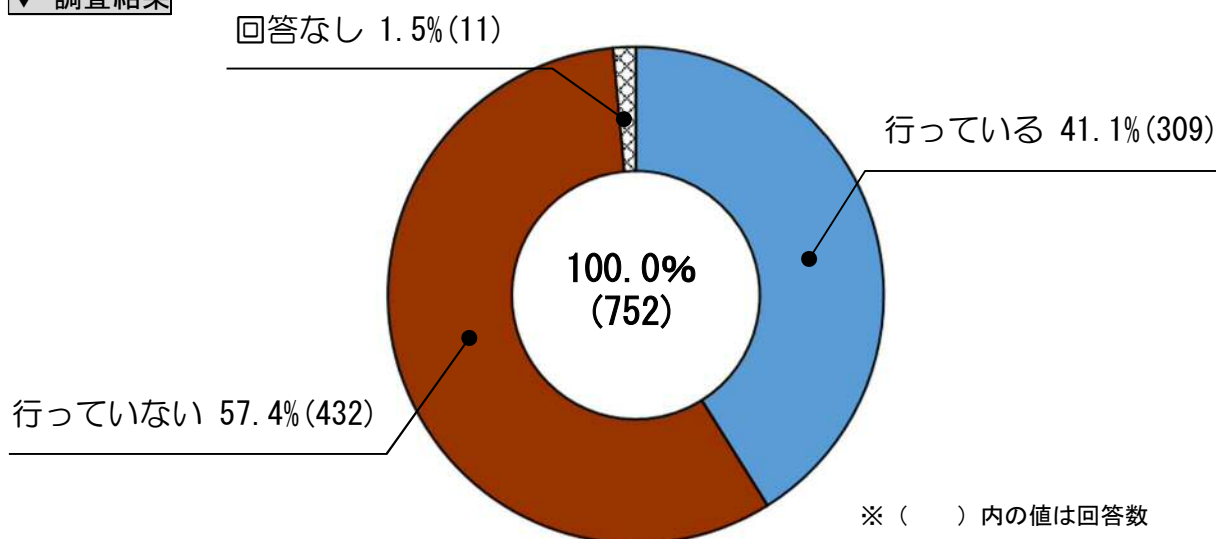
	回答	週に1回以上	月に数回程度	月に1回程度	年に数回程度又はそれ以下	わからない	狛江産の野菜は食べない
性別	男性	13%	17%	8%	13%	46%	2%
	女性	13%	28%	8%	18%	28%	4%
年齢	10 歳代	0%	25%	0%	25%	50%	0%
	20 歳代	7%	10%	5%	10%	54%	15%
	30 歳代	6%	18%	6%	19%	44%	6%
	40 歳代	9%	21%	6%	24%	36%	4%
	50 歳代	11%	28%	8%	18%	31%	4%
	60～64 歳	12%	26%	12%	19%	31%	0%
	65～69 歳	24%	30%	6%	9%	30%	1%
	70 歳代	22%	25%	12%	12%	26%	2%
	80 歳以上	20%	33%	8%	5%	35%	0%
世帯	単身世帯	13%	16%	10%	12%	42%	8%
	夫婦のみ世帯	14%	24%	11%	15%	33%	2%
	二世代世帯（親・子）	13%	26%	6%	18%	34%	4%
	三世代世帯（親と子と孫）	11%	30%	4%	22%	33%	0%
	その他	13%	25%	13%	0%	50%	0%
家族	高校生以下の子ども	5%	21%	8%	24%	36%	6%
	65 歳以上の方	22%	26%	8%	13%	32%	1%
	高校生以下の子ども及び 65 歳以上の方	23%	23%	8%	15%	31%	0%
住所	和泉本町	9%	22%	8%	19%	38%	3%
	中和泉	15%	35%	4%	17%	26%	3%
	西和泉	10%	30%	20%	0%	40%	0%
	元和泉	16%	23%	6%	13%	39%	3%
	東和泉	18%	18%	11%	14%	33%	7%
	猪方	12%	18%	8%	16%	43%	2%
	駒井町	16%	34%	6%	19%	19%	6%
	岩戸南	9%	24%	9%	13%	41%	3%
	岩戸北	13%	12%	9%	19%	40%	7%
	東野川	16%	28%	6%	15%	32%	3%
	西野川	17%	25%	8%	21%	30%	0%
居住歴	生まれてから現在まで	16%	22%	3%	16%	43%	0%
	1 年未満	7%	7%	19%	11%	41%	15%
	1～5 年	11%	20%	7%	17%	39%	6%
	6～10 年	5%	18%	14%	17%	42%	3%
	11～20 年	10%	23%	9%	18%	36%	4%
	21 年以上	18%	29%	6%	15%	30%	3%

※ 構成割合は四捨五入をしているため、その合計が 100 にならないものがある。

【設問 20】 あなたは、週に1回以上の頻度でスポーツ活動*をしていますか。

※「スポーツ活動」とは、サッカーやランニング、水泳などの近代スポーツのほか、体操やウォーキングなどの健康を志向するスポーツや、登山やハイキングなどの野外スポーツ、ダンス、ボウリング、ゲートボールなども含みます。

▼ 調査結果



▼ 後期基本計画との関連

設問により現状値を把握する指標

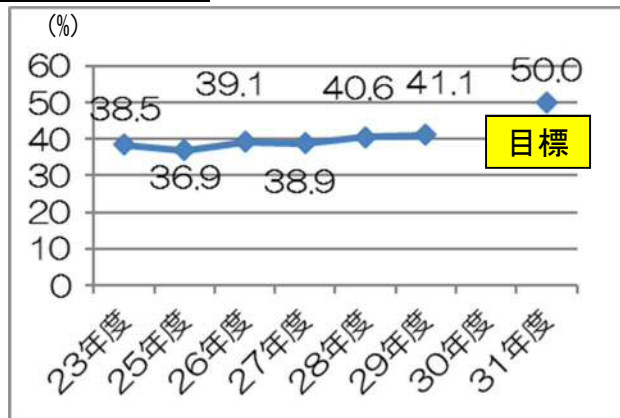
「週に1回以上の頻度でスポーツ活動をしている市民の割合(%)」(週1回以上の頻度でスポーツ活動を行っている市民の割合)

指標に関連する施策

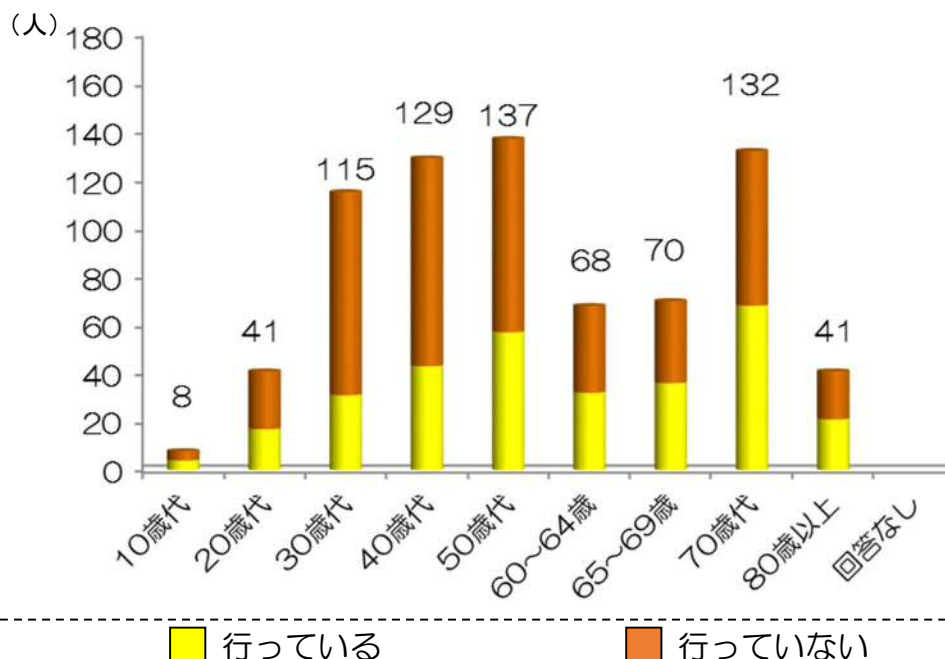
重点プロジェクト⑤「にぎわいのまち「狛江」プロジェクト」

◇ 地域スポーツの振興

▼ 指標値の推移



▼ 年齢別クロス集計



【参考】その他回答者属性とのクロス集計

	回答	行っている	行っていない
性別	男性	45%	55%
	女性	40%	60%
年齢	10 歳代	50%	50%
	20 歳代	41%	59%
	30 歳代	27%	73%
	40 歳代	33%	67%
	50 歳代	42%	58%
	60～64 歳	47%	53%
	65～69 歳	51%	49%
	70 歳代	52%	48%
	80 歳以上	51%	49%
世帯	単身世帯	43%	57%
	夫婦のみ世帯	46%	54%
	二世代世帯（親・子）	39%	61%
	三世代世帯（親と子と孫）	33%	67%
	その他	75%	25%
家族	高校生以下の子ども	27%	73%
	65 歳以上の方	47%	53%
	高校生以下の子ども及び 65 歳以上の方	38%	62%
住所	和泉本町	36%	64%
	中和泉	39%	61%
	西和泉	50%	50%
	元和泉	52%	48%
	東和泉	41%	59%
	猪方	47%	53%
	駒井町	22%	78%
	岩戸南	38%	62%
	岩戸北	44%	56%
	東野川	51%	49%
	西野川	45%	55%
居住歴	生まれてから現在まで	38%	62%
	1 年未満	36%	64%
	1～5 年	30%	70%
	6～10 年	45%	55%
	11～20 年	42%	58%
	21 年以上	46%	54%

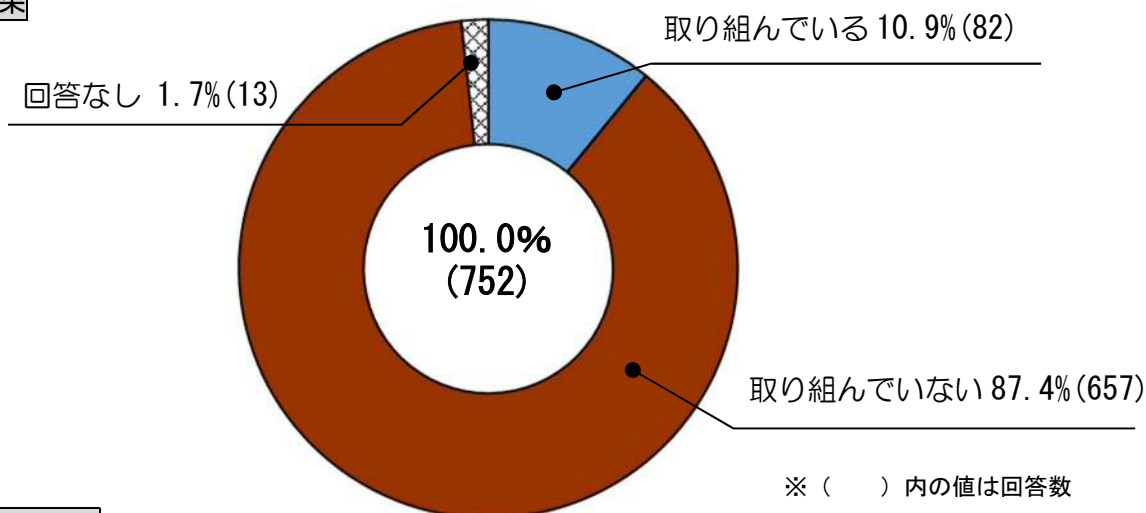
※ 構成割合は四捨五入をしているため、その合計が 100 にならないものがある。

【設問 21】 あなたは、市民公益活動※¹に取り組んでいますか。

※1「市民公益活動」とは、市民が自主的かつ自発的に行う不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とする活動で、個人での清掃活動や見守り活動、ボランティアやNPO法人での活動等のことです。

※ 本設問は、後期基本計画の指標とは直接関連のないものですが、市民の方の状況を把握するためにお聞きするものです。

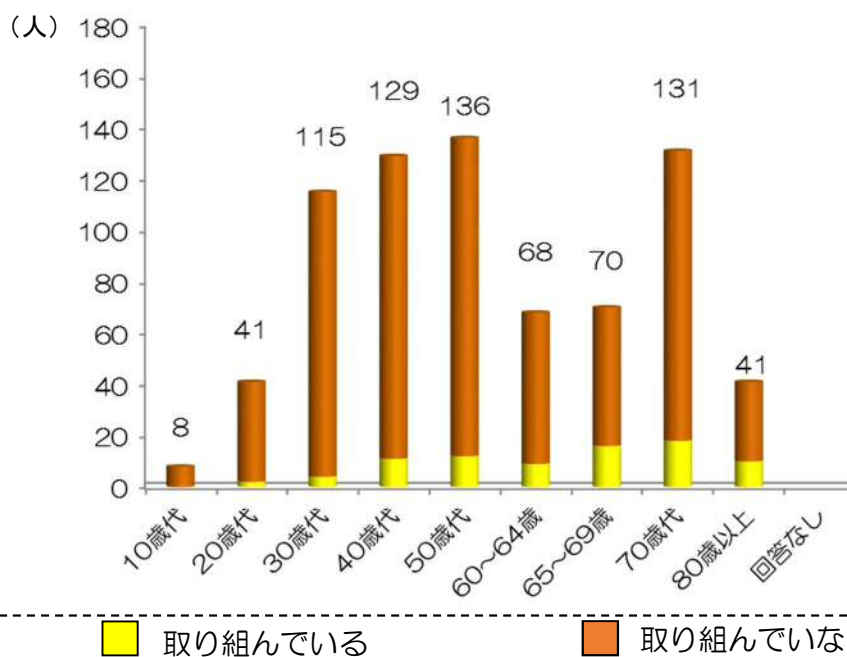
▼ 調査結果



▼ 指標値の推移



▼ 年齢別クロス集計



【参考】 その他回答者属性とのクロス集計

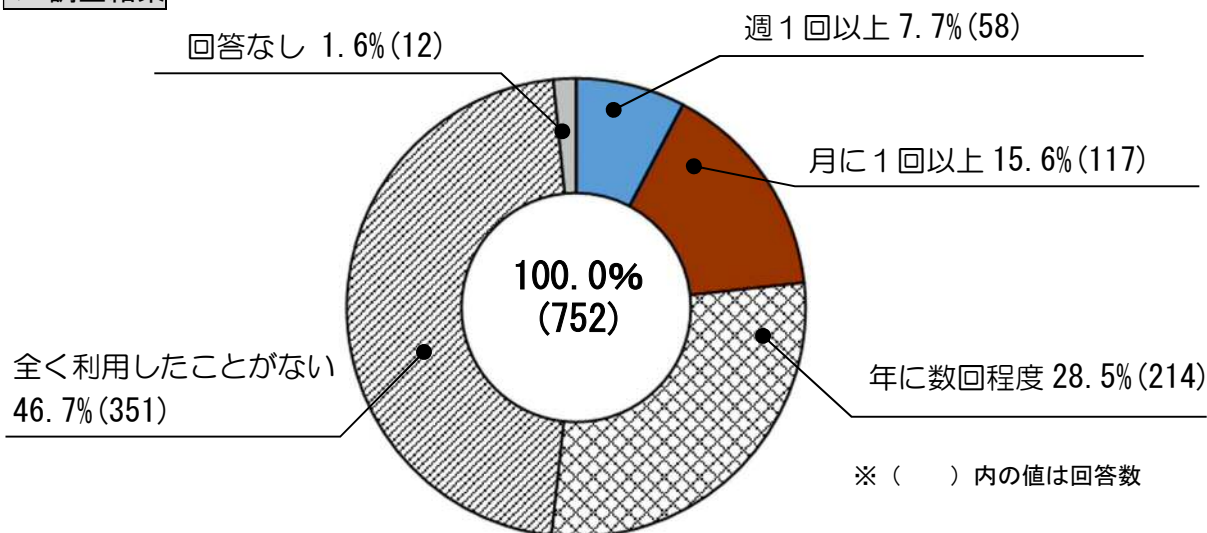
	回答	取り組んでいる	取り組んでいない
性別	男性	12%	88%
	女性	11%	89%
年齢	10 歳代	0%	100%
	20 歳代	5%	95%
	30 歳代	3%	97%
	40 歳代	9%	91%
	50 歳代	9%	91%
	60～64 歳	13%	87%
	65～69 歳	23%	77%
	70 歳代	14%	86%
	80 歳以上	24%	76%
世帯	単身世帯	10%	90%
	夫婦のみ世帯	12%	88%
	二世帯世帯（親・子）	11%	89%
	三世帯世帯（親と子と孫）	11%	89%
	その他	13%	88%
家族	高校生以下の子ども	10%	90%
	65 歳以上の方	16%	84%
	高校生以下の子ども及び 65 歳以上の方	8%	92%
住所	和泉本町	10%	90%
	中和泉	13%	87%
	西和泉	20%	80%
	元和泉	6%	94%
	東和泉	16%	84%
	猪方	10%	90%
	駒井町	13%	88%
	岩戸南	13%	87%
	岩戸北	8%	92%
	東野川	8%	92%
	西野川	11%	89%
居住歴	生まれてから現在まで	11%	89%
	1 年未満	7%	93%
	1～5 年	6%	94%
	6～10 年	10%	90%
	11～20 年	10%	90%
	21 年以上	12%	88%

※ 構成割合は四捨五入をしているため、その合計が 100 にならないものがある。

【設問 22】 あなたの公民館の利用頻度を教えてください。

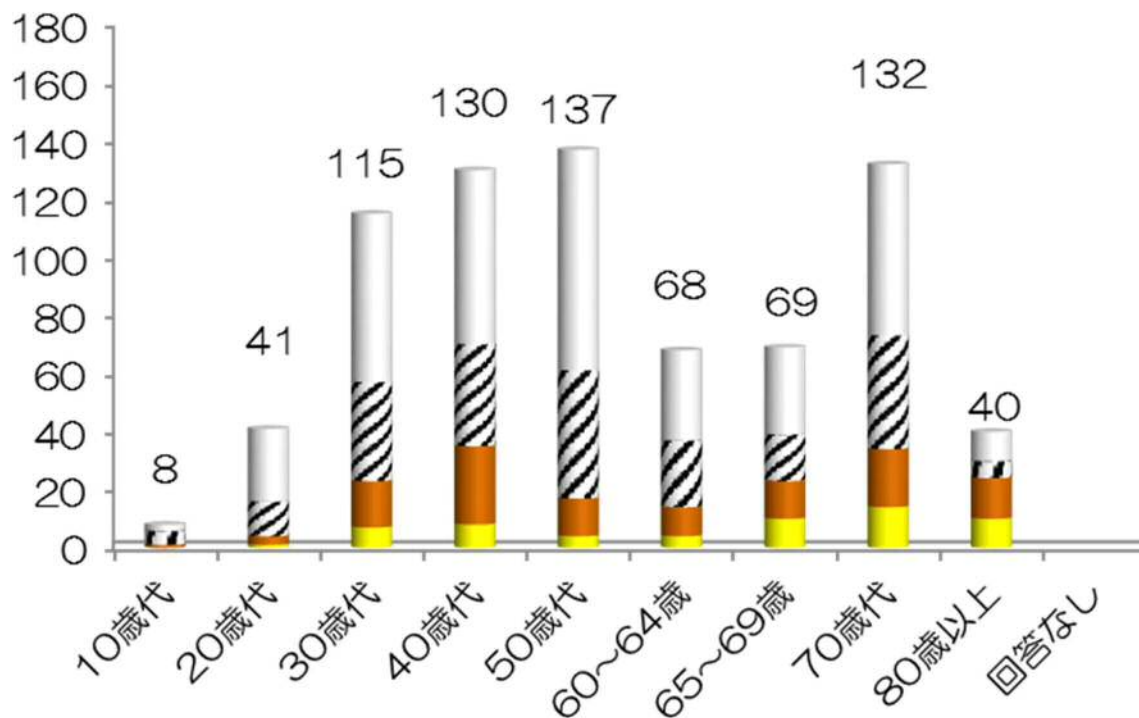
※ 本設問は、後期基本計画の指標とは直接関連のないものですが、市民の方の状況を把握するためにお聞きするものです。

▼ 調査結果



▼ 年齢別クロス集計

(人)



【参考】その他回答者属性とのクロス集計

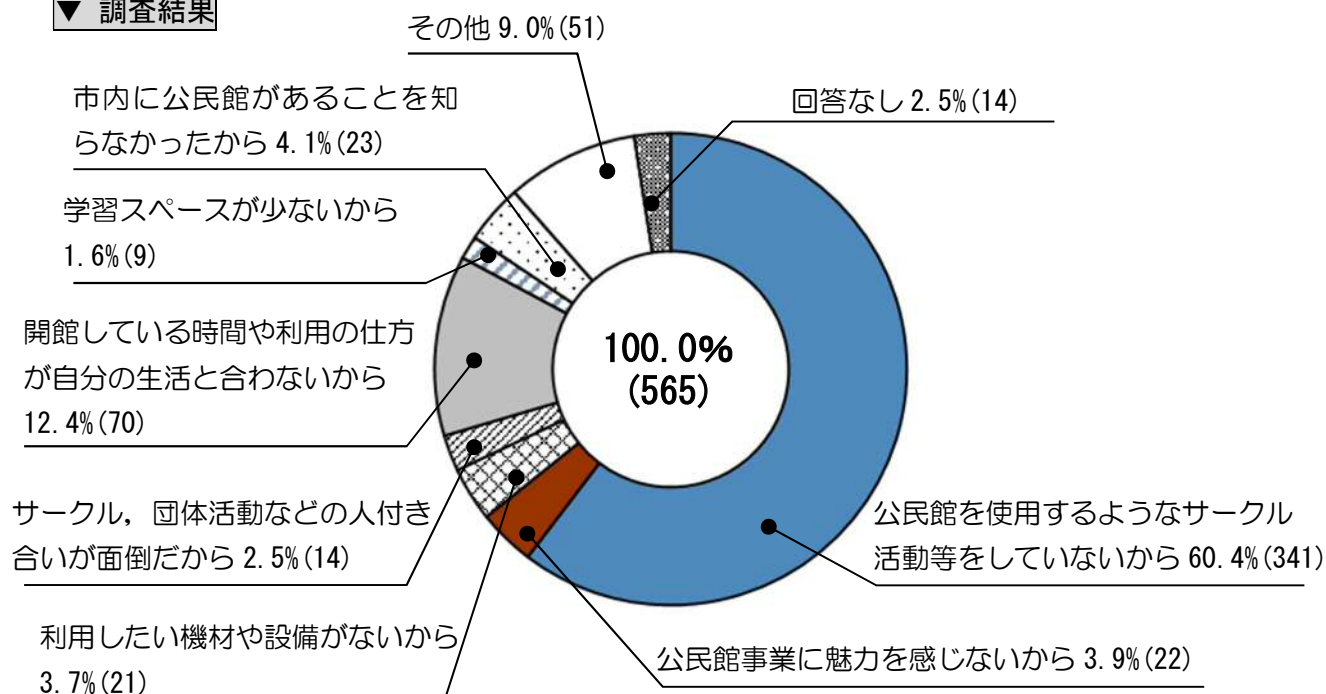
	回答	週1回以上	月に1回以上	年に数回程度	全く利用したことがない
性別	男性	3%	13%	34%	50%
	女性	11%	17%	26%	46%
年齢	10歳代	0%	13%	63%	25%
	20歳代	2%	7%	29%	61%
	30歳代	6%	14%	30%	50%
	40歳代	6%	21%	27%	46%
	50歳代	3%	9%	32%	55%
	60～64歳	6%	15%	34%	46%
	65～69歳	14%	19%	23%	43%
	70歳代	11%	15%	30%	45%
	80歳以上	25%	35%	15%	25%
世帯	単身世帯	8%	15%	28%	49%
	夫婦のみ世帯	11%	15%	25%	50%
	二世帯世帯（親・子）	6%	16%	32%	46%
	三世帯世帯（親と子と孫）	4%	30%	26%	41%
	その他	0%	11%	22%	67%
家族	高校生以下の子ども	8%	20%	39%	33%
	65歳以上の方	12%	16%	27%	45%
	高校生以下の子ども及び65歳以上の方	8%	46%	23%	23%
住所	和泉本町	5%	13%	33%	50%
	中和泉	8%	17%	32%	42%
	西和泉	10%	40%	20%	30%
	元和泉	16%	13%	32%	39%
	東和泉	9%	22%	26%	43%
	猪方	4%	16%	33%	47%
	駒井町	9%	16%	38%	38%
	岩戸南	5%	11%	32%	53%
	岩戸北	12%	14%	18%	56%
	東野川	9%	17%	25%	48%
	西野川	6%	15%	32%	47%
居住歴	生まれてから現在まで	5%	19%	24%	51%
	1年未満	7%	11%	25%	57%
	1～5年	3%	12%	19%	66%
	6～10年	9%	18%	28%	45%
	11～20年	6%	18%	31%	44%
	21年以上	10%	16%	33%	41%

※ 構成割合は四捨五入をしているため、その合計が100にならないものがある。

【設問 23】 問 22 で「3. 年に数回程度」、「4. 全く利用したことがない」とお答え
 いただいた方に伺います。公民館をあまり利用しないのはなぜですか。

※ 本設問は、後期基本計画の指標とは直接関連のないものですが、市民の方の状況を把握するためにお聞き
 するものです。

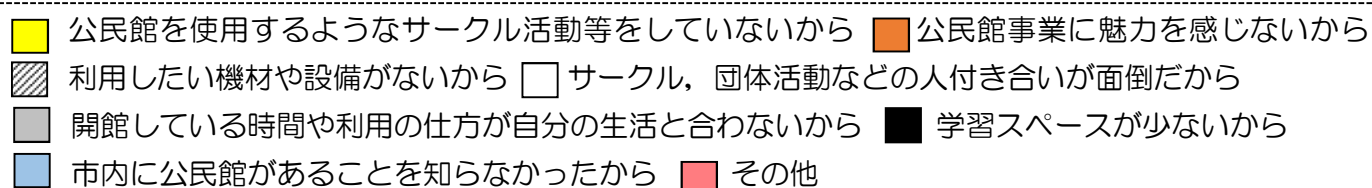
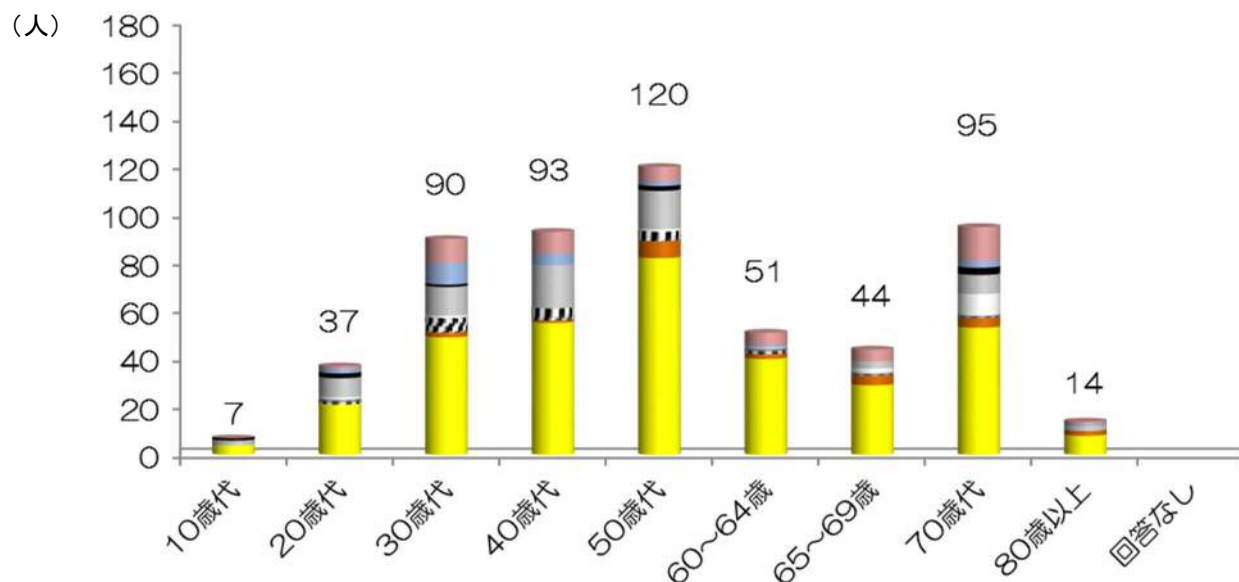
▼ 調査結果



※ () 内の値は回答数

※回答対象者数は 565 人

▼ 年齢別クロス集計



【参考】その他回答者属性とのクロス集計

	回答	公民館を使用する ようなサークル活 動等をしていない から	公民館事 業に魅力 を感じないから	利用した い機材や 設備がないから	サークル、団体 活動などの人付き 合いが面倒だから	開館して いる時間 や利用の 仕方が自 分の生活 と合わないから	学習ス ペース が少ないから	市内に 公民館 がある ことを 知らな かった から	その 他
性別	男性	61%	7%	4%	3%	13%	1%	4%	7%
	女性	63%	2%	4%	3%	12%	2%	4%	11%
年齢	10 歳代	57%	0%	0%	0%	29%	14%	0%	0%
	20 歳代	57%	0%	5%	3%	22%	5%	5%	3%
	30 歳代	54%	2%	7%	1%	13%	1%	10%	11%
	40 歳代	59%	1%	5%	0%	19%	0%	5%	10%
	50 歳代	68%	6%	3%	1%	13%	2%	2%	5%
	60～64 歳	78%	4%	4%	0%	2%	0%	2%	10%
	65～69 歳	66%	9%	2%	5%	7%	0%	0%	11%
	70 歳代	56%	4%	1%	9%	8%	3%	3%	15%
	80 歳以上	57%	14%	0%	0%	14%	0%	7%	7%
世帯	単身世帯	64%	3%	5%	3%	15%	1%	5%	4%
	夫婦のみ世帯	56%	5%	1%	3%	13%	2%	6%	14%
	二世帯世帯（親・子）	65%	4%	4%	2%	13%	2%	3%	8%
	三世帯世帯 （親と子と孫）	72%	6%	6%	6%	0%	0%	6%	6%
	その他	25%	0%	13%	13%	25%	0%	0%	25%
家族	高校生以下の子ども	63%	2%	5%	1%	16%	1%	5%	8%
	65 歳以上の方	63%	5%	4%	5%	7%	2%	3%	12%
	高校生以下の子ども及び 65 歳以上の方	100%	0%	0%	0%	0%	0%	0%	0%
住所	和泉本町	67%	3%	3%	3%	11%	1%	5%	7%
	中和泉	56%	7%	3%	4%	13%	1%	1%	14%
	西和泉	78%	0%	0%	0%	11%	11%	0%	0%
	元和泉	68%	5%	5%	0%	14%	0%	0%	9%
	東和泉	67%	8%	3%	0%	5%	0%	8%	10%
	猪方	65%	11%	3%	5%	8%	3%	3%	3%
	駒井町	50%	0%	13%	4%	21%	0%	0%	13%
	岩戸南	61%	4%	3%	0%	17%	1%	7%	7%
	岩戸北	60%	2%	5%	2%	15%	0%	6%	11%
	東野川	61%	3%	4%	4%	11%	1%	6%	9%
	西野川	56%	0%	5%	2%	15%	7%	0%	15%
居住歴	生まれてから現在まで	67%	4%	4%	4%	7%	4%	4%	7%
	1 年未満	70%	4%	4%	0%	9%	0%	9%	4%
	1～5 年	52%	2%	6%	4%	19%	1%	7%	10%
	6～10 年	56%	6%	2%	0%	12%	0%	13%	12%
	11～20 年	67%	2%	1%	2%	12%	2%	3%	11%
	21 年以上	64%	6%	5%	3%	11%	2%	1%	8%

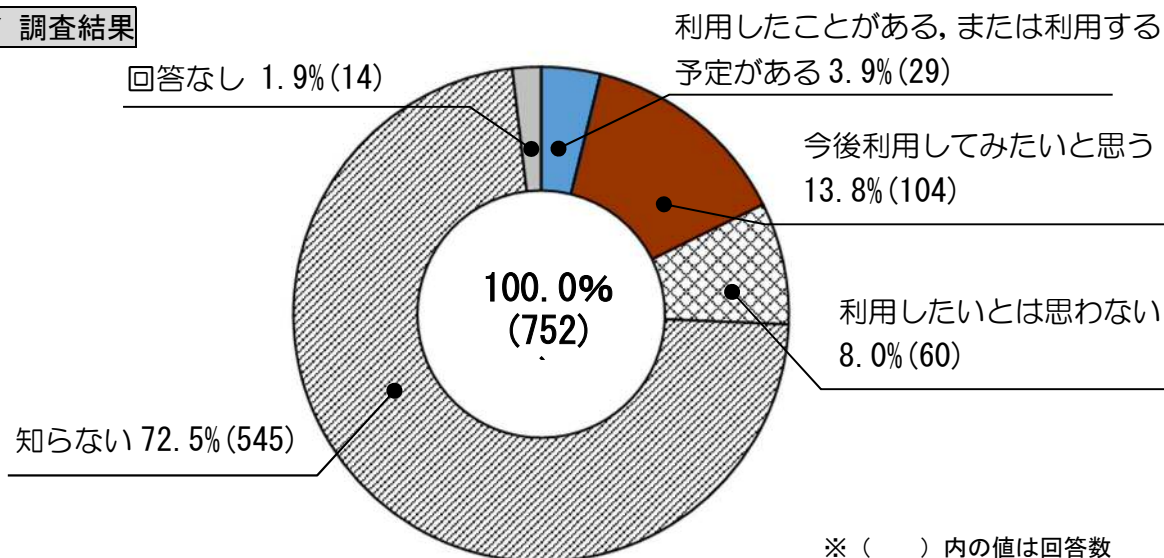
※ 構成割合は四捨五入をしているため、その合計が 100 にならないものがある。

【設問 24】 あなたは、市民活動支援センター「こまえくぼ1234」※¹を利用したことがありますか。

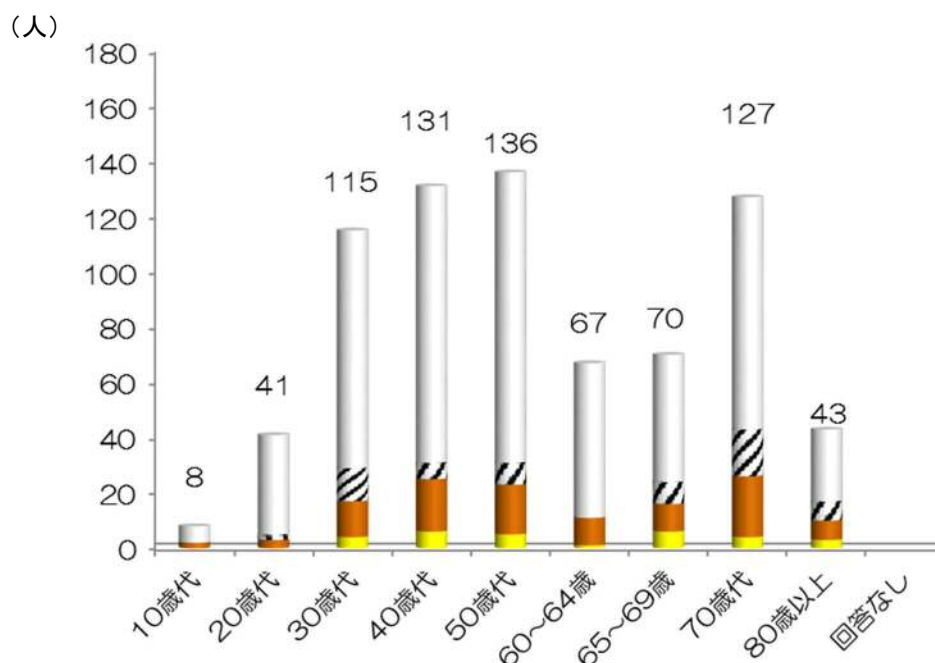
※¹ 平成 28 年 4 月に開設した施設で、市民活動団体や市民活動に参加したい方を支援する施設のことです。

※ 本設問は、後期基本計画の指標とは直接関連のないものですが、市民の方の状況を把握するためにお聞きするものです。

▼ 調査結果



▼ 指標値の推移



利用したことがある, または利用する予定がある
 今後利用してみたいと思う
 利用したいとは思わない
 知らない

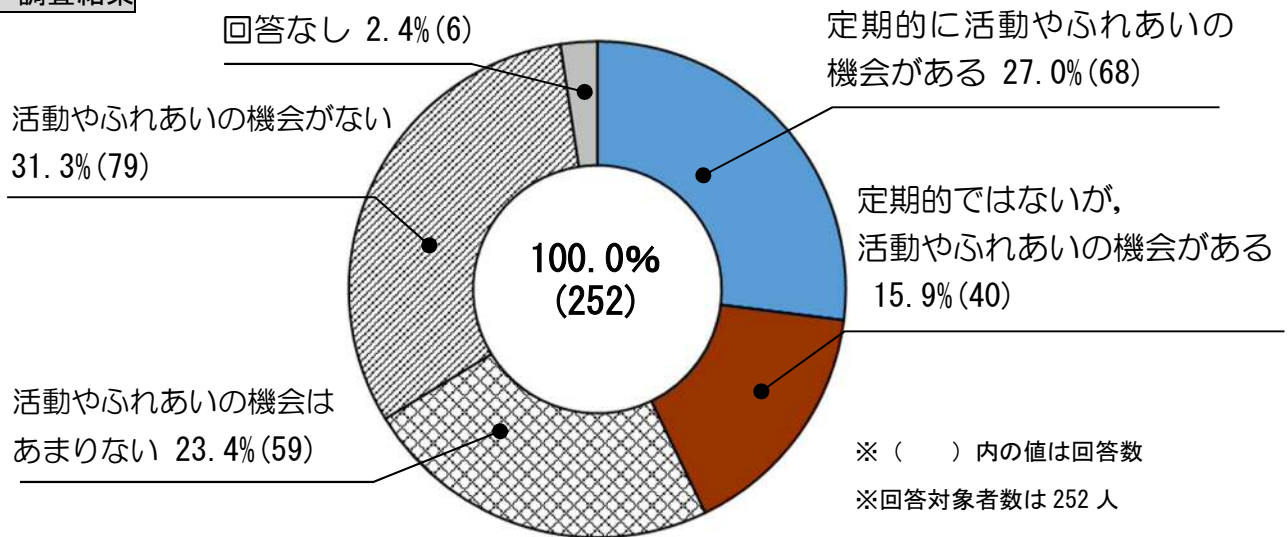
【参考】その他回答者属性とのクロス集計

	回答	利用したことがある、 または利用する予定がある	今後利用してみたいと思う	利用したいとは思わない	知らない
性別	男性	2%	11%	8%	80%
	女性	5%	17%	8%	71%
年齢	10 歳代	0%	25%	0%	75%
	20 歳代	0%	7%	5%	88%
	30 歳代	3%	11%	10%	75%
	40 歳代	5%	15%	5%	76%
	50 歳代	4%	13%	6%	77%
	60～64 歳	1%	15%	0%	84%
	65～69 歳	9%	14%	11%	66%
	70 歳代	3%	17%	13%	66%
	80 歳以上	7%	16%	16%	60%
世帯	単身世帯	3%	14%	9%	75%
	夫婦のみ世帯	4%	13%	9%	74%
	二世帯世帯（親・子）	5%	14%	8%	74%
	三世帯世帯（親と子と孫）	0%	22%	11%	67%
	その他	0%	11%	0%	89%
家族	高校生以下の子ども	7%	15%	5%	72%
	65 歳以上の方	5%	15%	12%	68%
	高校生以下の子ども及び 65 歳以上の方	0%	31%	8%	62%
住所	和泉本町	3%	13%	3%	80%
	中和泉	4%	19%	8%	68%
	西和泉	0%	20%	5%	75%
	元和泉	10%	13%	16%	61%
	東和泉	5%	7%	10%	78%
	猪方	6%	18%	8%	67%
	駒井町	0%	17%	0%	83%
	岩戸南	3%	16%	10%	70%
	岩戸北	4%	11%	11%	74%
	東野川	4%	12%	10%	74%
	西野川	2%	13%	8%	77%
	生まれてから現在まで	3%	11%	14%	72%
居住歴	1 年未満	0%	18%	4%	79%
	1～5 年	2%	6%	5%	87%
	6～10 年	3%	19%	9%	69%
	11～20 年	7%	19%	5%	69%
	21 年以上	4%	14%	10%	72%

※ 構成割合は四捨五入をしているため、その合計が 100 にならないものがある。

【設問 25】 ※この質問は、65 歳以上（平成 30 年 4 月 1 日現在）の方のみお答えください。あなたは、日ごろから地域の行事や活動に参加したり，他の人とふれあう機会がありますか。

▼ 調査結果



▼ 後期基本計画との関連

設問により現状値を把握する指標

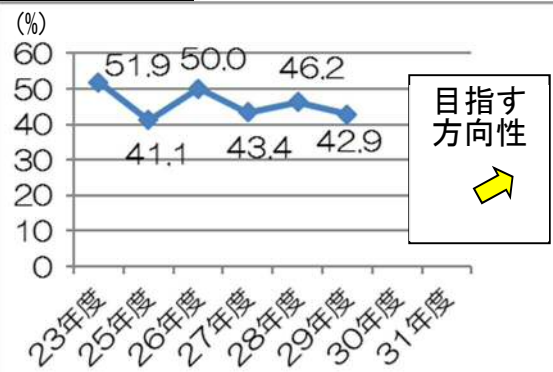
「日頃から地域の行事や活動に参加したり，他の人とふれあう機会のある高齢者の割合（％）」活動やふれあいの機会がある市民の割合

指標に関連する施策

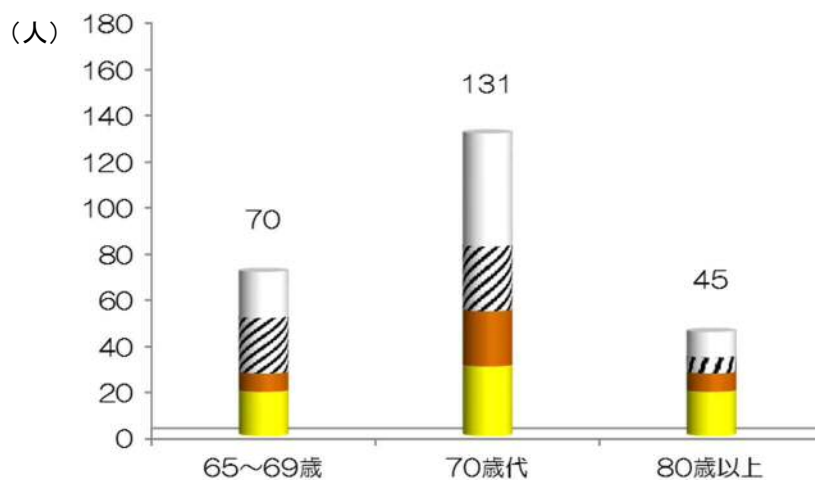
個別施策Ⅳ- ii 「高齢者福祉」

◇ 生きがいつくりの推進

▼ 指標値の推移



▼ 年齢別クロス集計



- 定期的に参加する機会がある
- 定期的ではないが、活動やふれあいの機会がある
- 活動やふれあいの機会はあまりない
- 活動やふれあいの機会がない

【参考】その他回答者属性とのクロス集計

	回答	定期的に活動やふれあいの機会がある	定期的ではないが、活動やふれあいの機会がある	活動やふれあいの機会はない	活動やふれあいの機会がない
性別	男性	21%	10%	25%	44%
	女性	32%	22%	23%	23%
年齢	65～69 歳	27%	11%	34%	27%
	70 歳代	23%	18%	21%	37%
	80 歳以上	42%	18%	16%	24%
世帯	単身世帯	31%	16%	20%	33%
	夫婦のみ世帯	28%	20%	25%	27%
	二世帯世帯（親・子）	26%	13%	23%	38%
	三世帯世帯（親と子と孫）	33%	0%	17%	50%
	その他	0%	0%	75%	25%
家族	高校生以下の子ども	25%	0%	25%	50%
	65 歳以上の方	28%	16%	26%	31%
	高校生以下の子ども及び 65 歳以上の方	50%	0%	25%	25%
住所	和泉本町	18%	28%	15%	38%
	中和泉	34%	14%	21%	31%
	西和泉	42%	25%	8%	25%
	元和泉	33%	17%	25%	25%
	東和泉	25%	31%	19%	25%
	猪方	31%	15%	31%	23%
	駒井町	13%	0%	50%	38%
	岩戸南	34%	13%	28%	25%
	岩戸北	15%	15%	15%	54%
	東野川	35%	5%	33%	28%
	西野川	22%	11%	33%	33%
	生まれてから現在まで	33%	0%	0%	67%
居住歴	1 年未満	0%	50%	33%	17%
	1～5 年	8%	8%	23%	62%
	6～10 年	44%	13%	13%	31%
	11～20 年	31%	10%	17%	41%
	21 年以上	28%	17%	26%	28%

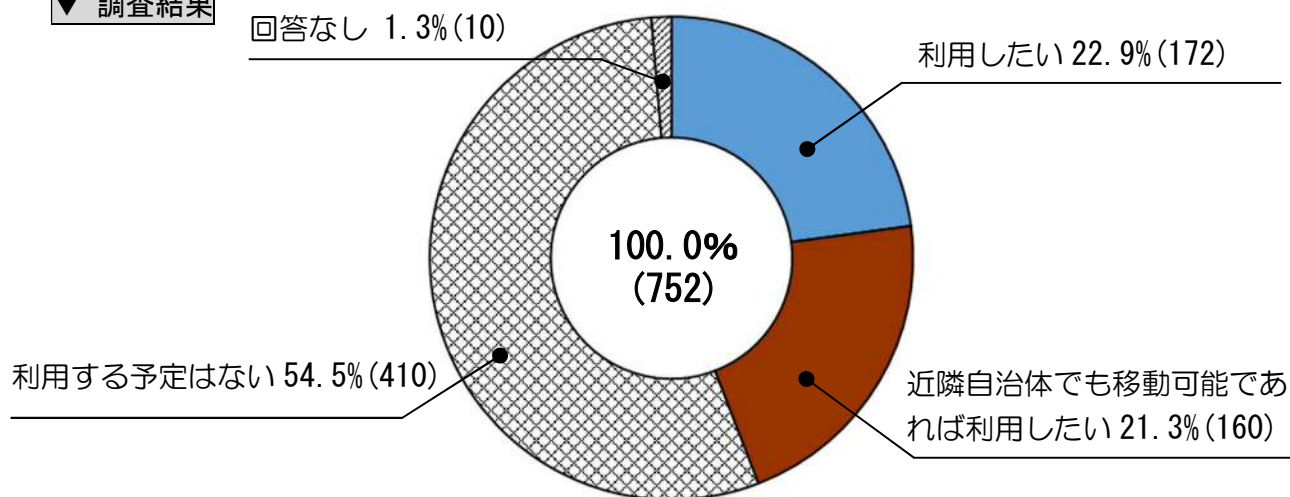
※ 構成割合は四捨五入をしているため、その合計が 100 にならないものがある。

【設問 26】 あなたは、狛江市でコミュニティサイクル※¹が導入されたら、利用しますか。

※¹「コミュニティサイクル」とは、街中にいくつもの自転車貸出拠点（ポート）を設置し、利用者がどこでも貸出・返却できる新しい交通手段で、地方公共団体単体で実施している場合と、複数の団体で移動可能なものがあります。

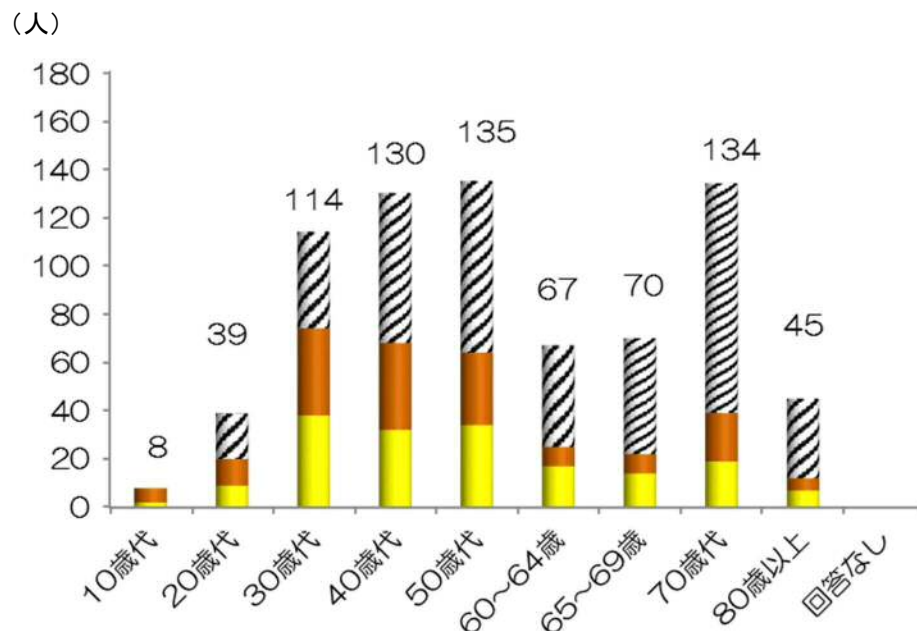
※ 本設問は、後期基本計画の指標とは直接関連のないものですが、市民の方の状況を把握するためにお聞きするものです。

▼ 調査結果



※（ ）内の値は回答数

▼ 年齢別クロス集計



利用したい
 近隣自治体でも移動可能であれば利用したい
 利用する予定はない

【参考】その他回答者属性とのクロス集計

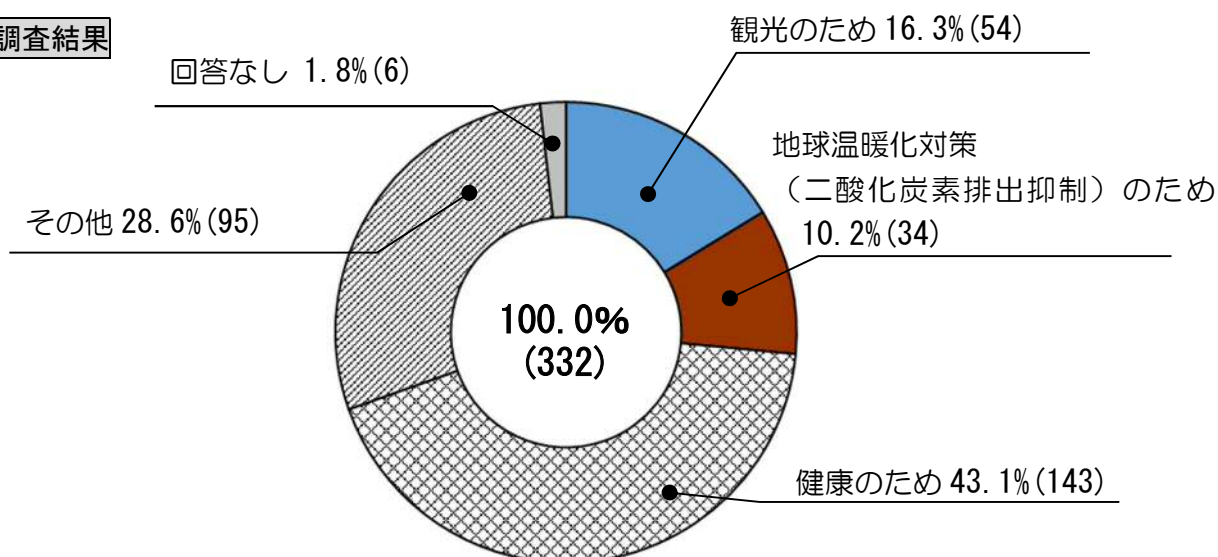
	回答	利用したい	近隣自治体でも移動 可能であれば利用し たい	利用する予定 はない
性別	男性	24%	21%	55%
	女性	23%	22%	55%
年齢	10 歳代	25%	75%	0%
	20 歳代	23%	28%	49%
	30 歳代	33%	32%	35%
	40 歳代	25%	28%	48%
	50 歳代	25%	22%	53%
	60～64 歳	25%	12%	63%
	65～69 歳	20%	11%	69%
	70 歳代	14%	15%	71%
	80 歳以上	16%	11%	73%
世帯	単身世帯	23%	20%	56%
	夫婦のみ世帯	23%	17%	60%
	二世帯世帯（親・子）	24%	24%	52%
	三世帯世帯（親と子と孫）	12%	23%	65%
	その他	25%	13%	63%
家族	高校生以下の子ども	26%	31%	43%
	65 歳以上の方	19%	15%	65%
	高校生以下の子ども及び 65 歳以上の方	31%	23%	46%
住所	和泉本町	20%	22%	58%
	中和泉	30%	29%	41%
	西和泉	25%	5%	70%
	元和泉	16%	26%	58%
	東和泉	40%	18%	42%
	猪方	22%	16%	62%
	駒井町	25%	13%	63%
	岩戸南	27%	18%	55%
	岩戸北	22%	19%	58%
	東野川	15%	25%	60%
	西野川	13%	30%	57%
居住歴	生まれてから現在まで	24%	22%	54%
	1 年未満	39%	21%	39%
	1～5 年	31%	28%	41%
	6～10 年	14%	30%	56%
	11～20 年	20%	27%	52%
	21 年以上	22%	15%	64%

※ 構成割合は四捨五入をしているため、その合計が 100 にならないものがある。

【設問 27】 問 26 で「1. 利用したい」,「2. 近隣自治体でも移動可能であれば利用したい」とお答えいただいた方に伺います。利用目的は何ですか。

※ 本設問は、後期基本計画の指標とは直接関連のないものですが、市民の方の状況を把握するためにお聞きするものです。

▼ 調査結果

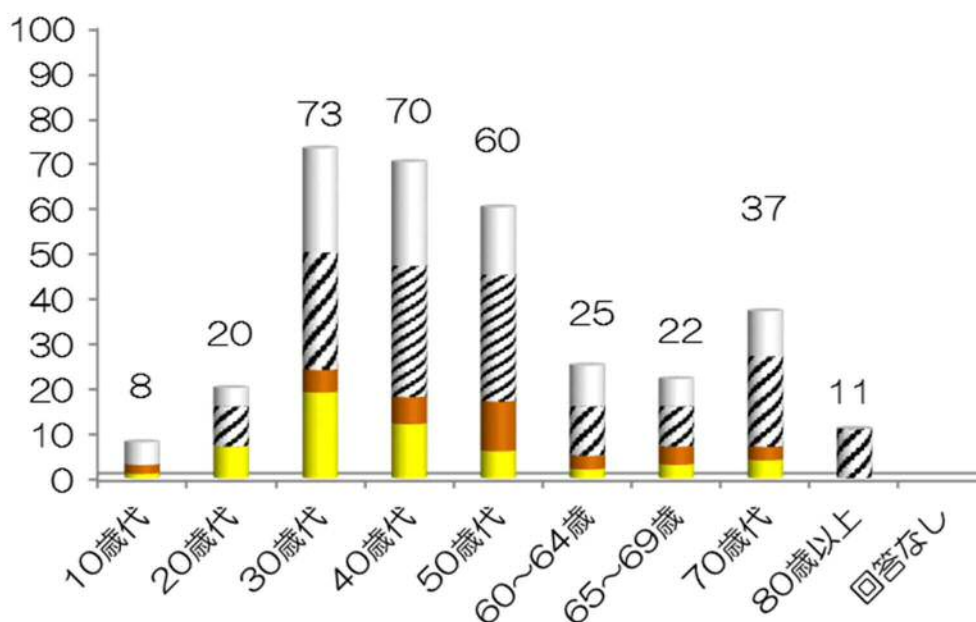


※（ ）内の値は回答数

※回答対象者数は 332 人

▼ 年齢別クロス集計

(人)



■ 観光のため

■ 地球温暖化対策（二酸化炭素排出抑制）のため

■ 健康のため

□ その他

【参考】 その他回答者属性とのクロス集計

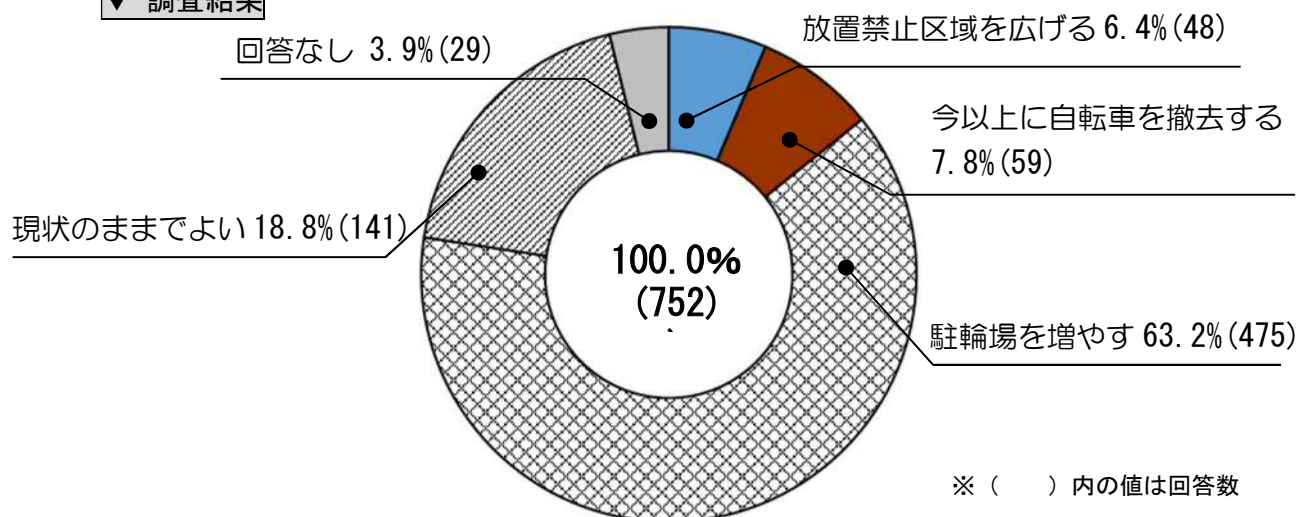
	回答	観光のため	地球温暖化対策（二酸化炭素排出抑制）のため	健康のため	その他
性別	男性	14%	7%	54%	25%
	女性	18%	13%	38%	32%
年齢	10 歳代	13%	25%	0%	63%
	20 歳代	35%	0%	45%	20%
	30 歳代	26%	7%	36%	32%
	40 歳代	17%	9%	41%	33%
	50 歳代	10%	18%	47%	25%
	60～64 歳	8%	12%	44%	36%
	65～69 歳	14%	18%	41%	27%
	70 歳代	11%	8%	54%	27%
	80 歳以上	0%	0%	100%	0%
世帯	単身世帯	15%	6%	49%	30%
	夫婦のみ世帯	18%	7%	46%	29%
	二世帯世帯（親・子）	17%	13%	40%	30%
	三世帯世帯（親と子と孫）	11%	11%	67%	11%
	その他	25%	0%	50%	25%
家族	高校生以下の子ども	23%	7%	39%	32%
	65 歳以上の方	7%	14%	50%	29%
	高校生以下の子ども及び 65 歳以上の方	0%	14%	57%	29%
住所	和泉本町	22%	2%	48%	28%
	中和泉	14%	5%	49%	32%
	西和泉	40%	20%	20%	20%
	元和泉	0%	15%	31%	54%
	東和泉	13%	6%	41%	41%
	猪方	22%	11%	33%	33%
	駒井町	25%	33%	25%	17%
	岩戸南	18%	15%	46%	21%
	岩戸北	19%	11%	51%	19%
	東野川	16%	14%	38%	32%
	西野川	5%	18%	50%	27%
居住歴	生まれてから現在まで	6%	19%	56%	19%
	1 年未満	31%	6%	25%	38%
	1～5 年	26%	5%	37%	32%
	6～10 年	15%	0%	58%	27%
	11～20 年	15%	12%	37%	36%
	21 年以上	12%	15%	49%	24%

※ 構成割合は四捨五入をしているため、その合計が 100 にならないものがある。

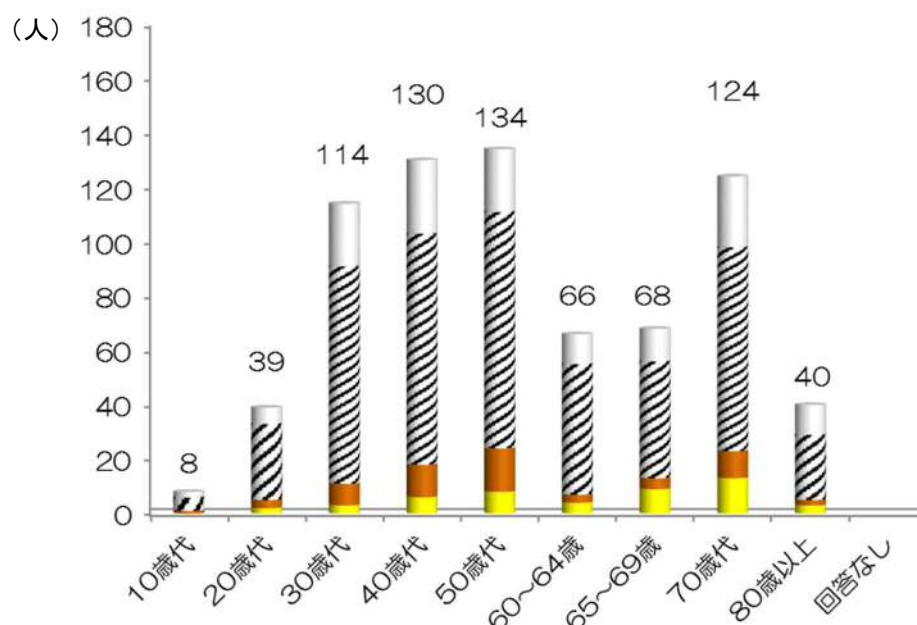
【設問 28】 市では、駅周辺等に自転車放置禁止区域を設置し、歩行スペース確保のために自転車の撤去をしています。あなたが追加で行うべきだと思うのはどれですか。

※ 本設問は、後期基本計画の指標とは直接関連のないものですが、市民の方の状況を把握するためにお聞きするものです。

▼ 調査結果



▼ 年齢別クロス集計



【参考】その他回答者属性とのクロス集計

	回答	放置禁止区域を広げる	今以上に自転車を撤去する	駐輪場を増やす	現状のままでよい
性別	男性	6%	13%	60%	21%
	女性	7%	5%	69%	19%
年齢	10 歳代	0%	13%	63%	25%
	20 歳代	5%	8%	72%	15%
	30 歳代	3%	7%	70%	20%
	40 歳代	5%	9%	65%	21%
	50 歳代	6%	12%	65%	17%
	60～64 歳	6%	5%	73%	17%
	65～69 歳	13%	6%	63%	18%
	70 歳代	10%	8%	60%	21%
	80 歳以上	8%	5%	60%	28%
世帯	単身世帯	7%	6%	63%	23%
	夫婦のみ世帯	12%	9%	58%	21%
	二世帯世帯（親・子）	3%	8%	71%	18%
	三世帯世帯（親と子と孫）	4%	4%	69%	23%
	その他	22%	22%	56%	0%
家族	高校生以下の子ども	2%	9%	72%	17%
	65 歳以上の方	10%	7%	62%	20%
	高校生以下の子ども及び 65 歳以上の方	8%	0%	85%	8%
住所	和泉本町	7%	12%	60%	20%
	中和泉	8%	6%	65%	21%
	西和泉	11%	11%	58%	21%
	元和泉	3%	7%	70%	20%
	東和泉	9%	9%	55%	27%
	猪方	4%	10%	71%	14%
	駒井町	3%	7%	80%	10%
	岩戸南	6%	11%	71%	11%
	岩戸北	7%	4%	61%	28%
	東野川	4%	4%	77%	14%
	西野川	8%	10%	56%	27%
居住歴	生まれてから現在まで	5%	14%	68%	14%
	1 年未満	0%	0%	63%	37%
	1～5 年	5%	4%	64%	27%
	6～10 年	8%	13%	56%	23%
	11～20 年	4%	12%	70%	15%
	21 年以上	9%	7%	67%	17%

※ 構成割合は四捨五入をしているため、その合計が 100 にならないものがある。

4. 市民の分野別の関心度及び市の取組みに対する満足度に係る調査結果

外部評価※の対象事業を選定する際の参考とするとともに、今後の政策検討の基礎資料とするため、市民の関心が高い分野及び市の取組みに対する満足度を調査した。

※ 効果的な施策の推進に向けて、前年度の行政活動を検証する「行政評価」の一つ。市民、有識者で構成する外部評価委員会において実施するもので、行政外部の視点から行政活動を検証し、提言を行うもの。

【設問】①：次ページの表から関心のある小分野を5つ選び、下の回答欄に番号を記入してください。

②：①で選んだ理由を記入してください。

【記入例】7「防災・防犯」、17「自然環境」に関心がある場合

①小分野番号	②：①の理由を記入してください。
7	市の震災等への取組みに満足しているため。
17	公園で子供と遊ぶ機会が多いため。

【設問】次ページの表の小分野毎に、次の基準に従って、あなたの満足度の番号を
次ページの表の右回答欄に記入してください。

【満足度の基準】

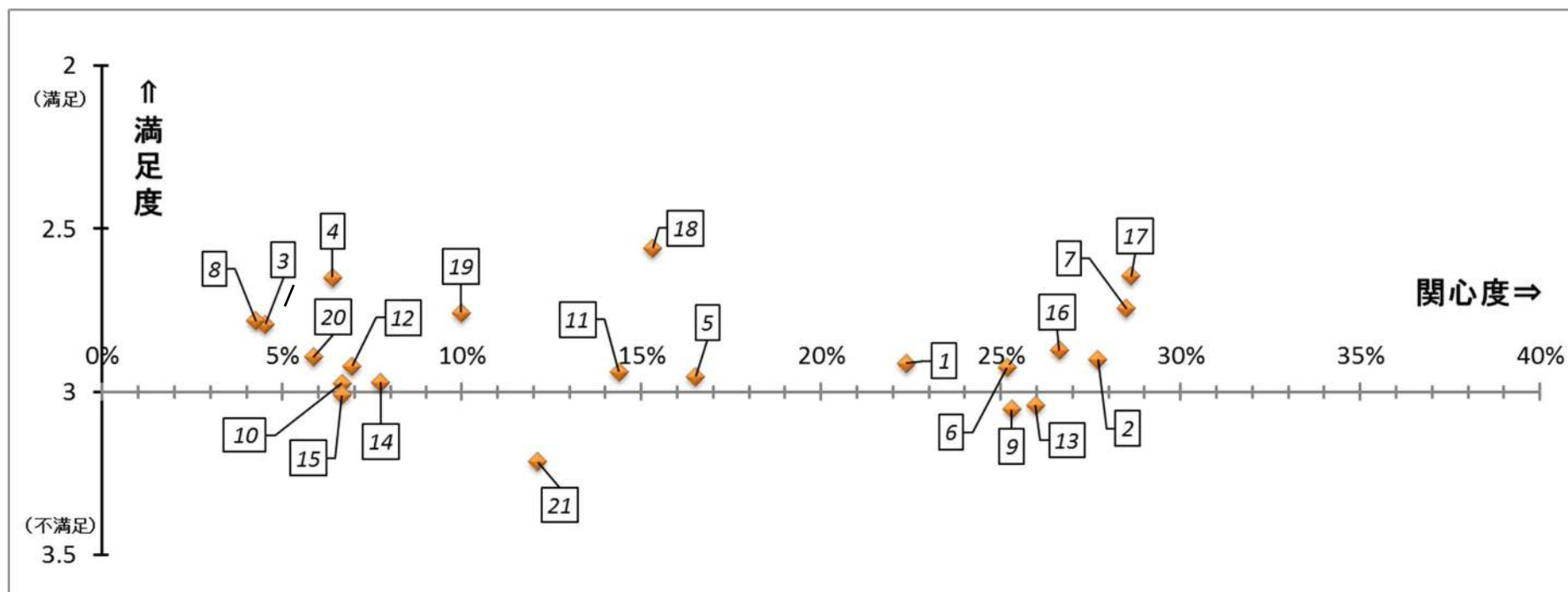
- | | | |
|------------|-------------|--------------|
| 1. 満足している | 2. やや満足している | 3. どちらともいえない |
| 4. やや不満がある | 5. 不満がある | |

分野における市の取組み及び各小分野における事業例

分野	番号	小分野	事業例	満足度 回答欄
都市基盤	1	まちづくり	土地利用の計画的誘導，住宅施策の推進，都市拠点の形成，良好な景観の形成	
	2	交通	交通環境の整備，道路整備の推進	
市民生活	3	市民交流	地域交流の推進，都市間交流の推進	
	4	市民文化	さらなる地域文化の振興，文化・芸術活動の推進	
	5	地域振興	商工業の振興，都市農業の振興，観光の推進とイベントの充実，消費生活の充実	
	6	生涯学習	生涯学習機会の充実，図書館利用の推進，スポーツ・レクリエーション活動の促進，歴史遺産・文化財の保存と活用	
	7	防災・防犯	防災機能の強化，地域との連携，防犯対策の充実	
	8	平和・人権	平和を求めるまちづくり，人権を尊重するまちづくり	
子ども	9	子育て	保育環境の整備，子育て家庭への支援，ひとり親家庭への支援	
	10	青少年	放課後対策の充実，青少年の自立と社会参加	
	11	学校教育	生きる力を育む教育の推進，特別支援教育の推進，地域との連携の推進，教育環境の充実，教育施設の整備	
福祉・健康	12	地域福祉	相談機能の充実，地域福祉活動の推進，ユニバーサルデザインの推進，避難行動要支援者対策	
	13	高齢者福祉	自立生活の支援，生きがいづくりの推進，介護予防・認知症予防の推進，介護保険制度の推進	
	14	障がい者福祉	相談体制の強化，障がい福祉サービスの充実，自立生活・社会参加の支援，発達障がい者（児）の支援，高次脳機能障がい・難病者（児）の支援，虐待防止の推進	
	15	生活福祉	生活困窮者への支援，就労支援・就学支援体制の強化	
	16	保健・医療	健康意識の向上，健康診査の充実，健康づくりの推進，母子保健の充実，地域医療体制の充実，感染症対策の充実，国民健康保険の安定的な運営	
環境	17	自然環境	水環境の保全と活用，水循環の推進と下水道施設の整備，緑の保全と創出，公園の整備と管理	
	18	循環型社会	ごみ減量化の推進，安定した資源回収体制の確立，安定的なごみ処理体制の確立	
	19	環境保全	環境保全意識の啓発，低炭素社会の構築，日常生活の環境の維持，地域美化の推進，放射線量の測定・公表	
行財政改革	20	市民参加 市民協働	情報の共有化と積極的な情報発信，市民参加の促進，市民協働の推進	
	21	行財政改革	財政基盤の強化，簡素で効率的な行政基盤の構築	

◆ 調査結果

i) 各分野の関心度・満足度の分布



1	まちづくり	8	平和・人権	15	生活福祉
2	交通	9	子育て	16	保健・医療
3	市民交流	10	青少年	17	自然環境
4	市民文化	11	学校教育	18	循環型社会
5	地域振興	12	地域福祉	19	環境保全
6	生涯学習	13	高齢者福祉	20	市民参加・市民協働
7	防災・防犯	14	障がい者福祉	21	行財政改革

ii) 各分野に関心を持った回答者の割合及び満足度の平均

	分 野	関心を持った回答者の割合		満足度の平均(点)※	
			順位		順位
1	まちづくり	22.3%	8	2.91	11
2	交通	27.7%	3	2.90	10
3	市民交流	4.5%	20	2.79	7
4	市民文化	6.4%	18	2.65	3
5	地域振興	16.5%	9	2.95	15
6	生涯学習	25.1%	7	2.93	13
7	防災・防犯	28.5%	2	2.74	4
8	平和・人権	4.3%	21	2.78	6
9	子育て	25.3%	6	3.05	20
10	青少年	6.6%	16	2.97	17
11	学校教育	14.4%	11	2.94	14
12	地域福祉	6.9%	15	2.92	12
13	高齢者福祉	25.9%	5	3.04	19
14	障がい者福祉	7.7%	14	2.97	16
15	生活福祉	6.6%	16	3.01	18
16	保健・医療	26.6%	4	2.87	8
17	自然環境	28.6%	1	2.65	2
18	循環型社会	15.3%	10	2.56	1
19	環境保全	10.0%	13	2.76	5
20	市民参加・市民協働	5.9%	19	2.89	9
21	行財政改革	12.1%	12	3.22	21

※点数は、低いほど満足度が高いことを表している。

iii) 分布の特徴

① 関心度

17 自然環境, 7 防災・防犯, 2 交通の分野への関心度は, 他分野と比較して高いことが分かった。また, 16 保健・医療, 13 高齢者福祉, 9 子育て, 6 生涯学習の分野についても, 関心があることが分かった。

一方で, 8 平和・人権, 3 市民交流への関心度は他分野と比較して低いことが分かり, 次いで 20 市民参加・市民協働, 4 市民文化, 10 青少年, 15 生活福祉の分野についても, 関心度が低いことが分かった。

② 満足度

各分野において満足度を回答した市民一人当たりの平均値を算出した数値となる。

多くは「2. やや満足している」及び「3. どちらともいえない」の間の数値をとっているが, 「2. やや満足している」を上回っている分野はなかった。全体的な傾向として, 8割以上の分野において, 「3. どちらともいえない」を上回っており, 「3. どちらともいえない」を下回った分野は4分野のみであった。

満足度が高い分野は, 18 循環型社会, 17 自然環境, 3 市民文化であり, 一方で, 21 行財政改革, 9 子育て, 13 高齢者福祉, 15 生活福祉の分野への満足度は低いことが分かった。

5. 市民の分野別の関心度及び市の取組みに対する満足度に係る調査結果（記述）

1	まちづくり	59
2	交通	64
3	市民交流	70
4	市民文化	71
5	地域振興	72
6	生涯学習	75
7	防災・防犯	80
8	平和・人権	86
9	子育て	87
10	青少年	92
11	学校教育	94
12	地域福祉	97
13	高齢者福祉	99
14	障がい者福祉	105
15	生活福祉	107
16	保健・医療	108
17	自然環境	113
18	循環型社会	119
19	環境保全	122
20	市民参加・市民協働	124
21	行財政改革	126
参考	テキストマイニングによる分析	130

※各分野における記述・整理は、アンケートに基づき記載している。

1 まちづくり

- 未だ不十分だから。
- 水道道路周辺は“行き止まり”の道が多く、土地があれば家を建てていた感があります。景観や通行する人の利価値等を考えた住宅政策を望みます。
- 都立公園を作ってほしい為（和泉多摩川）。
- 緑を残す努力が不足、公園をもっと多く。
- 近年、マンションばかり建って、見晴らしがわるくなっている。
- 耐震について調べたい。
- 大きな公園が少なかったので、駅前広場の整備はうれしい。
- まだ田畑のある内に、道路整備が進行中ですね。
- 駅周辺の更なる活性化。
- 空家対策を望んでいるため。無電柱化を望んでいるため。
- 各家庭で緑化に感心を持つ事。
- 高層ビル・マンションが多すぎるので規制の強化。
- 最近我家の近くは住宅建設がとても盛んです。
- 緑の多い狛江の町らしさの保全。例→屋敷材が年々少なくなっているのが気にかかります。多摩川の河川敷の利用－狛江側は日照がとても良いので、例えば牧畜、ぶどう園等に利用できないか。
- まちづくりをもっと進めてほしい。
- 町並みの整備は多い程資産が上がる。また空家を無くすことも防犯に有効。狛江のクオリティを上げるためにはこの2つは大事。
- 緑が多く景観の美しい町にしたい。
- 市の都市計画への取組みに大いに興味あり。
- 畑や駐車場がどんどん住宅へ変わっていく（建っていく）が、空家も多く、建物が朽ちていたり植木が道路へ出ていたりと迷惑。空家対策をしっかりとしてほしい。
- 今後の人口維持に重要と考えるから。
- 自宅の周辺環境を良好に保ちたいため。
- 100 m²以下の土地に建物を立てる事禁止条例はおかしい！！
- 狛江市に長く住み続けたいため。
- 商業施設をもっと増やしてほしいため。
- 店がいろいろでき便利になった。
- 良質な生活に景観は必要で計画は大切。
- まちをもっと魅力あるものにしたい。
- 住みやすいまちになって欲しいため。
- 景観の良い街は、生活していくうえで大切である。桜並木・多摩川の土手等、大切にしてほしい。
- 空家が増えている。
- 狛江駅で買い物をできる店舗を増やしてほしい。（準急も停まるようになり、それなり

に活性させてほしい。)

- 狛江市からどんどん緑が消えていってしまいます。小さな力でもまともな維持出来ると思っています。市と有志で何とか立ち上げてほしいです。
- 今まさに岩戸北は「まちづくり」をしています 長期に渡る計画ですので、住んでいる者、これから住む人達に納得のできるまちづくりを。
- 自然を保全してほしい。
- 道が曲がっているので整理したい。夜でも明るく歩けるようにする。
- まちづくり条例で 100 ㎡以上の宅地があるため引っ越してきた（家を購入した）。
- 自分の住んでいる街を自慢したいので。
- 良好な景観があると住みやすいから。
- 狛江に長く住みたいから。
- 自然が近くにあるので。
- 将来へのビジョンがなければ今、現状が無に等しいから。
- 住環境が大きく左右されるため。また市役所の長期ビジョンの有無により他の町と大きな差がつくため。
- 都市計画が全くなされていない。
- 狛江市の景観をよくしてほしいです。
- 景観を良くすると、街の印象が良くなると思うので。
- これ以上開けてほしくない。特に農地は重要。
- 市営住宅がない。
- 空き地や畑がどんどん住宅になり、逆に空家は多いのが気になるため。
- 第一種低層住宅地域での駐車場経営に不満。
- 自然が豊かで落ちついた街である事は気に入っているが大学があつたりショッピングモールがあつたりすると活気が出て便利で住み良い町になるのでは、と期待している。
- アパート、マンションが多すぎる。
- 「まちづくり」は住民生活の基盤、交通もまちづくりに含めた計画性を持たなければならないので、別項目になっているのは不思議。
- 「コンパクトシティ」として面白いまちづくりをしてほしいから。
- きれいで住みやすいまちをめざしてほしいから。
- 小規模住宅が増え、緑が激減している状況が何とかならないかと、悲しい思いでみている。今後相続が増え、私が育った北区のような息苦しい街になるのかと心配。
- OKストアの新設時に審議会が3Fや駐車場を許可しないこととしたと聞きましたが、まちづくりには逆効果。結果的に2F建になり、中途半端な店になりがっかりしています。高齢者が多いので配送サービスを期待していました。
- 大規模マンションや分譲住宅が一気に増え、保育所数や公園・図書館の規模が人口にマッチしていない気がする。
- 小規模な市の特性を生かしたまちづくりをして欲しい。
- 安い家賃でなるべく“新しい”住宅に住みたいと考えるから。また、そのためにも安く安全なアパートやマンションを増やしてほしい。

- 多摩川沿いにある、和泉多摩川地区センターがとてももったいない。会議室としてだけでなく、保育所やカフェとして活用した方が良い。
- 職業柄気になるというのもあるが、狛江という街が持つ魅力というかポテンシャルを活かせていないと常々思っている。
- 駅前をもっと整備して欲しい。
- やたら道路が増え、街が分断されている感じがする。
- まちづくりは日々の生活環境の基本だから。
- 緑が少なくなっていて建てものがたくさん建っていくようで心配。
- 当市が住みやすい街であるように。
- 大事だから。
- 商店街の廃れ具合があまりにひどいので、何か対策をしてほしい。
- 自分の住んでいるところは気持ちのよいまちでありたいから。
- 新築物件が増えているため、畑がなくなっていく。
- 環境は大切と思うので。
- 美しい環境作りの徹底を希望します。
- 良好な景観の維持と形成に関心があるため。
- 不便に感じる区域がある。
- 適切に緑を配置し、整備された美しい街並み、景観になっていってほしいと思っているため。
- 住宅が増えて自然が減ってきている。
- 農地が急激に減少し、住宅の過密化が進んでいるため。
- 基本。
- 利用されていない住宅が多い。
- 駅前をはじめ、全体的にきれいになった。犯罪が減りそう。
- 美しい街並みです。引っ越し先を探していた時、それを感じました。
- おしゃれな街にしてほしい。薬局ばかりはイヤ。駅前はまだ少し高いビルにしてすてきなレストラン・ブティックがほしい。道路のめちゃくちゃをなおしてほしい。
- 電信柱の地下化。
- 無計画に乱開発をして欲しくない。
- 自然のある狛江に満足しているため。
- 緑があり、ゴミが少ない。人の印象が良い。
- 古い空家が多いので気になる。
- 市の玄関である狛江駅を中心に発展させた方が、市外から人を呼び込むためには良いのではないと思う。現状は駅前の計画的な土地利用が出来ていないと思うからです。
- 良好な景観の形成に期待したいから。
- 区画整理。
- 生活していく上で1番大切な事だと思うため。
- 狛江駅付近の整備。
- 公園もきれいに定期的にしてほしい。犬のうんちが砂場に落ちていたり、たばこの吸

いがらが落ちている。

- 今後、空家の増加が懸念されますが、有効な政策により、若い世代の取り込みや防犯につなげていただきたいと思います。
- 狛江の有効な土地計画利用が見えてこない。新宿までせっかく近い地域なのに駅前などの発展がない。(一中通りがせっかく広いのに、スーパー等がなく、不便。活気もない。N T Tの建物は利用されているの？喜多見駅に至る電中研通りは、なぜ広がらないのか？狛江駅前も、もう少し活気のでる様な商業施設を誘地すべき)。
- 宅地の規制緩和を希望しているため。
- 駅前ひろばの整備が良かったので。
- 岩戸北2丁目周辺の開発計画が市にとって、市民にとっていいものとしてほしい。
- 整った美しいまちは防犯につながると思うので。
- 市内にラグビー、サッカーなど野外球技のできる施設がない。複数確保したい子どもやシニアでもころんだりできる安全なグラウンド面の球技施設は必要である。(芝・人工芝など) 学校は多目的のため硬く、土砂のため利用はしたくない場所である。
- 住みたい街として、必要なこと。
- 都市基盤の整備。
- 人口が増えていると感じる。マンションが増えた。
- まちづくりなくて都市の発展はないと思うので。
- 予定されているいくつかの都市計画事業をきっかけに新しいまちづくりを。
- きれいな道が多いため。
- とにかくゴミ捨てが多く汚い。ポイ捨てをしない町＝良心の育つ町にしたい。
- 道路整備につながる。
- 第1種住宅地域を広げて、アパート、マンションなどの建設を制限する。
- 狛江のまちづくりがどのようになるのか非常に興味があるため。
- 静かで住みやすい町だが、もう少し商業施設等発達して欲しい。商店街など。
- 狛江駅南側の再開発。
- 公園が少ない、トイレの設置を希望します。
- 住宅が増えて発展するのは良いが、将来像が見えないから。
- 多摩川でバーベキューができる様お金をとってメリットがある様に考えてほしい。多摩川住宅は大きなショッピングモールや映画館を作ってもっとお金が生まれる街にした方がよい。
- せまい道路、いりくんでいる、5～6m道路で整備された住宅地が少ない。→特に駅の南方面。
- 無計画でなく計画的、めざすゴールのあるまちづくりをしてほしい。
- 世田谷区と合併を望むため。
- 狛江駅から市役所までの地域の一体的な景観形成。文化財的な価値のある市役所庁舎への建て替え。
- 商業施設が少ない。警察署はいつできるのか！？調布警察まで出向かなくてもいいような代わりのものがほしい。

- 駅前の三角広場にネオンが昼間から光ったり、パン屋がB級グルメテイストになったり、景観にセンスが感じられない。
- アパートや空家が目立つ。安く住めるように対策して欲しい。こまっている人は多いと思う。
- 狛江市の財産である多摩川を活かす事。調布市側と世田谷区への連絡する多摩川土手の更なる整備。
- 工場が減ってきている。職場が遠くなる。
- マンションばかり作らないでほしい。
- 引っ越してきて、日本で2番目に人口の少ない市ということでどういうまちづくりを目指しているのかに関心があります。
- 人口増加に伴い、街が活生化しているように思うため。
- 住みやすい街づくり。
- 計画的なまちづくりを期待しているから。
- マンションが増えてきており、良好な景観が減ってしまう。
- 農地が無計画に宅地・住宅になっているように思える。
- 住み良い街になることを期待しているため。
- 岩戸北、電研跡地の利用に関心があるため。
- 電力線、通信線を架空から地下化を進めて欲しい。
- 狛江に住み続けたいので。
- 電線の地下化を促進して欲しい。景観／防災両面で必要。
- より良い土地利用をしてほしい。
- 街灯がまだまだ少ないと思うので。
- この町が好きだから。
- 宅地化が進み、緑が減っている（農地の減少）。
- できる限り、昔の景観をいかし、新たに建設する建物に対してそれを抑制した条例作り。できれば、各地域の特色があるまちづくりをお願いします。
- 長期で住んでいるため。
- 今の閑静な様子、緑の多さ（成城のもりが見える、野川、多摩川）等が、新宿からの距離を考えても、とても素晴らしいので。
- まちづくり：小田急線の北側ばかり整備されており南側がさびしい。狭い。歩道ない。道路etc。
- 生活するうえでの「売り」の部分明確にした方がよい。定住化を推進すべき。
- 古い公園（遊具が古い）が目立つ印象があるため。
- 自然・緑を大切にした都市造りがとても良い。
- 駅周辺、エコルマビルテナントなど、魅力ある店舗の誘致などしてほしい。

2 交通

- 古い町並が残っているため、どこへ行くにも不便である。
- こまバス等の利便性が、もっと良くなると思います。市内に高齢者が増えているので、移動しやすくなれば、マイカーの使用が少なくなるから。不用意な事故が少なくなると思う。
- 道が狭く、曲りくねっていて見通しが悪い。
- 農地の宅地化により行き止まりの道路が多い。
- 交通量が多い狭い道路が多い。
- 狛江市内の循環バスを増やして欲しいので。
- 小田急線が便利になった。
- 京王線－小田急線－大井町線を繋ぐ地下鉄（野川下）が欲しい。
- 道路・階段等の段差解消（バリアフリー化）。
- 歩道で車椅子を押していると、自転車が多く、危険が多い。
- 自転車レーンの整備が遅れていると感じます。
- 道路の車道と自転車の道をはっきり作ってほしい。
- 乱暴な運転をする人が多いので怖い。
- 安全をたしかめながら歩いている。不安。
- より交通の便が向上することを望むから。
- 歩道がせまく危険な道がまだまだ多いです。そのような道をよく使用します。
- 道路の舗装が著しく悪い。信号が必要では？と、通るたびに感じる箇所があり危険。
- 引越しして来た 15 年前に比べ車の運転が走りやすくなった。道路拡張。街灯 L E D。
- 狛バスが利用しやすい。
- 道がとにかくせまいところが多い。
- 道路整備が非常に遅れている。
- 交通環境が整っていると街が発展すると思うため。
- 安全に通行（歩行、車）したいから。
- 子どもの事故を防ぐために必要。学校の要望書で何年も出ているものは、しっかり受けとめ改善して頂きたいと思う。
- 都市基盤としての道路計画が進んでいない。岩戸南地域の整備を早急にお願いしたい。
- 水道道路の歩道を拡げ、自転車レーンを設けて欲しい。
- 交通の便は重要、公共交通に頼らざるをえないので。
- 狭い道路が多すぎるから。
- 駐輪場の利用者に対して、その周辺の商店街に割引やサービスなどを通じて、商店街が活性化すると思ったからです。
- 公共交通機関を利用することが多いため。
- 自転車等の整備を整えてもらいたいため。
- 道が狭くて、整備されてない所が意外に多い。
- 喜多見駅へのバスの本数を増して欲しい。

- 喜多見駅前の整備、狛江方面に改札を作ってほしいため。
- 交通量の多いところで歩道が無いところがある。
- 駅までのバスが通り大変助かっています。
- 狛バスが時間通りに来ない（普通で5分遅く来る）。駅から時間がかかりすぎ。西野川付近は（調布つつじより）交通手段がないのにバスが少ない。
- 交通事故が多いから。
- 多摩川河川敷歩道の整備が遅れているため。
- 道路整備の推進をして欲しいので。
- 歩道とは別に自転車専用レーンが欲しい。世田谷通りのゴリラビルの近くと、狛江一中先の歩道に民家の塀が出ていたのを除去していただき自転車で走りやすくなった。
- 細い道が交互通行であったり子供の通学路にガードレールがない所が多い。
- 老齢のため。
- 交通環境に満足しているため。
- 道がせまいと思う。
- 自動車にのるため。
- 古くからの道が多く車の運転（自転車）がしづらい。アスファルトもデコボコしている所が多い。
- せまい道路、いりくんでいる、5～6m道路で整備された住宅地が少ない。→特に駅の南方面。
- 電柱の地下化。各種の配線が重さなって、重さに耐えられるのか心配。
- 子どもと道を歩く際、道が狭いため自転車や車の運転に危険を感じる事が大変多いです。
- 自転車に乗る機会が多いので。
- 道路がせまく、歩行や自転車が通りにくいから。
- 自転車専用道等整備されるといいなと思っているため（車道・歩道・自転車道の区別を推進してほしいと思っている）。
- 細い道路は車が優先的に走っているため、歩行者は歩けないから。
- 今ある生活道路を整備して欲しいから。
- 交通：都市計画道路整備してほしい→道が狭いため、ベビーカーを押すのが大変です。歩道がななめで狭くて危険（線はかいてあるのにやる気配ないから）。
- 交通の便が良くなった（バスの便）。
- 道路環境がよくなっている。
- 住み良い安全な町として大事なことから。
- 道路の拡幅工事も進んでいますが、もう少しスピードアップしてほしい。
- 信号は歩車分離型にするべきだと思う。
- 自宅前の道路を整備してほしいから。
- 狛江通りの延伸及び二子玉川ーアミノバイタルフィールド間の地下鉄の敷設を希望。
- 自転車利用地域の整備（駐輪場を含む）。
- 交通環境が良くなると他との交流が広がるから。

- 歩道の整備をして欲しい。
- 西野川地区（特に区界）はせまい所有り（歩道など）。
- 車椅子を押して外出できる道路を増やして欲しい（ヘルパー）。
- 自宅が道路計画地のため。
- 生活道路に域外の車やバイクが入りこんでいる。
- 自転車に乗る機会が多いが道路整備されていない所も多々あると思うので。
- 狭い道路が多い。
- 日常的につかうため。
- 歩道の狭い箇所、人とのすれ違いが困難、車イスなど無理。
- 道路整備。
- 狭い道路で自動車の多い箇所の安全対策等。
- 狛江駅に急行が停車してほしい。
- 駅前駐輪場がいっぱいで駐輪できないことが多い。
- 歩く事が多くなったため。
- 区画整備が出来ていなくわかりづらい。
- 歩行者、自動車、自転車等、各々のマナーを再確認してほしい。道路工事、住宅工事につき、道路での交通整理を確実にしてほしい。
- 移動が自転車か、公共機関である為。
- 交通量が多いのに道幅がせまく、危険な道路が多過ぎる。
- 準急が止まる様になり便利になった。
- 住まいのある道路が「私道」故デコボコで危険です。いくら市に言ってもラチがききません。一日も早く公道に！！
- 自転車を活用するなら市道等を一方通行とし、余った部分をサイクル・ロードとすべし。又、専用信号、標式（太田区）を設置、ボランティア、他を活用して保安体制を。更に住宅地に減速の為欧米のようにパンプを作ること。
- （自宅からメイン道路に合流する際）駐車場から道路に出る際、電信柱で車が見えない。信号機を付けて欲しい。
- 自転車の通行帯、自転車のマナー。
- 水道道路が狭くて困っている。細い道路なのに大型車がひんぱんに通り、迷惑している。何とか改善してほしい。
- 狛江駅～多摩川住宅のバスは充実している。
- 道路整備も良くなり、こまバスも便利のため。
- バスの利用が多いため。
- 道路拡幅等は目に見えて分かる。
- 狭い道路がある。通り抜け道路がある。生活道路の確保。
- こまバスや市内遠地から鉄道駅までのバスの増発。都市計画道路の進捗が本当に実現できるか心配。
- 子供のせ自転車が出掛けることが多いため自転車が安全に走れる道路整備を希望するため。

- 駐輪場を増やしてほしい。
- 街灯の光が強すぎる。三叉路の信号がわかりづらい。
- 無駄に（3月とか？）何度もやっている場所と全く手つかずの場所の差がひどいと思う。
- バスの時間帯が少ない。
- 過去5年間に、メイン道路整備が進んだように見えるため。
- 交通量を見直し、信号が多すぎるなど、赤青の時間調整ができていない。
- 迷惑駐輪 かなりがんばっているがまだ課題多い。
- 出かけやすい、住みやすい。
- 市内の交通量が増えていると感じる。
- 未だ不十分だから。
- 道が狭く、自転車が多い地域の為、歩行者が危険な所が多い。
- 自転車も歩行者も安心して通れる道を希望しているので。
- 細くて自転車（特に子供をのせていると）こわいと感じる道がいくつもある。もう少し整備してもらいたい（慈恵医大前や仙川近くの坂道など）。
- 駅→多摩川住宅→調布へのバス路線追加。
- 事故をへらしたいから。
- こまバス・小田急バスの終バスが早いと感じます。終バス後も駅利用者（帰宅者）は多い為、本数upを期待します。
- 幼稚園児の送迎の自転車マナーが悪い。
- 狛江と主要な二子玉川までのアクセスを増やすと、クオリティは上がります。府中も同様で道の活用は住民生活を変えます。
- 都道からの（元和泉）調布行バスはどうなったか。
- あまりにも未整備な狛江市の道路事情への市の取組は？
- 道路の整備は重要。
- 近くの水道道路の道幅が狭いため。
- 歩道が出来歩きやすい。
- きめこまやかな交通手段。
- 通学・通勤のルートをきれいにしたいため。
- 交通が便利。駅近なのでとても助かっている。バス路線が多く、生活にうるおいが出る。
- 狛江市内循環バスのような高齢者や障がい者、通学用の交通機関が増えるとよい。
- 自転車レーンの拡充。
- 交通の便がよくなると生活しやすくなると思うから。
- 住環境が大きく左右されるため。また市役所の長期ビジョンの有無により他の町と大きな差がつくため。
- バスの便がこない地域で狛江駅方面に出るにしても調布に出るにしても100m以上、歩かなければならない。つえをついてる私は不自由だ。ぽっかり抜けた「捨て地」（中和泉5丁目のハジ）だ。なので市のやることに何を言ったら良いのかわからない。だか

ら「5」のマークが多い。

- 道路事情が悪すぎる。
- 雪の凍結防止剤を歩道にもまいてほしい。又は市で各家庭に配布してほしい（特に戸建住宅）。
- 生活する上で必要だから。
- バス便が悪い（今は歩けるから良いが）。
- こまバスの使い勝手が悪く残念（一方方向のみの運転・小田急バスとかぶっている道や時間のある所）。
- 小田急線のダイヤ改正等、住んでいると関心がわくものなので。
- 和泉多摩川の駅も狛江の一部であることを忘れないように、和泉多摩川～登戸間のバス路線、成城・二子玉川、調布・武蔵小杉行のバス等。
- バス等はあるが交通の便が悪い。
- 交通量が多いのに信号がないなど、あぶない交差点が多い。
- 路面補修が気になる。
- 不便に感じる区域がある。
- 生活の利便性に直結する内容であり、小田急線を中心としつつ、バス等の他の交通機関との組み合わせで主要駅や空港等へのアクセスを向上させてほしいため。
- 都営狛江アパート側の小田急バス停留所（営業所前）の歩道が狭く、バス待ちの人、自転車、歩行者で混雑・危険。
- ミラーの充実。
- 駅、バス停共に整備され、利用しやすい。
- 小田急高架下の駐輪場は無料にすべきだ。
- 小田急電鉄の乗り継ぎがとても悪くなり不便。改悪！
- 電力研究所前の道路拡幅を早急に整備して欲しい。松原通りの成城学園方面右折専用路を整備して欲しい。
- 安全のために。
- 何十年も道路整備が進んでいないところがある。
- 運転免許は返納しているし自転車は乗れないのでバスだけが交通手段で外出には不便を感じる。
- 水道道路の危険を日々感じており、早急に整備してほしいと思うから。
- 野川沿いの道がガタガタの所がある（調和小の反対側の道）。慈恵のグラウンド・テニスコートの前の歩道がせまいし段差が途中からあり自転車が逆走で歩道に入れなくて危険（自転車が右側通行の場合ですが）。道幅がせまいため自転車を通る時人（特に老年よりの方）が自転車を通すために待つことが多いです。
- 道路整備整ってきていますが、より安全できれいな道路を要する所もある為。
- 児童館が2つあるがどちらも駅から遠いし、車道をベビーカーで歩くので安全ではない。場所が悪い。
- 喜多見・ハイタウンのバスは、もう少し本数を増やしてほしい。狛江市内のバスをもっと少し便利にすれば、利用者もふえる。

- 岩戸北2丁目の五叉路に信号を設置してほしい。
- 歩道の整備が整っているところとそうでないところに差がある。
- コンパクトで平坦な市域を生かした自転車中心のまちづくりを望む。
- 足が悪いため。
- 狛江の道はせまい。そのせまい道に人、自転車、車、こまバス。歩く人が気をつけなくてはならない。こまバスも、乗っている人がほんのわずか。夜、遅いバスには、人は乗っていない。本当に必要かと思う。
- 車の通行の際の音を低減する舗装工事を進める。
- 歩道の整備が進んでいるため。自転車通行帯の整備も進めてもらいたいため。
- バス便を増やしてほしい為（狛江市内駅へ行くのが不便と感じる為）。
- 交通環境は住む人にとってとても重要なので。
- こまバスをもっと使いやすくしてほしい。
- こまバスがもっと便利になってほしい。
- 交通環境の整備、道路整備。
- 重要だと思う。
- 喜多見駅に狛江側の改札口が欲しいため。
- 最寄り駅が喜多見駅の狛江市民にも、もう少し他路線などへのバスなどを運行してほしい。
- 高速道路へのアクセスが良いところは気に入っている。もっと前面に出してアピール（宣伝）しても良いと思う。
- バスをよく利用するため
- 自転車置き場が足りない
- 駅にも無料駐車スペースを作っていただきたい。
- 通学路があぶない。歩道がない。
- こまバスがもっと便利になったら、高齢ドライバーが減少すると思う。事故の減少につながると思う
- 便利になると暮らしやすいから。
- 狭くて危ない道が多い。
- 暗い道が多く、夜間は少し怖い。
- 前政権があまりにも福祉関係を重視したため交通インフラが遅れている。
- 交通事故があつてほしくないので。
- 小さい道路が五つも六つも交差している。きちんとすっきり道路にしてほしい。
- 水道道路に大型車が多すぎる。歩道がとてもせまいので自動車・自転車ともに通行がこわい。
- 自転車に乗るが段差が多いと感ずるため。
- こまバスの逆ルートを、取り入れていただきたい。もしくは、本数を増やしていただきたい。
- 市内の移動は楽だと感ずるため。
- 道路の新設などが行われて、便利になったと感じているから。

- 道路が狭い所があり、小さい子が危険な為。
- 通学路の交通量を減少して欲しいため。
- 通勤・通学時のバスの増便、バスルートの見直し、通学路の危険な場所を修正してほしいから。
- 整ってないと不便さから人口減少につながるため。

3 市民交流

- 隣近所の活発な交流を望む。
- 地域、世代間交流。
- 子供がお年寄を大切にしたいため。
- 地域交流イベントで粕江の良さを知る事が体験する事によってできた。
- 他地域とのサークル活動等の交流促進。
- 市民まつりなど市民交流の推進に満足している。
- 交流のため。
- 粕江市に転入して間もないため、地域のことをよくまだ知らない。交流を深めて、地域性を知っていけたら、と思ったため。
- 市民交流が盛んである。
- 様々な交流が行われており、大変良いことと思います。
- 粕江市は独立して運営するには困難な分野、環境があるから。
- 相互に参考になる点、良い点を取り入れる。
- 市民文流をしたいと思うが気軽に動けない（年齢かも）。
- 地域に住まう人間として市民との関わりが必要であると考えため。
- 小さなまちで資源が少ないので、交流を活発化したい。
- 粕江市の人と知りあいたいです。
- ボランティア（傾聴）に興味があるので。
- 市民交流の場が増える事による、元気のある地域作り。
- 粕江市の一員であると感じられる機会が少ないため。
- 未だ不十分だから。
- 町のため、個人のためになる。
- もっと知りたい（今の取り組みについて）。
- コミュニティ活動が活発で活性ある街づくりは防犯効果にも期待できる。
- 夏祭りなどを増やしてほしいため。
- 地域の連帯感、見守り、町内会。
- 障害1級の父の世話を1人で行っているが、人員不足とのことで相談員を付けてもらえず、大変に苦勞している。移住を考えたり、粕江市民に、「最期まで安心して暮らせない町」だと広報したいくらいの気持ちである。20年近く、税金をきちんと納めてきた父が、平等な（他地域と）サービスを受けられないことに、多大ないきどおりを感

じている。品川区から引っ越してきて、自然豊かな狛江を気に入っているだけに残念でならない。また、前例がない、とのことで介護保険のケアマネや（そもそも事務所が少なすぎる）、市担当者も経験不足、知識不足すぎる。調布や世田谷の現状をきくと、不平等感がつのる。せめて、近隣地域との情報共有を密にし、連携できる体制を整えるべきだ。情報リテラシーへの意識も低すぎる。人材育成にも力を入れてほしい。また、このような現状を公開し、市民の「高齢化社会」への意識改革をさらに促進すべきだ。「エンディングノート」はよい試みと思うが、部数が少なすぎるし、告知されていないさすぎ。住宅や公共施設のバリアフリー化もすすめ、支援し、寝たきりを作らない対策も必要。『ゆりかごから墓場まで』を、小さいまちだからこそ、地域のつながりの深さの中で実現してほしい。市内にある有料老人ホームは情報や人財をもっている。もう少し交流して、開かれたものにすることで、お互いに、共生しやすくなるのではないか。情報の共有化、市民からの情報発信と交流の場を、対面だけでなく、ネットワーク（Web）でも充実させることで、若い世代の新しいアイデアや考えを取り入れていくべきだ。また、世代を超えて、それら情報を共有していくべきだ。地域交流も、観光ばかりにかたよっているように思われる。（目立つものが観光なだけかもしれないが）福祉面での交流など、実のあるものを増やしてほしい（人的・物質的交流、含む）。

- 働いていると地域のつながりがほとんど得られないため。
- 新しい市民と古くからいる人との交流を増やす。
- 調布や世田谷と施設やサービスの連携を進めてほしい。

4 市民文化

- 文化振興が不十分。
- 市民文化。
- 心豊かに生活したいので。
- 芸術活動の推進を。
- エコルマホールでの催し物が今後も続いていきますように。
- 市民まつり等のイベント。
- 文化・芸術にあふれたまちは豊かなまちだと思うから。
- あった方がお互い学ぶことがあっていい。
- 音楽イベントが充実していてうれしい。
- 文化・芸術活動のさらなる推進。
- もっといろんなコンサートをやってほしいので。
- 地域発展の為。
- 若者の芸術活動への支援を望む。
- 自分の町として認識するため、もっと歴史的な観点で狛江を知りたいです。
- 駅前や市役所ロビーでコンサートをしている。絵手紙をあちこちで目にする。

- 芸術活動に興味があるため。
- 音楽関係の催しが多く、音楽に触れられる機会が多いことに満足しているから。
- 市民文化の発信基地「狛江」になってない。
- 寺社の多い街の歴史をもっと知りたいです。
- 一流アーティストの演奏会にふれる機会があること。
- 芸術（音楽）活動を更に強化して欲しい。
- 音楽の町、狛江にはとても関心があり、なるべく参加したいと思う。できれば映画会なども、無料で…エコルマでは無理か。
- 文化、芸術活動を更に進めてほしい。
- 充実していると思います。
- 絵手紙発祥の地である狛江なので、もっと推進活動をしてほしい。
- 豊かな環境を次の世代に残す。
- 「市民文化」と言えるほど力を入れた活動をしているようには感じないので、これからを期待しています。
- 大きいコンサートホールをつくっていただきたいです。
- 市役所ロビーのイベントに興味。
- エコルマホールでの芸術鑑賞ができる機会が増えたため。
- 市民文化の拠点として郷土資料館を望む。
- 将棋ブームですが、昔市でもやっていた講演会、将棋指導のプロの招致。
- 未だ不十分だから。
- エコルマのコンサート・イベントをもっと格安でだれでも親しむことが出来るようにしてほしい。
- 市民が楽しめるイベント、祭りを増やして欲しい。
- 狛江というブランドをもっと知ってほしいから。
- 岩戸町会のお祭りに数回顔を出した（少し排他的）。

5 地域振興

- 特に駅前の商業施設は狛江の顔であり、古い民家等も混在しており、中途半端な妥協の産物という感じが続いています。
- 狛江市ならではのイベントを楽しみたいから。
- 市営のジムなどがあるとありがたい。
- 味スタへのシャトルバスが狛江からでているのでラグビーW杯、東京オリンピック、Jリーグなどとコラボしてほしい。
- 商店街がさびしい感じです。
- 狛江ブランド野菜の利用がふえた。
- 農地の確保を考えて欲しい。
- イベントをもっと充実してほしい。

- 地域で作った農作物をもっと求められる様に。
- 駅周辺は栄えていても、離れるとお店がなくなる。住宅が増えているので、スーパーもあると便利。
- 住みやすい町のため。
- 狛江駅南口を含め店舗に魅力がない。つまらない活性化を！！
- 商業施設をもっと増やしてほしいため。
- 狛江、和泉多摩川駅周辺の活性化を期待。
- 個人商店が少なく大型店ばかりになっているため。
- バランスのとれた地域を形成出来なければ財政をはじめすべてが成り立たないから。
- 駐輪場の利用者に対して、その周辺の商店街に割引やサービスなどを通じて、商店街が活性化すると思ったからです。
- 別の街で、劇的に変化した状況を知ったため。
- 市内で働きたくても、会社や事業所が少ない。服飾、雑貨 e t c を購入したくても、そういうお店が少なく、市外で求めざるを得ない。
- 他地域へ出向かなくても買物が出来る様に大型店があると良い。
- 魅力↑→活性化→人口増。
- お店がなくなると困るから。
- 町の活性化を計るため。
- 商店街がさびれている。
- 外から来たばかりの人間として正直、狛江の観光利用には全く興味ありません。しかし、「狛江銀座」に葬儀社やピザ屋しかないのはひどいと思います。
- 特に「商」について他の街から狛江を目指して呼び込むような魅力がない。
- 狛江の発展には大切と思う。
- おいしい食べ物があるレストランや食堂などが少ない。
- 地域イベントへの積極的な参加をしたい。
- イベントの充実。
- 新鮮な野菜が買えるから。
- 住宅地としては静かで良いが、商業地・観光地が少ない。
- 和泉多摩川駅商店街振興が必要に思えます。現在多摩川河川敷でのバーベキュー等を禁止していますが有料化でバーベキューできる場所を作ると（食材込み等でも）活性化につながる…との声を耳にします。食材は市内の店で用意する等。市内産野菜売場が増えるとよい。
- 商店街の充実を希望。（調布市まで買物に出ている）→親から子に引きつがれる。
- 野菜の販売やビールのイベント。
- 観光の目玉を！
- 地域振興の発展。
- 市内で必要なものが揃わない。閉めてしまう店が増えている。
- 狛江駅の広場のイベントを毎度楽しみにしているから。
- 町発展のために、神社・自然等、町外へのアピール強化！

- 商業施設が片寄りすぎていて不便。もっと増えてほしい。例えば、水道局の空地の利用、その他。
- 商工業・農業・観光などビジネスとしての可能性有無。
- 以前より景観が良くなり、TVCMで狛江市が映るのが増えた。
- 発展して欲しいため。
- 狛江特産の農産物がもっとほしい。
- 地域振興に何がしたいのか、全く見えてこない。
- 他の地域より観光・ショッピング等流入促進、商業施設の充実。
- 狛江ならではの取り組みをしている様に思う。
- 魅力ある駅前・商店街。
- 商業施設が少ない。警察署はいつできるのか！？調布警察まで出向かなくてもいいような代わりのものがほしい。
- もっと狛江に発展して欲しいと思うから。
- 財政を確保する必要があると感じるため。
- スーパーがもうひとつあれば充実すると思う。ランチする店も少ない。選択できるくらい充実してほしい。
- イベントが多いため。
- 和泉多摩川商店街の活性化。空き店舗が多い。
- 狛江の農業をなるべく維持し、市民も関わって行けるとよい。学校給食、農業体験など農業とのつながりを持ちたいため。
- 地元のPRをもっと高める。
- イベントたくさんしてほしいです。
- （外部の人にとっても）狛江が魅力ある市になって欲しいため。
- 農業のよりよい発展を望む。
- 商店街の廃れ具合があまりにひどいので、何か対策をしてほしい。
- 地域活性は大切。
- 商店街の形成。書店の存続。個人商店の保護。
- 狛江市はイベントが多くにぎやかな市のイメージがあるため。
- 狛江の夏の花火大会、とても楽しみにしています。
- イベントが沢山あると良いと思っています。
- 地域のまつりなどに参加するため。
- 地域振興、都市農業の振興。
- もっとお店がほしい。
- 狛江産野菜、がんばって欲しい。都心に近いのに畑や野菜の無人販売があって嬉しい。子供にも食育となる。出勤前には買えないのが残念。
- 花火大会復活を！「～のまち」とか各種イベントは枠組みづくりで満足せず質の向上を。
- 未だ不十分だから。
- 地域振興券など、消費生活の充実を希望します。

- 地元の商店街が年々さみしくなって、買物が不便になっていると実感するから。
- 子どもと一緒に参加できるイベントがあると便利だから。
- 商店街を多く作ってほしい。
- 企業の転出が相次いでいるように思えるから。
- 農業の次世代への取り組み方は、新規参入は。
- 商店街の充実を推進してほしいため。
- イケアかコストコを誘致して欲しいため。
- 世帯主が自営業のため。

6 生涯学習

- 廃校跡地でも良いから大きな図書館がほしい。公民館の部屋が抽選でとりづらい。
- 文化的、健康的な生活を送ることができるため。
- 自分についても重要な問題だから。
- 他自治体に比スポーツ施設が不足している。そのため私は職場のある町田市の施設を使っています。
- 興味があるので。
- 80才超でも元気でいられる為。
- 市民センターをグループで利用している。
- 生涯、生きがいや、夢を持っていたいと思うので。
- これからの人生、生涯学習して行きたい。
- 歴史文化に関心がある。
- 地域センター等会館はあるが、午後からの開館だったり閉館時間が早かったりで非常に使いにくい。できれば、スーパーマーケット、コンビニ等でスマホ等を使って貸借できれば便利だと思います。
- 図書館の本の充実と広さ（読むテーブル e t c）をもっと拡大してほしいので。
- 図書館や体育館を日常的に利用しているため。
- 知る機会があれば利用したいと思う為。知る手段があるといい（SNSなど）。
- 図書館をもっと充実させて欲しいです。
- スポーツ活動のおかげで健康維持したり、人との関わりを広くしたり出来ているため。
- 図書館をかなり利用しているため。
- 高齢者等が利用できる、運動器具が設置されている、体育館を、1～2ヶ所増してもらいたい。
- 図書館をもっと魅力あるものにしてほしい。
- 図書館の利用（種類が少ない）。総合体育館個人開放もいっぱい使用できない。
- 今後利用したいと思う。
- スポーツ。特に狛江に温水プールを作ってほしい。今は調布市のプールを利用しているので。

- 新刊の本を、すぐに購入してくれるため。
- 市内にレクリエーション施設がないため。時間帯を広げた利用環境を増やして欲しい。
- 市民のスポーツ・レクリエーション活動の促進により健康を身近なものにする。
- 図書館を充実させてほしい。
- 生涯学習は必要だから。
- 公民館でサークル活動している為。
- 図書館利用で満足している。
- 幅広い年齢の方々と交流できる。
- 図書館利用多い。
- 色々なスポーツ教室があれば参加したい。
- 図書館をよく利用するので。
- 図書館を利用して学習したい。
- 図書館の本をもっと増やして欲しい。
- 自分が高齢者だから。
- 図書館を使う機会があるから。
- 図書館をよく利用するので、その設備やサービスをより充実させてほしいから。
- いくつになっても、学習したい、知識を身につけたいという気持ちが大事なので、そういう環境づくりに期待したい。
- 図書館…利用しにくい（蔵書の種類？）。
- 図書館を良く利用させてもらっているの。
- テニスコートを利用することがあるため。
- 図書館を利用する機会が多いため。地域のスポーツ教室があったら、通ってみたい。
- 図書館をよく利用しているため。
- 図書館の本・雑誌が少ない。せまい。
- カリキュラムに魅力がない。教養ある市民を発掘し、うんちくを引き出して下さい。
- いくつになっても学べる場があること。共に学ぶ仲間を作ることは大切。
- 図書館が充実しているとうれしい。
- 西河原公民館の学習スペースをたまに使わせてもらっているの。室内プールがほしい。
- 健康的に暮す為には学習とスポーツは大事。
- 今後の生活し易さに役立つため。年をとって、ゆつくりと生活できるよう。
- 老後の生活を充実させたいから。
- 充実した人生を送るため。
- 読書やスポーツが好きだから。
- 自分自身の生涯学習に関心がある為。
- 健康維持のため。
- 生涯学習の重要性は今後ますます増してくる。大人も子供も学習できる機会や場所をできるだけ提供していく必要がある。
- 学習するための環境（自習室など）が不足しており、勉強したいと思ったら市外に出

ざるをえないため。

- 公民館、図書館（直営はいいが、小規模すぎる！センター図書室を分館に戻す）（スポーツ、他）はそれぞれ項目をたてるべきでは？
- 図書館など、市の施設を便利に利用したいから。
- 図書館を利用したいため。
- 人生 100 才時代を迎えて、充実した人生設計の構築が必要である。
- 図書館の本の展示が少ない。
- 文化財活用と文化施設（図書館）の充実。
- 認知症予防、脳活の為。
- 人間は何歳になっても学習が大事なので増やして欲しい。
- 図書館の充実を長いこと待ち望んでいます。
- 図書館の蔵書を増やしてほしいです。
- 公民館の会場を確保するのがとても大変です。高齢者にとって不便です。
- 図書館及び、健康増進室活動が素晴らしい。
- 心豊かな暮しのために。
- 図書館の内容、デスクスペースや図書の種類など充実させて欲しい。
- スポーツに依る健康増進。
- スポーツ、レクリエーション活動の促進。
- 図書館を、よく利用している為。
- 子供含め、いろんな分野の勉強をしたいので。
- 文化的なイベントが好きなので。
- 図書館利用の機会がある為。
- 誰でも必要な時に必要な情報や学習の場が保障される必要があると考えるため。
- 今以上に教養、人間としての幅が広がる。
- 図書館に学習スペースがないので、学習向上できる様にして欲しい。
- 安価で体験できるスポーツ、教室などを求めている。
- 生涯学習、スポーツ、レクリエーションの充実。
- 図書館をよく利用するので。
- 読みたい本が色々あるので、今まで利用したことなかったが利用してみたいと思う（図書館）。
- 生涯学習の機会が充実して欲しいので。
- 生涯学習が少ないため。
- 適当な文化圏。
- 生涯学習内容の拡大、充実。
- 個人的に生涯続けていきたいことがあるため。
- 図書館の図書の充実を、以前ＴＶでみた。契茶・保育等と一緒にいける場所になると良い。
- 図書館を充実して欲しい。
- 図書館が中央図書館というわりに小さいし、古い本ばかり。

- 図書館の充実。
- やりたいと思うが、現時点でテーマや日時が合わない。
- 充実した生活を送るため。
- 高齢化社会に向けて大切か。
- 市民センターの更なる充実を願っています。
- 大事だから。
- 図書館をよく利用するため。
- もっと多くの人が学べる市民講座（大学）が少ない（今は調布の講座を受けている）。
- 一生を元気で過ごすため。
- 図書館充実・レクチャーなどの開催希望。
- スポーツや学習をする事で充実した生活をおくりたいから。
- 図書館をもっと大きくして欲しい。時間も9時からにすること。
- 体を動かして遊ぶ場所が減っている。ほとんどない。
- 何もない。特色ない。
- 東京の中央まで出て行かなくても近くで興味のある事の学習ができれば。
- 図書館をよく利用しているので。
- 図書館の充実をお願いしたい。
- 図書館利用させていただいています。
- 参加してみたいと思わせる企画の工夫を。
- 学生の頃に、よく利用していたため。
- 図書館の本・スペースの充実を希望。
- もっと知りたい（今の取り組みについて）。
- （土）、（日）でも運動できる活動の分野があると良い。
- 図書館をもっと充実してほしい。
- まだまだ知りたい事は図書館で。
- やりたい事があってもその団体・グループが見つからない。
- 自分の町として認識するため、もっと歴史的な観点で狛江を知りたいです。
- 公民館で行なっている市民大学のような学ぶ機会がもっと欲しい。
- 図書館が古い。
- 閉鎖的な使用方法でもっとオープンな広場にして、その中にカフェ、市の機能を設置したら。武蔵境駅前の施設は好例。
- 図書館の設備に満足しているため。
- 生涯学習の場は市民のつながりに大きな役目を果たしそうなので。
- 市内にラグビー、サッカーなど野外球技のできる施設がない。複数確保したい子どもやシニアでもころんだりできる安全なグラウンド面の球技施設は必要である。（芝・人工芝など）学校は多目的のため硬く、土砂のため利用はしたくない場所である。
- スポーツは参加しています。他の学習も参加したい。
- 図書館利用をふやしたい。
- 時折、市民センターで催しを行っているのを見るが、もう少し宣伝をして皆様に知っ

てほしい。

- 社会とのつながりを続けたい。
- 図書館の充実。
- 歴史遺産の広報・周知不足。
- 参加出来るスポーツの日程を充実させてほしいので。
- 音楽ホール等、利用しています。
- 図書館の書籍を充実してほしい。
- 図書館によっては、子どもと本を楽しむスペースが無いため。
- 人生 80 年と言われる現在は充実した人生のためにも、生きがいは大事なので、人がつながれる場と知性を上げる場があると良い。
- 図書館も含め資源が不十分なため。
- 大切です。
- 図書館での本の貸し出しが便利である。
- スポーツ交流。
- グループ作りや場所の提供、指導者の紹介などを積極的に。
- 図書館の本が充実していない。
- 図書館をもっと充実させていただきたいが、無理かも…と。
- 健康セミナーを利用することがあるので。
- 図書館が多く年代で心地良く使える空間になると嬉しい。学生が勉強できると尚良いと思う。
- スポーツジムの誘致やカラオケ、レストラン等を併設した図書館（狛江の歴史等に特化した）を作り、みんなが興味を持って集まる場所づくり。
- 狛江百塚といわれている当市であるが具体的に目に見えない（博物館の設置）。
- 教養は街の文化の向上。
- 知見を高める必要。
- 図書館はよく利用しますが、他の学習行動について興味はあるがどんなプランがあるのかわからない。
- 今後定年後に学習していきたい。
- 図書館は子どもも老人も好きで、もっと投資して充実させるべきと思う。
- 生きがいのために。
- 元気ならば、いつまでも学びたいので。
- 図書館をもう少し充実してほしい。
- 特に幼児とシニアの交流の場を多く設ける。
- 子育て世代が増えてきたが、市内の図書館が時代に合っていないと感じます。“学習の場”としての意識を持って改善して行って欲しく、関心あります。
- 図書館は近くて便利。建替えや移転はせず、近隣自治体との協力強化を。
- 図書館の充実を希望します。
- 図書館の充実が必要。
- この中で特に図書館利用の推進。図書館は子ども支援の場にもなり得る。また、狛江

の古い歴史を大切に。

- 図書館、スポーツ施設があまりにも低レベル。残念です。
- 市民プールや大きな公園くらい、ちゃんとしたものがあれば更にうれしいと思うので…。
- 若者が魅力を感じるスポーツ・レクリエーション活動。
- 中央公民館が古くて老朽化しているように感じる。
- スポーツクラブの種類を増やす。
- ホールほどの広さはなくても、市の体育館の第三体育室くらいの広さの室内運動施設がもっと増えるといいから。
- 図書館が不満。座れるスペースがなくゆっくり選べない。改善して欲しい。
- 図書館を利用したいと思っています。仕事をやめたら。
- 中央図書館の充実を切望します。
- 図書館、喜多見駅の近くにもほしいです。狛江市のぎりぎり範囲で。
- 自分自身はあまり参加できていませんが小学生の子供が学校で狛江市の様々な歴史について学びを深めています。
- 図書館を利用しているため。
- 図書館を良くして欲しい。
- 会社勤めをしている今は利用時間が合わず、なかなか利用できないが退職して時間ができたら利用したい。

7 防災・防犯

- 首都直下地震がいつ来るか分からないから。
- 生活する上で最重要事項である。
- 防災グッズの提供。
- 長く暮らせる街として期待しているため。
- 市民の生命、財産を守りたいから。
- 防犯カメラの設置を増してほしい。
- 子育てをしているため。
- 公道に外灯が少ないので夜歩くのがこわいです。増やして欲しいです。一方でゴミが道に落ちておらず、とても整備されたきれいな市だと思います。
- 市が注力しているのか、興味がある為。
- 対策が必要なため。
- 協会に入っていたことがある。
- 安心して住みたいから。
- 子育て世代として一番気になる事項です。
- 放火対策。
- フルタイムでの仕事。毎日、帰宅が遅い時間となり夜道が暗く、帰宅時に不安になる。

もう少し夜間の電灯を増やして欲しい。

- 一人暮らしだから。
- 安全な生活の基本のため。
- 安全な街に住みたいので。
- 災害時の備えの充実が更に必要かと思います。
- 安心な町がよいため。
- 地震はいずれ来るので。
- リサイクルゴミの盗難に数回あっていて、怖い。
- 最近地震などの災害が多く感じられる。
- 放火事件が多い。
- 市内での犯罪が少なくなればよいと思うから。
- ある程度は進んでいるが更に進めてほしい。
- 地域の連携があれば防ぐことが出来る。
- 子どもをつれての避難に不安を感じているため。
- 外国人が増えているから。
- 安心・安全な町づくりに期待。
- 子どもがいるので安心して暮らしたい。
- 防災はいつあるか分からないので急を要します。建物の高層化ガラス化など危険度が高いので早めに手を打ってほしい。おまわりさんが街中に見廻りをしていると安心です。
- 市の防犯防災メールを利用しています。
- 安心安全メールは細かい情報までよく伝えている。が、行政無線は全く聞こえない。
- 自助共助で足りない部分の支援を期待しているため。
- 隣にトランクルームが有る為に夜も利用しているので困る。
- 日程、体調が訓練実施日とあわずなかなか参加できないが居住地域では定期的に防災活動が行なわれていること。
- 夜遅くに帰宅することが多いが、不審者がいる為。
- 防犯は以前に比べてずいぶん良くなりましたが、まだまだ犯罪件数は減っていません。市独自で防犯カメラの接置をもっとやってほしい。
- 市が防犯に注力しているため。
- 防災訓練が度々行われている。
- 水防訓練など洪水対策に関心があるため。
- 防災機能の強化は大切だと思うので。
- 粕江は多摩川の氾濫で被害をうけることが多い。私は 40 年、住んでいるが地域の連携とか何もなかった。
- 防災訓練などの取組を知っている。
- 外灯、カメラ等の設置。
- 防犯対策に関心があるため。
- 防災・防犯。

- 水害、防災等数多くの取組みをしている。
- 地震・水害の危険があるなか、減災への対策を取る必要があるため。
- 空家・独居者に対する防犯・安全確認巡回の強化。
- 常に防災・防犯を心掛けている。
- 安全に住みたい為。
- 警察署を作ってほしいため。
- 家の近くで事件が起きたため。
- 大きな地震が増えている今日、どのような取組みをしているのか気になるから。
- 各地で、大災害が発生していて、備えが大切と思うので。
- 町会活動が広がって行かない。
- 安心した街に住みたいため。
- 防災・防犯は安全安心の基礎となるから。
- 犯罪が少ない町が住みやすい。市民にも関心持ってほしい。
- 防犯カメラの充実。
- 安心安全の確保は重要。
- 生活していく上でとても大切な事だと思うため。
- 異常気象で河川の氾濫が心配。
- いろいろと広報に力かけてある。
- 地元に居る事が多い為。
- 「安全な街」と言う割には、警察官の巡回が少ないため。
- 夜間のパトロールは見受けるが、昼間は見受けない。
- 防災・防犯は安心しているので。
- 治安が悪化すると人口が減る。
- 安心して生活したいため。
- さらなる強化を期待。
- 防犯カメラの充実。
- 防災対策の充実（地震、水害）。
- 防災防犯は生活の一步のため。
- 来るべき首都大震災に万全の備えを必要とするから。
- いつ何が起こっても不思議でないので、常に防災を意識するため。
- 防犯対策の充実。
- 子供達の為に強化を。
- 来たるべき大地震が怖いので。
- 生活の場として、住居地域の防災機能は最重要だから。
- 中学生の子どもの通学路の防犯。日中家族が仕事で不在の為。
- 災難に会わないため。
- 住みやすさ、防犯は考えるので。
- 地震など怖いから。
- 街路灯などの整備。

- 中和泉町会での活動に参加しているので。
- 安心して生活したいため。
- 安全・安心にきたい。
- 世田谷区と道で分かれている場所が多い為。緊急時に対応できるか、気になる事も在る為。
- 防災は、第1級河川と接する狛江市の宿命であり（1970年代に起きた多摩川決壊を直に体験した世代である自分は）、他の何よりも最優先に考えたい。自然の暴走に人は勝てない。日頃の備えが大切だと考える！
- 生きて行く上で最も大切だから。
- 安全なまちづくりをしてほしい。
- 安心して暮らしたいから。
- 外国の方も増えているので。
- 夜の街が暗すぎて散歩するのに怖さを感じる。街灯が少なく、灯の範囲せまい。
- 防犯対策をより強化してほしい。
- 防災をしっかり。
- 三小は300人しか入らないと聞いた。人口増加を考慮した避難マップの更新必要？
- 地域の人々との連携の必要性を感じているため。
- 継続、防犯に力を入れてほしい。
- 震災等への取り組みは評価するが、浸透していないのももう少し工夫を。
- 災害に備えて、防災・防犯は必要である為。
- 巡回が多く、安全性が高い。
- 防災・防犯のしっかりしている町こそ住みやすいと思うため。
- 将来的に、犯罪の多発化、外国人の増加による地域の不安定化などが心配されるから。
- 安全保障上の問題が発生した時、例えば野川の非常用の水管理施設（地下）の利用を検討しては。
- 防犯カメラを人の通行の少ない所に。
- 狛江市は独立して運営するには困難な分野、環境があるから。
- 大地震・水害に備える必要があると思うため。
- 市全体での防災訓練はとても良かった。
- 今後の生活し易さに役立つため。年をとって、ゆつくりと生活できるよう。
- 老後の生活を充実させたいから。
- 防犯対策の充実を望むため。
- 定期的に集まりを行っているため。
- 防犯カメラの増設。コンビニエンスストア夜間の警察見回り強化。
- 子供が1人で歩く機会が増えたため。
- 防犯を強化してほしい。振り込め詐欺の対策。
- 防犯カメラを設置している為。
- 安心してくらす為。
- 帰宅が遅いため。

- 犯罪の少ない、静かな町を維持してほしい。
- 狛江も安心して住めなくなりつつある為。
- ICT 化や災害時の対応について不安だから。
- なにより地域近隣のつながりを密に共に生きたい。
- 自然災害は避けられないと思うので。
- 犯罪の少ない町作り。
- 外灯が、少なく大きな通りでも暗いと感じます
- 最近防犯の強化をもっとしてほしい。
- 防災・防犯は重要。
- いつ大きな災害に見舞われるか分からないため。
- 安心安全の市であってほしい。
- 防災強化。
- 防犯の更なる強化を望む。
- 今、いろいろな地域で震災が起きているので充実を。
- 安心安全に生活したいため。
- （自身が取り組んでいないので大きなことは言えないが…）防災はいつか起こるかもしれない大地震等への備えが必要であるから。
- 別の街で、消防団活動をしているため。
- 近所で空巣が入っていたのに知らなかった。
- より安心して暮らしたいため。
- 防災。
- 安心して過ごしたいため。
- 防災、防犯は住んでいくうえで重要なものだから。
- 暗い道が多く、街灯が少なすぎる。防犯カメラも少ない。
- 防災に関心があるため。
- 安心して暮らしたいため。
- 防災・防犯は地域との連携を。
- 高齢者が比較的多いと思われる為。
- 安全安心が基本だから。
- 古い看板などの撤去を推進して欲しい。
- 小学生の子どもがいるので。
- 治安の維持。
- 小学生の見守りや詐欺予防の電話の注意等の呼びかけ市内放送が、とても役に立っているため。
- 刑法犯が減少しているのは満足している。
- 災害時の対応が気になる。
- いざという時の備えで大事だと思います。
- 自然災害が多発していると感じるから。
- いずれ起こる大地震に対処できるのか心配。

- 防犯対策満足。
- 防災センターが、何の活動をしているのか、いまいちわからないので。
- 犯罪が少なくて住みやすい。
- 防犯対策のためのカメラの設置不足。
- 防犯カメラを増やしてほしい。
- 狛江市として警察がないから。
- 防犯カメラを増やしてほしい。
- 我が家では防災無線の内容が全く聞きとれない。
- 多摩川が近いので、大雨の時すぐに警報が出る為。
- 地域で防犯に取り組むことが重要と考えるため。
- 防災無線で振込サギの入電 e t c を流すのは良いことだと思う。
- 安全で良い街だと思います。
- 防災無線は聞き辛い（特にマンションの窓は閉めるとほぼ聞こえない）が、比較的安
全で安心して暮らせる町だと思う。
- 神奈川の実家では「火の用心♪」と地域の方が夜声を出しながらまわっていたが狛江
ではないなと思った。巡回とかはないのかな？
- 地震災害（大規模）では、おそらく被害は、区より小さいと思うが、そうすると、発
災後の市民の安全の他、他域からの受け入れもすると想定されるが、その時の防災及
び防犯について、本アンケートでもふれてないので心配だから。
- 暗い道が多い、街灯が少ない。
- 災害が増えている気がするので、やはり大きな関心を持っています。
- 住民が避難するスペースが少ないと思う。小・中学校の校庭ではスペースが足りない
のでは？地震からの火事で住宅密集していたら皆被害を受ける。延焼を防ぐ公園・畑
などスペースが欲しい。
- いずれ来る地震にしっかり備えてほしいので。
- 防災グッズ（ガイドは、とても良かった。）、備蓄品を市民、世帯に配るなどすると
もっと良いのでは。
- 地震への備えに意識しているため。
- 防災。
- 廃校の建物がそのまま犯罪の温床になりえる。
- 防犯だけでなく、北朝鮮のミサイル発射の際有事の避難対策もやって欲しいと思いま
す。
- 安心安全メールの内容が、振込めサギ案件のことが多い。対策しているか不明。
- マンションなど、住人以外のゴミ捨てなどが横行しているから。
- 安全で安心できる街に住みたいので。
- 防災への意識を高めておきたいから。
- 子供が3人いてそれぞれ成長に関わってくるので。
- 一度、空巢が入りそうになった為。
- 電線の地下化を促進して欲しい。景観／防災両面で必要。

- 防災・防犯は地域の住民の連携と協力が一番。それを強化する為には…？

8 平和・人権

- 治安の良い素晴らしい街だから。
- 市長のセクハラ。セクハラは人権を無視している行為。
- 最重要項目の一つ。
- 長く暮らせる街として期待しているため。
- 特に市長は人権意識の強い人がよい！
- 見ず知らずの人（特に高齢な方）に文句言われるので怖い。
- 平和、人権は市民全員が、肝に銘じていたいので。
- 時代的に多様性を認めるべきだから。
- 市民が、そのような意識を高められたら、なおよいかなと。
- 安心して暮らせる街に住みたいため。
- 平和であることは基本の基。そのことを忘れず、あたり前にあるものではないということをお忘れのこと。
- 平穏な町が一番暮らしやすい
- 平和と人権は大切。
- 市長をどうにかしろ。歴代の市長はロクでもない。
- 狛江市独自の宣言を積極的にした方がよい。（周辺の自治体間に埋もれないために）以前より取組が後退していないか？
- 平和で安全なまちになってほしいから。
- 自分の事だけでなくお互いを思いやらないと守れない。
- 市民全員が平和を求める活動ができるように取り組んでほしい。
- 防犯カメラをもっと増やしてほしい（現状でもたくさんあると思うが…）。
- 強度苦情者への対応者（市役所・学校等）への支援及び広報。弁護士の配置。メンタルケアの充実。
- 生きて行く上で最も大切だから。
- 女性の人権問題に腹を立てています。
- 狛江市平和都市宣言を全会一致で決議したことに感動した。セクハラが問題になっている。
- 未来に希望が持てる社会に！平和教育子育て支援が大事。
- セクハラ・パワハラ・等々、力の弱い者を大事にしない社会は狛江には向かない。
- 安心して住める町づくり。
- 平和があってこそ個人の幸せを築く事が出来る。
- 平和を求めるまちづくりにこれからも期待したいから。
- 人権を尊重する。差別を防ぐ。
- 自然と平和を求めて狛江に住んでいるので。

9 子育て

- 今後子育てをするため、子育てしやすい環境が良いと思うから。
- 調布市や世田谷区ともっと連携をとってほしい！！ため。e x) 調布市の認可保育園の空き情報の共有など、保活に絶望した世帯を安易に転居させないでほしい。
- 声を発せる高齢者より声を発せない若年者の声なき声に耳を傾けるべき。
- 保育園に入れない：フルタイム夫婦なのに。
- 保育園の充実を進めているため。
- すべての子達が安心して大きくなれる様。
- 保育を要する幼児をかかえている為。
- 保育環境の整備に不満がある（学童にあずけられない）。
- 一人親家庭が多い団地のような気がしているので。
- 共働きの家庭には、子供が（保育園等に）預けられる体制が絶対でなくてはならない。
- 岩戸児童館の建て替え休館期間が長い。
- まちの活性化は若い世代が生活しやすいまちです。子育てしながら生活するための取組が大切。保育園だけではなく。
- 保育園に入れない可能性があるから。
- 現在子育て中なので。
- 働くママさんが住みやすい町とし、若い人口を増加させることが産業のない狛江のストラテジー。
- 今後自分も経験するだろうから。
- 幼稚園・小学校の増加、増築。
- 幼い子供が2人おり3人目を考えているため。
- 小さい子供が健康で過ごせるように。
- 小さい子供がいるから。
- 子どもがいるから。
- 子育て中なので。
- 保育園への入園を考えているため。
- 今、妊娠していて、子どもがもうすぐ生まれるため関心がある。
- 児童福祉関係の仕事をしているため地域の実情には関心がある。
- 子育て中のため。
- 小さい子供がいるため。
- 子どもがたくさんいて活気がある町。
- 保育園児・小学生の子供を育てているため。
- 子供が3人いてそれぞれ成長に関わってくるので。
- 子育て中のため。
- 現在妊活中だが狛江市の保育園問題が悪いと聞くから待機児童をなくしてほしい。
- 子どもの声があふれる街であって欲しいので。
- 街頭で自転車に子供を乗せて走っている若いママさんを見ると、子育てご苦労さんと

いう気持ちになるため。

- 子育て中なので。
- 子育てをする可能性があるから（今後）。
- 子どもが欲しいので。
- 今後子供がほしいと考えており妊活中のため、狛江は待機児童の割合が都内で最も高いという情報を最近耳にし、不安あり。
- 活気ある市であるためには、若い力が必要と思う。若い力を確保するために必要な施策。現在はまだまだ不足していると思う。
- 子供が認可に入れず1年間認証保育園に通ったので。
- 昨年出産したから。
- 学童保育が十分でないと感じるため。
- 子育て環境の充実による地域の活性化。
- 小学生の子どもがいるので。
- 今後子供を産み、育てていける環境かどうか気になるため。
- 子育て世代だから。
- 子育て中のため。
- 市民を増加させるには、子供を大切に中心に考えるべき。
- 保育園が足りていない。
- 公園にトイレを設置してほしい。
- 昨年出産したため。
- 子どもは大切だから。
- 子育て支援についていろいろ知りたい。
- 小さな子どもがいるので。保育園の一時利用枠の拡大や、利用しやすさの向上、ファミサポのサポート会員さんの増員などがあるといい。
- シングルマザーの為。
- 公園が少ない。広場で良いので設置してほしい。
- 法人税収入の少ない狛江市は住民税が大きな割合を占めているので共働き世帯の収入の高い世帯を呼び込むべき。狛江は通勤が比較的どこに行くのもアクセスが良い点をアピールし、保育園、学童を充実させる。特に小学生クラブやこどもクラブの平日延長20時までをもっと広報活動した方が良い。働く母にとって「20時まで」というのは利用する、しないにかかわらず「お迎え時間のプレッシャー」を軽減してくれる。
- 保育園児がいるため。
- 狛江市の仕事をしているため。
- 狛江駅前に広場ができ、ミニ保育園の子供達が走りまわっていてうれしく思いました。
- 子供には、空腹を味わってほしくないし、教育の場を提供したい。
- 保育園の数が少ない。
- 保育園はまだまだ数が足りていないから。
- 空家が多くなってきている。これら子供達の預り所や学習指導、遊び等に利用できないから。

- 教育費支援の充実を期待するため。
- 子育てをしているため。
- 子育てに協力したい。
- 狛江に長く住みたいから。
- 子供がいる為。
- 働く親をサポートするための保育施設を増やして欲しい。
- 子育て世代として一番気になる事項です。
- 孫が保育園児なので。
- 今年出産予定なので。
- 子育て中のため。
- 子どもに優しいまち。
- 保育園に入れない。
- 子育て真最中のため。
- 子育て世帯のため関心がある。
- 子供がおり、保育園に通っているため。
- 経済的な支援を継続的に実施して欲しい。安心して子育てが出来るように。
- 子供を保育園に預けているため。
- 少子高齢化対策の充実。
- 子育てに関する全ての支援においてどこの市区町村よりも充実したものにできるよう目指してほしい。
- 自分も子供がいるので、もっと子供達が楽しめる街へ。
- 少子化対策のため。
- 保育関係の仕事をしているので。
- 健全な子供を育てる為。
- 将来子どもが生まれたら利用、活用したいから。
- 子育て家庭への支援、補助をもう少し手厚くしてほしいため。
- 今後自分にも関係することだから。
- 伸び伸びと子供を育ててやりたい。
- 子供の待機が気になる。
- 結婚をして、子どもができた時の環境、支援などの知識を身につけておきたいと思ったため。
- 学童を充実して欲しいため。
- 待機児童数の減少により一層取り組みを期待しているため。
- 保育園、学童などを充実させ子育てと仕事を両立したい。
- 子育て支援を充実させて欲しい
- 若い人達が住みたいと思ってほしいので。
- 保育園に通っているの。
- 今後について知っておきたいと思っているため。
- もし将来子どもができた時に、その街に不安があると出たくなるから。

- まもなく子供が誕生する予定であるため。
- 未来に希望が持てる社会に！平和教育子育て支援が大事。
- 市に子どもが増えてほしいため。
- 子育て世代も多いが保育は民営化している。保育内容が気になる。
- 少子高齢化が進む中子育てに対して協力的な市でないと我々は安心して産めないため。
- 将来的に、子育てに不安があるから。
- 所得制限により、医療費等の支援を全く受けていない。それなりに頑張っている子育て家庭は、まず住みたいと思わないだろう。都心に近いだけに、とても残念。
- これから子供たちが充実した環境で育ってほしい為。
- まだまだ保育園が足りない。両親フルタイムでもなかなか入りづらい。一時保育や病床保育も増やしてもらいたい。
- 長く暮らせる街として期待しているため。
- 育児の方法も変わったことを伝え、祖父母、近くの人達にも手助けをお願いしたら嬉しいのにといつも思っています。
- 待機児童をなくす。
- 環境は満足。補助金や免除年齢が世田谷並みになると嬉しい。
- 子育て世代に平等に支援してほしい。保育料が高すぎてつらい。
- 子供が2人いるため。
- 全ての子供達が、幸せであって欲しい。
- 将来を担っていく子供たちを安心して産み育てられる環境が必要だと思うので。
- 保育園の運営が悪い。
- これから特にひとり親家庭への支援が大切。子どもの貧困を防ぐ意味でも。
- 将来もこの街で子育てをしていきたいため。学童保育の整備。
- 子育て向けのイベントをやってほしい。畑作業など。
- 子育て支援、青少年の育成は、何よりも大事。将来の町を左右するから。
- 子育て中のため。
- 最近子育て世代が増えている様に思えるので保育園の整備を！
- 子育てしやすい町づくりを望む。子供は市の宝だと思う。
- 子供が生まれた後の生活が気になるため。
- 子育て中の為。
- 将来、狛江での子育ても良いな！と思っている為。
- 幼稚園付近での車の送迎が目立つ。
- 子育てを安心して出来るようにするため。
- 現在子育て中。未来を託すのに値する人間を育てることは何よりも大切なことだから。
- 共産党なので仕方ないかもしれないが、低収入の人にばかり補助があり、高所得だと補助が出なくなる＆少なくなるものが多い。税金多く払っているのですこは平等にしてほしい。
- 保育園で世田谷区の住民と重なるが、支援制度が足りないと思う（対世田谷区に比して）。

- 子育て世代が多いため、教育、遊び場、巣立ちのための支援の一層の充実を願っています。
- 子どもに、次の世代を担う人材に優しい街であってほしいから。
- 保育園に入りづらい。
- これから子供を考えているので。
- 若い住民を呼び込む上で子育て支援は重要だから。
- 子供2人いるため、室内で遊べる所少ない。
- 子育て中のため。
- 子育て中なので。
- 今関係する。
- 子供ができた時に狛江に住みつづけるかと考える一番のポイントになると思うから。
- 子育てしやすいまちが良い。
- 他の地域に比べて子育て支援が足りないと思っているから。
- 不妊治療に対する、補助金を増やしてほしい。
- 狛江独自の子育ての考え方、周りに流されない、本当の子育て、それが全ての問題を解決するのでは（ただ保育園の預ける場所づくりは危ない）。
- 今後、子育て世帯になってもこの町に住み続けたいため。
- 保育環境の整備が不足。
- 子育て世代の人口の増加、定着は地域の活性化に必要です。
- 協力できることがあればやりたいが……。
- 小さな子供がいるから。
- 友人が待機児童問題に困っているから。
- 子供を育てることは大変で親だけでなく周囲のサポートが必要だと思うので。
- 市内にラグビー、サッカーなど野外球技のできる施設がない。複数確保したい子どもやシニアでもころんだりできる安全なグラウンド面の球技施設は必要である。（芝・人工芝など）学校は多目的のため硬く、土砂のため利用はしたくない場所である。
- 女性も仕事を持つようになったので充実を。
- マンションが建ち、子供が増えていると感じる。子供たちが暮らしやすい町になると良い。
- 保育環境を整備。
- 保育園の民営についての効果検証はどのような評価になるか？
- 両親が私の学費を負担に感じていることを知っているため。もう少し授業料を助成してほしい。
- 子育て中のため。
- 保育園など利便性の高い立地で利用したいと感じる為。
- 子育て家庭への支援ぜひお願いします。
- 子育て環境が整わないと、若い人も増えないと思う。
- 自分の将来の人生設計に関わるため。
- 子供を育てやすいまちになって欲しいため。

- 保育教育からの見直しを求む。メビウス駅前広場のすぐ隣に喫煙所があることがありえない。即撤去して欲しい。
- なかなか保育園に入れないと耳にする。
- こまめホームページにのっている子育て情報をもっと、全ての情報をのせてほしい。児童館のイベントや公民館など自分で調べて面倒。
- 子育て中のため。
- 保育園の乱立（公立が減ることをとめる）内容が心配。若いはじめての出産、子育ての母親、父親の支援をもっと積極的に。
- 子育て中の為。
- 子育てしていて保育の問題は大きな課題だと思うため。
- 子育てのしやすい町を期待する。
- 今、園児を子育て中なので。
- 保育園の園庭が狭すぎる。多摩川で遊ぶ、公園で遊ぶ、という園庭の代替利用といっても毎日外に行けていない。
- 高齢化、減少する人口、日本の将来のためにも手厚くカバーしていただきたい。
- 孫の世代が健全に成長してほしい。
- 若い夫婦の呼込みは必要で託児所の充実。

10 青少年

- 子供が小学校低学年で両親が仕事をしている為保育園と同時間での学童環境が必要の為。
- 学童が足りないと感じるため。
- 学童や児童館の増築や活動コミュニティへの支援。
- 放課後親（保護者）の居ない時間が長いと、子供が不安定になる。
- 子供の放課後は共働き世帯にとって大きな課題のため。
- 小学生が放課後安心して遊べる公園をもっと増やして欲しい。
- 学童を充実して欲しいため。
- 放課後、子供が安心して過ごせる環境づくりをしてほしい。
- 保育園は増えたが学童は増えず、共働き世代の小学校以降の不安は大きいため。
- もっと子供の放課後の居場所を作ってほしい。働く親のために、夏休みの休暇中（お金をかけず）ずっといける場所がほしい。
- 学童の充実。
- 学童の充実を進めているため。
- 今後、放課後の生活について考えることがある為。
- 夏場の夜中、バイクのたまり場になっている処あり。狛江団地40号棟脇。
- 外あそびを制限する時間が長い。KoKoAが不便、始業式、終業式の日を利用したい。
- 幼い子供が2人おり3人目を考えているため。

- 子供の非行防止の為も含め、大人（地域の人）とのコミュニケーションの場を増やしたら良いと思う為。
- 昔は、自習室のような学習スペースがあるといいなと思っていた為。
- 児童福祉関係の仕事をしているため地域の実情には関心がある。
- 保育園児・小学生の子供を育てているため。
- 子どもの声があふれる街であって欲しいので。
- 来年子供が小学生になるので
- 小学生の子どもがいるので。
- ゆたかな緑の中での成長を育む教育・活動を期待します。
- 小学生が遊べるスペースの確保。
- 法人税収入の少ない狛江市は住民税が大きな割合を占めているので共働き世帯の収入の高い世帯を呼び込むべき。狛江は通勤が比較的どこに行くのもアクセスが良い点をアピールし、保育園、学童を充実させる。特に小学生クラブやこどもクラブの平日延長 20 時までをもっと広報活動した方が良い。働く母にとって「20 時まで」というのは利用する、しないにかかわらず「お迎え時間のプレッシャー」を軽減してくれる。
- 変な人が多いから。
- 校庭での遊びを自由に出来るよう。
- 狛江に長く住みたいから。
- 下校中の安全は気になる。
- 子育て世帯のため関心がある。
- 今後小学校に入った時の時間帯や場所などの心配があるため。
- まもなく子供が誕生する予定であるため。
- 保育園卒園後学童の充実に期待。
- これから子供たちが充実した環境で育ってほしい為。
- 今後小学生に上がった時に子供を安心して預けられるかが気になる。
- いじめのない街にしてほしい。
- 将来もこの街で子育てをしていきたいため。学童保育の整備。
- 子育て支援、青少年の育成は、何より大事。将来の町を左右するから。
- 部活動改革後の受け皿として需要が高まると思うから。
- 子育て中の為。
- 子育て世代が多いため、教育、遊び場、巣立ちのための支援の一層の充実を願っています。
- 子供が3人いてそれぞれ成長に関わってくるので。
- 学童が足りなくなっているから。
- 市内にラグビー、サッカーなど野外球技のできる施設がない。複数確保したい子どもやシニアでもころんだりできる安全なグラウンド面の球技施設は必要である。（芝・人工芝など）学校は多目的のため硬く、土砂のため利用はしたくない場所である。
- これから学童へ通うようになるので。
- 小学校高学年の放課後対策・病児保育対策を望む。

11 学校教育

- 子供がいる為。
- 市内の小学校には2校しか特別支援学級がない為、送迎サポート内容や学校数の増加を願っています。
- 市内に高校が少ない。
- 学校設備の補修・改修工事をしてほしい。
- 公立小中のレベルが低い。
- 教育水準向上が地域社会におけるブランド価値向上に相關するため。学術研究都市を目指すべき。
- 現在非常勤講師として英語を教えているが、本来あるべき教育の実践を行なっていきたい。人としての立派な自身の自立。
- 狛江に大学が欲しい。世界をリードできるような専門的な大学を作る。子供が遠くに行かなくても、狛江にいたいと思える教育機関。
- 中和泉5丁目の小・中学校の学区が遠いと感じている。
- 将来小学校教諭を目指しており、教育に関心があるため。
- 子供教育は大切だと思う。
- 特別支援教室の先生を各学校へ配置してほしい。学級へ行くような子供の多い学校には、先生を追加配置してほしい。
- 校庭での遊びを自由に出来るよう。
- 現在の学校はどのようなになっているのだろうか…。
- 特別支援教育は、特別とされた子どもだけのものではありません。個々に特別とされていなくてもケアや支援が必要な子どもへの支援体制が必要。
- 将来のある子供の教育に関心があるため。
- 教育の向上を目指せたらいいと思い。
- 子どもがいるから。
- 今後必要な情報になるため。
- 自分の子どもが受ける教育環境がよいものであってほしいから。
- 人格形成の大部分は義務教育に負うところが多いと思う。ほんの一例だが私の小学校時代（昭和20年代）は「人は右、車は左」と徹底して教え込まれた。中年以下の方は気にせず歩いているように見受ける。
- 特別支援教育の充実。
- 子供が3人いてそれぞれ成長に関わってくるので。
- 学校施設に不満があります。学校に要望しても予算の問題と改善されない場合が多いように感じます。
- 小学生の孫と話すことも多く、ソフト面、ハード面での一層の充実を図りたいため。
- 子供達の本来の生きる力“人間力”を養う教育（知識）。
- 子育て中なので。
- 現在福祉系の仕事をしているため。
- 教育の充実が、外部からの転入を含め大きい魅力になるので。

- 市内には公立校しかないため。
- 運動会や、作品展示会など、時期的なイベントで、開放されている。しかし、まだ閉ざされていると感じるのは何故か。
- 学校での教育は大事ながら先生が忙しすぎることに他に教師の前に人として成長してほしい。そしてユニークな教師が増えてほしい。
- 子育て中のため。
- 小学校があまりに親に頼りすぎていると思う。子供の自立を遅らせている気がする（お手伝いばかりある）。
- 若い人達が住んで子育てしたい街となるため。
- 教育は非常に重要だから。
- 小学生がおり、子どもの学ぶ環境に興味あり。
- 未来を担う子どもの教育は大事だと思います。
- 将来のため、家庭環境によらず教育の場を提供したい。
- 小学校が遠い。
- 子供が小学校に入るため。
- 豊かな環境の中で教育を受けさせたいから。
- 子供の心を育ててほしいですね。
- 人間形成の基本となる為。
- 全ての小学校・中学校で登下校メールを配信してほしい。
- 生きる力を育む教育の推進とあるが、より一層、高学年に重点を置いてもらいたい。
- 生きる力を育む教育をしてもらいたい。
- 道徳を教え、偏向教育をなくしてほしいから。
- 市内の図書館の蔵書が少ない。周辺に大学があるにもかかわらず、学生を呼び込むために学習室の充実、蔵書の拡充、プレゼンの部屋の設置。
- 幼い子供が2人おり3人目を考えているため。
- 今年出産予定なので。
- 子供がいるため。
- 児童福祉関係の仕事をしているため地域の実情には関心がある。
- 保育園児・小学生の子供を育てているため。
- 子どもがおり、今後学校に通うため。
- 子どもの声があふれる街であって欲しいので。
- 経済的な支援を継続的に実施して欲しい。安心して子育てが出来るように。
- これから子供が学校教育を受けるため、教育環境の整備には力を入れてもらいたい。
- 中学校においてフリースクールを増やし、そこでの活動を学校での出席数や内申点に反映させられるような仕組みにしてほしい。また、中学校などにおいて、スクールソーシャルワーカーとカウンセラーを正規職員として雇うべきだと考えるから。
- 子育て世代のため。
- 地域の活動をふやして、世代の違う方々と交流を計りたい。
- 子供たちも多く、学校も狛江の広さにしては、多くあると思うので、もっと、異文化

交流等に積極的になって欲しい。

- 学校で安心して子どもが学べる環境づくりに興味がある為。
- 学校教育の充実は将来の発展のため必要。
- 将来を担う人達を育てるため。
- 大事だから。
- 特に教師の、教育力の向上を。
- 学童を充実して欲しいため。
- 北欧の国々のように、子供が授業や先生を選べ、受験の為の勉強を強要されなければイジメや不登校もなくなるのでは。
- 小学生の子どもがいるため。
- 子供に勉強をしっかりとさせる。文武両道で良い子を育てる。我々の小さい時はたくさん勉強した。
- 東京の田舎なのだから…小・中学生に出会う人々に「こんにちは！」のアイサツを、そして、老人宅（特に独居老人宅）に定期的に「話をする」機会をつくれれば老人も精神的に救われるし、子供も良い経験となる。
- 教育施設の整備に満足しているため。
- ゆたかな緑の中での成長を育む教育・活動を期待します。
- 子供の教育はとても大切だと考えます。
- 学力向上。
- 塾へ行かなくても良いような学校教育の充実を！
- 大事なところにあまり予算が使われていないように感じているから。
- 長く暮らせる街として期待しているため。
- 片寄った思想教育の無い様にして欲しい。
- 発達障がい気味の子供が多く、困る事が多い（小学校）。
- 時代のニーズに対応していると思う。これからも変化していく教育に、どのくらい対応していくか期待。
- 子供が2人いるため。
- 子育て世帯のため関心がある。
- 小学校に通う子どもがいるので。
- 近々、関係する。
- 子供ができた時に狛江に住みつづけるかと考える一番のポイントになると思うから。
- 生きていく上で最も大切だから。
- 小さい市なので、特長ある教育や環境作りに投資をするのは子どもや親の将来の誇りや個性につながると思う。
- まもなく子供が誕生する予定であるため。
- これから子供たちが充実した環境で育ってほしい為。
- 自分の将来の人生設計に関わるため。
- 教育施設の整備を進めてほしい。改修や再整備など。市図書館をどうにかしてほしい…残念すぎる…世田谷区立中央図書館など見学に行ってみて！！

- 子育て中の為。
- 子育て世代が多いため、教育、遊び場、巣立ちのための支援の一層の充実を願っています。
- 孫達の通う学校の整備を望む。
- 学習施設がもっと欲しい。
- 学校の学区分けについて気になっている。

12 地域福祉

- 介護福祉士（市外勤務）として、狛江市の取組みはと関心を持っている。
- 災害の為の意識を高めたい。
- 福祉の仕事に携わっているため。
- 地域福祉、相談機能の充実。
- 市が注力しているのか、興味がある為。
- 2020 パラ、オリに向けて小さい町だからユニバーサルデザインを広めやすい。
- 身内に障がいを持った人がいるから。
- 高齢化が進む中、高齢者の受入施設の拡充をしてもらいたい。
- 更なる地域福祉活動を期待します。
- もともと関心を持っていた分野のため。
- 地域福祉活動を充実してほしい。
- 生活しやすいまちになると思うから。
- 町内会の大切さと存続の難しさを考えよう（老人中心ではなく若人がつくる町会に）。
- 誰でも気軽に相談できる場所が必要。
- 相談枠の拡充。
- 老後の対応。
- 地域活動が多々有る様に思える。
- 高齢者対策は必要だと思う
- 目の不自由な方への点字（道路にある黄色いもの）の記事をよみました。途中までしかないは場所、つづきを作って欲しいと思いました。素晴らしいです。
- 高齢者の1人暮らしの方が増えるなど住んでいる地域では高齢化が進んでいるため。
- 今後は支援対象を具体的に想定したものばかりではなくだれもが自分らしく生きられる自由な社会づくりが必要だと思うから。
- 高齢者、障がい者に優しいまち。
- 空家住宅の借上げと、若い人と、時間持ちの人の力を借りての地域起こし。
- 地域の福祉の窓口の充実に興味があるため。
- 避難行動要支援者対策。
- 現在福祉系の仕事をしているため。
- 様々な問題を抱えている方も多い。気軽に相談できる体制作りを。

- 今、高齢者は、昭和の時代と比べて、健康や食事に配慮し、格段に若い。相談機能を充実させて、有料無料を問わず働いてもらう（助けてもらう所は助けてもらい、支える側へ廻る）。
- 障害１級の父の世話を１人で行っているが、人員不足とのことで相談員を付けてもらえず、大変に苦勞している。移住を考えたり、狛江市民に、「最期まで安心して暮らせない町」だと広報したいくらいの気持ちである。20 年近く、税金をきちんと納めてきた父が、平等な（他地域と）サービスを受けられないことに、多大ないきどおりを感じている。品川区から引っ越してきて、自然豊かな狛江を気に入っているだけに残念でならない。また、前例がない、とのことで介護保険のケアマネや（そもそも事務所が少なすぎる）、市担当者も経験不足、知識不足すぎる。調布や世田谷の現状をきくと、不平等感がつくる。せめて、近隣地域との情報共有を密にし、連携できる体制を整えるべきだ。情報リテラシーへの意識も低すぎる。人材育成にも力を入れてほしい。また、このような現状を公開し、市民の「高齢化社会」への意識改革をさらに促進すべきだ。「エンディングノート」はよい試みと思うが、部数が少なすぎるし、告知されていないさすぎ。住宅や公共施設のバリアフリー化もすすめ、支援し、寝たきりを作らない対策も必要。『ゆりかごから墓場まで』を、小さいまちだからこそ、地域のつながりの深さの中で実現してほしい。市内にある有料老人ホームは情報や人財をもっている。もう少し交流して、開かれたものにすることで、お互いに、共生しやすくなるのではないかな。情報の共有化、市民からの情報発信と交流の場を、対面だけでなく、ネットワーク（Web）でも充実させることで、若い世代の新しいアイデアや考えを取り入れていくべきだ。また、世代を超えて、それら情報を共有していくべきだ。地域交流も、観光ばかりにかたよっているように思われる。（目立つものが観光だけかもしれないが）福祉面での交流など、実のあるものを増やしてほしい（人的・物質的交流、含む）。
- 個人主義の前に他人を思いやる人が増えてほしい。骨折した時横を通った中年女性が知らん顔。せめて声かけをする女性でありたいものです。福祉の原点は思いやりです。
- 相談機能の充実。
- 大切です。
- 地域の福祉。
- 別の街で、消防団活動をしているため。
- 水道、下水、ガス、電気等々の改修に際して専門的助言が欲しいが、机の前から動いてくれない。
- 小規模な市の特性を生かしたまちづくりをして欲しい。
- 高齢者も増えてきている中、緑も多く都心からのアクセスも良い狛江で住みやすい街、落ち着いた街でもっと多くの方々に生活してもらえたらいいと思う。
- そろそろ、心の準備をしなくてはならない時。困ってない状態で、アクセスする方法を知りたい
- 友人達と話していて感じるのは、家庭の中には外に出にくい出せない病理をかかえていることが多い。気軽にさまざまな相談を受ける体制が必要。

- 地域猫をもっと大切にしてほしいです。
- 相続相談など出来たので。
- 狛江は、福祉サービスが良くないと思う。前に寝たきりの老人が家に居ても、何のサービスも受けられなかった。自治体によっても違うと思うが。
- 一人暮らし世帯が増える中、災害時避難のしくみ作りが大変だろう。
- 生活苦への支援は大事だが、生活に行きづまった時に気軽に相談できる、上から目線ではない窓口が必要。
- 充実している印象がない。
- 知人は少ないので気になる。
- 地域福祉や相談機能の充実は必要。

13 高齢者福祉

- 母の介護をしているため。
- 自分自身高齢の為。
- 高齢者福祉。
- 高齢化がすすんでいると思うから。
- 高齢者が多いから。
- 高齢化が進む近年、狛江でも高齢者に対するさまざまな予防対策が必要だと感じるため。
- 障害1級の父の世話を1人で行っているが、人員不足とのことで相談員を付けてもらえず、大変に苦勞している。移住を考えたり、狛江市民に、「最期まで安心して暮らせない町」だと広報したいくらいの気持ちである。20年近く、税金をきちんと納めてきた父が、平等な（他地域と）サービスを受けられないことに、多大ないきどおりを感じている。品川区から引っ越してきて、自然豊かな狛江を気に入っているだけに残念でならない。また、前例がない、とのことで介護保険のケアマネや（そもそも事務所が少なすぎる）、市担当者も経験不足、知識不足すぎる。調布や世田谷の現状をきくと、不平等感がつくる。せめて、近隣地域との情報共有を密にし、連携できる体制を整えるべきだ。情報リテラシーへの意識も低すぎる。人材育成にも力を入れてほしい。また、このような現状を公開し、市民の「高齢化社会」への意識改革をさらに促進すべきだ。「エンディングノート」はよい試みと思うが、部数が少なすぎるし、告知されていなさすぎ。住宅や公共施設のバリアフリー化もすすめ、支援し、寝たきりを作らない対策も必要。『ゆりかごから墓場まで』を、小さいまちだからこそ、地域のつながりの深さの中で実現してほしい。市内にある有料老人ホームは情報や人財をもっている。もう少し交流して、開かれたものにすることで、お互いに、共生しやすくなるのではないか。情報の共有化、市民からの情報発信と交流の場を、対面だけでなく、ネットワーク（Web）でも充実させることで、若い世代の新しいアイデアや考えをとり入れていくべきだ。また、世代を超えて、それら情報を共有していくべきだ。地域交流

も、観光ばかりにかたよっているように思われる。（目立つものが観光なだけかもしれないが）福祉面での交流など、実のあるものを増やしてほしい（人的・物質的交流、含む）。

- 後期高齢者になったので。
- 高齢期になるため。
- 両親の介護が不安。
- 身内に要介護の両親がいるので。
- 未だ働ける高齢者への就労対策、情報の要。
- 高齢化社会のため。
- 特養になかなか入れないため。
- 現在主人が要介護1なので。私も足が悪い。
- 将来お世話になるかも分からないから。
- 高齢者福祉。
- 自分を含め周りに対象者が多い。
- もうすぐ高齢者になるため。
- 高齢者になった時にどこまでできるかわからないので不安です。
- 高齢者が多いため。児童福祉と融合させ、地域世代共生をめざしてほしい。
- シニアヨガ、チェアヨガに携わっているため（主に市外）。
- これから高齢者が増えていくので。
- 自分達が今高齢者になり生活の中でとまどい近所の人とのふれあいも少なくなり不安がいっぱいでどんどん孤立化に！
- 安心して老後をむかえたいため。
- 母が高齢者のため。
- 高齢者対策が良くわからない。
- 高齢者が生きがいをもって安心して生活出来る事。
- 自身が高齢の為。
- 近所に高齢者が多いため。
- 他の人の痛みがわかる。それを何とか解決までといかなくとも、手助けしようとする。それが大人（年齢ということではない）というものだと思うため。狛江を大人にした。
- 自分が該当するから。
- 対策を施しているものの高齢者の実情の進度の方が早い。後手想大。
- 親が現在、大変な為。
- 母のCareについて、いろいろ悩んでいるから。
- 介護保険制度の問題点が多すぎる。
- 元気な高齢者をつくることで、医療費も少なく、施設作りも考えなくて済みますから。
- 介護福祉士（市外勤務）として、狛江市の取組みにはと関心を持っている。
- 元気な高齢者が楽しみながら仕事につながることを提供。
- いずれお世話になる機会があると思うため。

- 介護施設を多く作ってほしい。
- 年よりになったから。
- 家族にすすめたいが、どんな活動があるのかわからない。
- 今、自分がおかれている状況のため。
- 世間から遠のかないよう生きがいつくりをしたい。
- 高齢化が進んでおり、早めの対策が必要かと。
- 超高齢化社会に向けて、自助努力と共に更に支援を。
- 高齢の義父母が市内にすんでいるので。
- 高齢化社会に対応して欲しい。
- 高齢化社会に向けて、介護の充実を望んでいるため。
- 一人ぐらしのため安心の出来る日々を送りたい。
- 自分自身の近い将来に関係するため。
- 高齢者世界が今以上に深刻になるため。
- 高齢者福祉、介護保険制度の推進。
- 老後生活の不安解消。
- 両親が高齢になり介護が必要になるかもしれないので。
- 高齢者福祉、介護保険制度の推進。
- 高齢者の支援が重要。
- 介護保険制度に関心があるため。
- 高齢者福祉。
- 高齢者であっても自立した生活をしたいため…。
- 介護者のつどいがあるのだろうか？よくわからない。
- 将来の自分が不安です。
- 友交市町村との連携による介護施設の充実・確保（高齢化対策の充実）。
- 介護が充実していると、永く住めると思う。
- 弱い立場の人へ手と心を延べてほしい！
- 高齢者の方でも元気に働ける人は多いと思う。そういった場を知らない人が多いと思うのでもっと活躍の場があれば良いと思う。
- これから確実に高齢化社会になるため。
- だれでも参加できるような施設はあるのか？
- あと10年で高齢者となるため。
- あいとびあセンターで相談して助けられた。
- まだ実感はないがいずれ必要だと思う。
- 両親を看たため（自分自身にもやがて老いがくる）。
- 昨秋、夫が大病をし退院後、車椅子生活になった。生活面で介護用品のレンタル、入浴介助、リハビリと介護保険に大変助けていただいた。しかし、私は将来を考えると不安で精神的に落ち込んでしまい、話を聞いてくれる人がいたら少しは楽になれたかと思う。幸い、現在は夫が快方に向かい私もほぼ平常に戻った。
- のんびり環境。

- 高齢者見守制度の充実。
- 高齢者と言われる年齢にあるので。
- 介護について。
- 無料で参加できる講座や交流の場が充実してほしい。
- 介護状態になる前の予防に力を入れて欲しい。
- 地域包括支援センターの運営の充実（特に予防、体操等）。
- 高齢者の増加。
- 増え続ける高齢者をどうコミュニティにまき込むのか？
- 自身も高齢となるため、高齢者に優しい充実した対策を望む。サービスの充実等。
- 高齢者の自立（強い身体・精神）の構築。
- 自分が高齢であるから。
- 自分自身の年齢から、やはり関心が深くなりました。
- 介護問題等、関心がある。
- 高齢者が生きがいを持てる為。
- 親の老後が心配なので。
- 介護予防の推進。
- 高齢になっても元気で過ごしたいため。
- 増加する高齢者の対策の一考。
- 年を取っていくので老人にも生活しやすい町であってほしい。
- 街が活気にあふれるためには、欠かせないので。
- 今後について知っておきたいと思っているため。
- 高齢者の支援の必要性を感じているため。
- 高齢者施設の拡充を願いたい。
- 先行不安。
- 支援や推進活動は、充実していると思います。入所できる施設が市内、もしくは粕江に近い場所に増えると嬉しいです。小規模でも。
- 独居老人世帯が多くみられるから。
- 高齢者が増える一方、いかにイキイキと生活が出きるサポートにコストをかけずにするかという知恵が必要。
- 将来の暮らしに期待したいので。
- 介護保険を使えない人からの保険料の徴収をやめて。
- 市では高齢者が多いため。
- 日本中どこでも、取り組むべき問題だと思うため。
- 必要なことだから。
- 介護サービスを受けている人が、とても感謝していた。
- 老後の生活を充実させたいから。
- 自分も高齢者になったため、支援、推進、予防等。
- 高齢になると心配が多くなる（健康面）。
- 要介護のため。

- 高齢社会にともない不可欠だと思います。
- 高齢者世帯が増えていくので。
- あいとおびあセンターがあるので、わからないことがあれば、問い合わせ先が明確になっているから。
- 高齢者増加により支援必要。
- 生きがいづくりの幅広さ。
- 老後の対応。
- 市全体が高齢化している為お互いに声をかけ合う。
- 高齢化が進んでいるので更なる支援など期待。
- 老人を大切にすることが大切である。
- 日本の国家予算はかなり福祉に使われています。高齢者の認知症予防の対策は国地域として強化したいと考えます。
- 個々に見まわり希望を聞いてほしい。相談にのってほしい。
- 市の取組みに期待しているから。
- 高齢の方が目立つ（多い？）から。
- 高齢者の安心な生活。
- 今後、益々高齢者が増加するため。
- 超高齢社会で、皆長生きになっているので、安心して老後を過ごせる社会を希望するので。
- この先の生活を考えると特に必要。
- 介護保険が高過ぎる。154,800 円／年間夫婦。
- 高齢化社会への対応が必要だから。
- 自分も含め、高齢化社会になっているので。
- 高齢社会なので充実を。
- 認知症予防や支援が今後ますます必要と考えるため。
- 高齢になって住みよい町。
- 祖母が認知症の為。
- 独居老人への見廻りを頻繁にして欲しい。
- 高齢者も安心して暮せるため。
- 先細りの財政が見えているので、医療費を抑える努力を行政がリーダーシップを発揮して推進する必要性を感じるため。
- 老後の生活が心配なため。
- 高齢者が生きがいを持って自立できる支援を求める。
- 自分が高齢になったときに住みやすい町であってほしいと考えるから。
- 自分も将来さけては通れない道なので。
- 役立つことがあれば、生きがいになると思うので。
- 身近なことで必要なことだから。
- 高齢化社会に向けて大切か。
- 現在福祉系の仕事をしているため。

- 避けては通れない問題。
- 母が高齢者なため。
- 高齢化社会に対応できる福祉の充実。
- 孤独死を防ぎ、在宅医療看取りを進めるために、品川区のように、高齢者見守りネットワークを構築してほしい。
- なるべく声かけをするようにしていますが通じない人もいますので、認知症予防だけでなく情報交換にもなり気軽にお茶を飲めたりする場所があると良いと思います。
- 健康に問題ない高齢者にも、気軽に運動に行きやすくなるような声かけや環境が欲しい。
- 自立生活支援。
- 自分が高齢者なので。
- 自分がこれから高齢者となっていくため。
- 高齢化において、生きがいは、とても大切だから。
- 東京の田舎なのだから…小・中学生に会う人々に「こんにちは！」のアイサツを。そして、老人宅（特に独居老人宅）に定期的に「話をする」機会をつくれば老人も精神的に救われるし、子供も良い経験となる。
- 今後高齢者が益々増加するため。
- さらに充実を願います。
- 更なる推進を願う。
- 増加する高齢者の活躍の場を。
- 寝たきり老人をなくす。
- 支援を必要とする時の相談先等理解に乏しい為。
- 狛江市がどんな取組みをしているかもっとしりたい。
- 益々、高齢者が増える時代一人一人が自覚し、認知症予防に力を入れたい。
- 自分も高齢者になっていくため。
- 老人会活動の強化。
- この先もずっと狛江市に住み続けたいため。
- 祖母が大変お世話になりました。これからも高齢者がいる家庭への支援を期待しています。
- 両親も将来狛江市に住まわせることになった時に（介護等で）充実していれば良いなと思った。
- 高齢者も増えてきている中、緑も多く都心からのアクセスも良い狛江で住みやすい街、落ち着いた街で、もっと多くの方々に、生活してもらえたらいいと思う。
- 高齢者への生きがいの推進。
- 生きがいづくりの推進。大切だと思う。
- 自分が高齢者だから。
- 老後の生活が不安。
- これからお世話になると思うから。
- 狛江は、福祉サービスが良くないと思う。前に寝たきりの老人が家に居ても、何のサ

ービスも受けられなかった。自治体によっても違うと思うが。

- 障がい者、高齢者に寄りそった社会に。

14 障がい者福祉

- まだまだ制度が不十分だと思う。
- 難病故、体制に感謝。但し、ケアマネジャーに不満。
- あいとぴあセンターの活動はすばらしい。
- 家族に障がい者がいるから。
- 障がいのある子どもがいるが、保育園も福祉事業所もほぼ未整備と感じる。市だけでなく、周辺市区との連携で、他のハード・ソフトを使えると良い。
- 自分がそうだから。
- 子供が高次脳である。そのため狛江市に転居して来た。色々な面で救われている。
- 発達障がい者自立支援をさらに充実してほしい。
- 障害1級の父の世話を1人で行っているが、人員不足とのことで相談員を付けてもらえず、大変に苦勞している。移住を考えたり、狛江市民に、「最期まで安心して暮らせない町」だと広報したいくらいの気持ちである。20年近く、税金をきちんと納めてきた父が、平等な（他地域と）サービスを受けられないことに、多大ないきどおりを感じている。品川区から引っ越してきて、自然豊かな狛江を気に入っているだけに残念でならない。また、前例がない、とのことで介護保険のケアマネや（そもそも事務所が少なすぎる）、市担当者も経験不足、知識不足すぎる。調布や世田谷の現状をきくと、不平等感がつくる。せめて、近隣地域との情報共有を密にし、連携できる体制を整えるべきだ。情報リテラシーへの意識も低すぎる。人材育成にも力を入れてほしい。また、このような現状を公開し、市民の「高齢化社会」への意識改革をさらに促進すべきだ。「エンディングノート」はよい試みと思うが、部数が少なすぎるし、告知されていなさすぎ。住宅や公共施設のバリアフリー化もすすめ、支援し、寝たきりを作らない対策も必要。『ゆりかごから墓場まで』を、小さいまちだからこそ、地域のつながりの深さの中で実現してほしい。市内にある有料老人ホームは情報や人財をもっている。もう少し交流して、開かれたものにすることで、お互いに、共生しやすくなるのではないか。情報の共有化、市民からの情報発信と交流の場を、対面だけでなく、ネットワーク（Web）でも充実させることで、若い世代の新しいアイデアや考えをとり入れていくべきだ。また、世代を超えて、それら情報を共有していくべきだ。地域交流も、観光ばかりにかたよっているように思われる。（目立つものが観光だけかもしれないが）福祉面での交流など、実のあるものを増やしてほしい（人的・物質的交流、含む）。
- 災害時の障がいを持つ人たちのことが気になる。
- 福祉の仕事に携わっているため。
- 他の人の痛みがわかる。それを何とか解決までといかなくとも、手助けしようとする。

それが大人（年齢ということではない）というものだと思うため。狛江を大人にしたい。

- 自分が該当するから。
- 障がい者への配慮が不十分。
- あいとぴあセンターや“ばる”では非常にお世話になっております。先生方や職員の皆様のおかげで、毎日たのしく過ごす事が出来ています。
- 知識がないため、当時者に冷めたい。
- 障がい者を区別なくしていきたい。慣れる必要がある。
- 身内に障がいを持った人がいるから。
- 発達障がい児への支援の情報が知りたいため。
- 知人に障がいのある方がいるので。
- 支援が本当に必要な人に適切な支援があると良いと思うから。
- 身内に障がい者がいるので。
- もともと関心を持っていた分野のため。
- 身内に障がい者がいるので。
- 自身が障がいをもっているから。
- 家族に障がい者がいる為。
- 障がい者福祉、障がい福祉サービスの充実。
- 障がい者が充実した生活を送るため。
- 事情もあるだろうが働かない人（働けないではない）の保護ばかりして、過剰保護だと思う。人間から搾取するのはおかしい。
- 超高齢化・障がい者への車椅子増備（共公施設・AED＋車椅子設置）、貸出し。「人にやさしい市行政」。
- 弱い立場の人へ手と心を延べてほしい！
- 狛江に長く住みたいから。
- 社会的な弱者に対して、情報、施設、サービスの拡充。できる限り、市内で活動している団体、企業などを連携した包括した行政サービスを施行してほしいです。
- 家族に障がいを持つ者がいる為。
- 息子がADHDで既にお世話になっているため。
- 助け合っていける世の中を作りたいから。
- 弱者への優しさを。特に教育の場で。
- 障がい者にもやさしく良い町。虐待は絶対防止しなくてはならない。
- どんな人も住みよい世の中に。心細い思いをしないため。
- 街で障がい者を見かけることが多くなった。交流したい。
- 障がい者の支援や就労に力を入れているのに満足している。
- 手話を学ばせて頂き、色々な事の気づきがあった。
- 大切です。
- 幼児から就労・老後まで、一本化した継続的な支援を求めます。
- 障がい者も安心して暮せるため。

- 日本人は声を上げて助けを求める前に何とか努力しようとする人が多く、本当に辛い状況の人が見過されがちなため。
- 現在福祉系の仕事をしているため。
- 知り合いに認知症と難病者をかかえている人がいるのですが、問い合わせをただけで、ケアマネが話を聞きに来る体制に驚きました。狛江市もそうなるといいですね。
- 狛江は、福祉サービスが良くないと思う。前に寝たきりの老人が家に居ても、何のサービスも受けられなかった。自治体によっても違うと思うが。
- 障がい者、高齢者に寄りそった社会に。

15 生活福祉

- 関連したボランティアに参加したから。
- 電話対応でアドバイスしてくれるセクションがあると便利だと思います。
- 医療の充実。
- 年金が少ないためやりたいことが何も出来ない。
- まだまだ制度が不十分だと思う。
- 生活の苦しい家庭が多い。人口が減る中、頭の良い子供には大学まで無償で！！
- 未だ働ける高齢者への就労対策、情報の要。
- 生活困窮者（生保）を受けている人が多いが、年1回ごとに調査するなどきびしくしてほしい。一度生保を受けるとその後甘くなっている。人の税金の一部をもらい生活面でも免除されることが多いのに（医療費も）遊び回っている。パチンコ屋に大勢いる。
- あいとぴあへの存在は非常にありがたい。復職支援では大変お世話になった。
- 貧困層が増える傾向があるので、そういう人を救うことを考える必要性が高いと思うから。
- 生活が苦しいから。
- 経済的底上げを少しでもレベルアップしてあげたいため。
- ベーシックインカムの導入。
- 収入が低い家庭の奨学金の補助。
- 格差が広がり、低所得者の支援が今以上に必要だと思う。
- しっかりした選別と支援をしてもらいたいから。
- ハローワークの簡易施設がほしい。
- 最低限の生活、衣食住を確保してあげたい。
- 生活保護の方が身近にいるが、大変そうな暮らし。
- 全ての子供達が、幸せであって欲しい。
- 安定した生活を送りたいと思うため。
- 生活保護受給者へ支払うだけでなく、自立を支援していく体制が必要。ただだらけるだけで馬券を買いに行く人もいます。

- 自分の事です、もっと高齢者に働く場所を！
- 児童福祉関係の仕事をしているため地域の実情には関心がある。
- 生活困窮者への住宅等支援の拡充。
- フードバンクや貧困家庭への支援を充実した方が良い。
- 子ども食堂の数も増えて来た。更に、貧困故に就学不能の家庭には支援を（親の怠惰による貧困は要対策）。
- 今や貧困の格差は増え続け教育を受ける機会が無くなる子供たちが増え未来に希望が持てなくなります。
- 私は現在 50 歳代前半ですが、70 歳ぐらいまでは働きたいと考えており、60～70 歳の就労支援の制度に関心があります。
- 全ての人が自立して生活をしていけるようになることが、犯罪も減らすことになり、コミュニティ作りの始まりかと。
- 就労支援体制の強化。
- 年金生活のため。
- フードバンク、こども食堂とかあるが、困っている人を一番把握しているのは“市”なので、もっと支援が行き渡らないのか。
- ひきこもり問題などに、取り組む必要あり。
- 健康上仕事につけない人への対策。
- 年を取っても動ける（働ける）人を尊重して一緒に行動する。
- 弱い立場の人へ手と心を延べてほしい！
- 後期高齢者保険が高過ぎる。246,800 円／年間。
- 必要な人とサービスのマッチングが適切に行われてほしいと思うから。
- 生活に困窮している人が充実した支援を受けてほしいと考えるから。
- 皆で助け合う。小さな町ならではの福祉を。
- 粕江は、福祉サービスが良くないと思う。前に寝たきりの老人が家に居ても、何のサービスも受けられなかった。自治体によっても違うと思うが。

16 保健・医療

- 今日から国保になった為。
- 近所に医療機関がない。保険料が高い。
- （子）医療証（就学後 3 割負担大きい）期間を引きのばしてほしい。
- 健診の充実を期待。
- 健康寿命をめざしているため。
- 粕江駅周辺の医者（特に内科）が高齢化しているので、若手の医者の誘致をして欲しい。
- 検診の内容をもう少し充実して欲しい。
- 体が資本であり、健康な事で税金も使わなくて済む。

- 子供の医療費助成の年齢を 18 歳までとしてほしい。
- 市の健康診断（無料検診）の項目が少なくなってしまう残念に思っているから。
- メンタルヘルス、健康不安などへの相談が気楽にできるとよい。
- 若い子も検査を受ける機会をつくって欲しい。
- 安全な生活の基本のため。
- 今、妊娠していて、子どもがもうすぐ生まれるため関心がある。
- 健診（40 歳）を受けさせていただきありがとうございました。
- 市の助成金による健康診断がもう少し増えたらいいと思ったコトがあるため。
- 乳がん検診を 20 才以上で実施してほしい。
- 訪問看護も“家”だけでなく、保育や教育との連携により、そのような場へも“訪問”する仕組み、地域医療も他地域との連携が欲しいと思うので。
- 検診の医療券を市外の医療機関でも使えるようにしてほしい。かかりつけ医は市外、加えて市内に産婦人科が少ないので検診のときには選択の幅が少なく困る。
- 活気ある市であるためには、若い力が必要と思う。若い力を確保するために必要な施策。現在はまだまだ不足していると思う。
- 昨年出産したから。
- 在宅往診医をカバーする取組み（世田谷区みたいに）。
- 70 代となり医療機関にかかる頻度が増えて、国保や高額医療費の還付、また特定健診など実支援がある。
- 休日診療。
- 医療機関の利用が増えてきたため。
- 持病があり医療費が多くかかる。
- 健康第一だと思うから。
- 長寿社会に向かって、地域医療に関心がある為。
- 健康意識の向上、医療費をむだに使わない母子保健の充実。
- 夜間・休日の病院。
- 狛江市の仕事をしているため。
- 健康を意識して、無駄な保険料を使わないようにする為。
- 感染症対策等、狛江の施設等に細かい規則を伝える。
- 高齢の方が目立つ（多い？）から。
- 医療費は今後出費がかさむと予想されるため。
- あいとびあセンターの活動はすばらしい。
- 健康診査の充実。
- 昨年初めて子宮ガン検診を受けて、大変良かったので今後も市の検診を利用してみたい。
- 健康に関心があるため。
- 年よりだから。
- 自分自身が健康でないと子育てにも支障がでるため。
- 健康意識がある為。

- 健康で過ごせるように。
- 子どもがいるから。
- 健康保険料が高い分サービスしてほしい。
- 歯科の保険拡大。歯科保険診療がいい加減すぎる所がある。
- 子供が3人いてそれぞれ成長に関わってくるので。
- 更なる健診の充実さを。
- 毎年、健康診断を受けているので。
- 健康第一だと思うから。
- 自分が納めた税金が自分に一番還元されると思うから。
- 家族の健康管理、土日の検診もお願いしたい。
- 緊急時に対応できるか、気になる事も在る為。
- 駅前の医療機関が、隣の喜多見に比べてダメ。
- 一人一人にあった医療や健診のサービスを充実してほしい。
- 健康診断を充実させてほしいと思うので。
- 国民健康保険の安定的運営を望みます。
- 救急車の増設を希望している。
- 健康診査は評価するが、他医院での検査を補助する方法でも！？
- 病院が多く便利。
- 子育て中のため。
- 婦人科健診の範囲を市外に広げてほしい。
- 健康は大事だと思います。
- 健康診査など他の市町村とレベルを同じにしてほしい。
- 健診、集団予防接種など、月に一回では、その時に体調を崩してしまったりすることが続くと数ヶ月遅れるので、改善してほしい。BCGなど、個人接種にしてほしい。
- 子供の医療費無料を所得制限なしにして欲しい。できれば高校生までにして欲しい。これも子育てしやすいまちのアピールになる。
- 子供のマル子などの適応が不公平だと思っている。
- 健康に過ごしたいから。
- 健康医療は、柱です。
- 医療機関の偏在。
- 健康こそすべて。
- 健診に興味があるため。
- 健康でいたいから。
- 兎に角、健康第一！と思っていますので。
- 市のミニドック等受けられて満足です。
- 市で負担してもらえる健康診断を増やす。また、市役所など住んでいる地域でもっとわかりやすく広報した方が良い。
- 高齢者が増えてきて、健康への取組みに力を入れるべきだと思うから。
- 健康は大切。

- いつまでも健康でいたいから。
- いろいろなことが行なわれている。もっと広く知らせてもらえるといいかな。
- 休日診療は助かる。
- 市民のミニドックが無ければ、まず受けないと思うので、有難い。
- 子供に病気になってほしくないため。
- 予防医療の目的で健診を利用したいと考えているため。
- 健康でこそ、なんでもできる。
- 専業主婦をしていると、自分の健康診断を受けるタイミングや機会がないので。
- 体調管理は大事だから。
- 今年出産予定なので。
- 老人に入っている為。
- 医療体制の充実。
- 一昨年までの夫は健康でインフルエンザの予防注射以外、ほとんど医者にかからず、年間 30 万円以上の健康保険料がもったいないと思っていたが、今回の罹患で健康保険のありがたさが身に染みた。今でも月一の通院で 1 回 3 万円ほど支払っている。健康保険がなかったら治療が続けられないと思う。周りに必要以上に医者通いをしていると思われる人が多い。限られた資金を本当に必要になった時に使うような制度を考えるべきだ。例えば使った保険が少なかったら次年度の保険料を割引くとか、限度以上に使ったら負担割合を増すなどしてはいかが。
- 健康支援の充実（予防接種の無料化）。
- 健康診断の充実。
- 保育園児・小学生の子供を育てているため。
- 健康診査の充実。
- 他の区・市と格差のないように。
- マル子の所得制限に不満があります。狛江の近隣（世田谷・調布・府中）のほうが優遇されている。狛江に住んでいると損と感じる。良い病院があまりない。行きたくない病院が多い。
- 健康意識や地域医療に関心があるため。
- 地域医療体制の充実に関心があるため。
- 健康診査の充実。
- 健康診査の項目を増やして欲しい。
- 自らの治療力・回復力の向上を目指す知識の共有。
- 健康長寿は地元地域で推進すべき重要課題だから。
- 健康第一であるから。
- 大事だから。
- ミニドック、集団が検診に満足しているため。
- 健康に日々暮らしたいため。
- 路上喫煙多い。とても嫌だ。
- 健康の維持増進は本人のためだけではなく市の財政負担の軽減にもなる。健康診断内

容を更に充実させてほしい。

- 健康診査の充実。
- 医療体制の充実を望みます。
- 23 区同様に中学生まで医療費無料にして欲しいため。
- 健康で過ごしたいため。
- 国民健康保険を 40 年近く使っていません。これからもつかわぬように生きられたらよいです。
- 高齢者が比較的多いと思われる為。
- 健康への意識を高める。
- スポーツ関係の施設、サービスをもっと充実させてほしいから。
- 一人一人が健康である事が、まず大事と思う。
- 今後について知っておきたいと思っているため。
- 高齢者向けの無料検診がとても良いと思ったため。
- 具合が悪いとき、どの医療機関に行けばよいのかわかる相談窓口が欲しい。
- 病院を利用することが増えている為。
- 健康に暮らしたいため。
- 健康意識の向上とスポーツ・レクレーション活動などを推進するための、公共施設の有効利用策に関心。
- 高齢化社会に向けてより充実をしてほしい。
- 生活習慣の改善。
- 老後の生活を充実させたいから。
- 市の健康診査に満足している。
- テレビで見ましたが、大病院に行く前の電話相談、町医者への問診（狭心症などすぐ手術になる）。
- 市民の健康診断の実施。必要な予防接種の希望者への費用補填。
- 小学校に上がって所得により医療費がかかるようになったため。
- （子）のわくを広げてほしい。
- 人間ドックの項目を増やしてほしい。
- 女性の乳ガンや子宮ガンの健診を、1 年に 1 回とか、他の健診も増やしてほしい。
- 子供の医療費の負担が他の市町村に比べて少ないため。特に小学生までの子供。
- 保健医療。
- 有事のためにも医療機関は充実すべきと考えているため。
- シルバー世代には一番大事なことです。
- 癌検診の充実を希望します。
- 個人個人で、健康に気を配る事が大切である。
- 定期的な検診はあるが、もう一足ふみこんだ検査が出来るように。
- 高校生まで、医療費無料にしてほしい。
- 子供が 2 人いるため。
- 個人病院がふえて来た。

- 今後、益々健康づくりが大切となるため。
- 産まれた命が健やかに育つように、そして健康寿命がのびるように、意識を持つことは大切だと思うので。
- 収入による保険料の差をなくして欲しいため。
- 保険料の安定。
- 健康診査の更なる充実を希望。
- いつまでも健康でいたいと思うため。
- 健康は大切だから。
- 地域医療の充実へ。
- 児童福祉関係の仕事をしているため地域の実情には関心がある。
- 診療回数の少ない人に対しての国民健康保険料の減免。
- 地域医療体制の確立。
- 健康にすごしていきたい為。
- 医療の充実に期待したいから。
- 子育て世帯のため関心がある。
- 乳がん・子宮がん検診を割安でやってほしい。
- 健やかである為には、個人の力のみでは限界あり。
- 健康は大切なので。
- 健康に関心があるため。
- 健康に過ごすために健診を充実させてほしいので。
- 健康に関心があるから。
- 健康づくりの推進。
- 健康診断の拡大をしてほしいので。
- 健康第一ですから。
- まもなく子供が誕生する予定であるため。
- 健診の充実をのぞみます。
- 健康である事は大切なので参加しやすいプログラムを！
- 現在利用しているため。
- 誰もが我家で死を迎えられるように訪問診療、訪問介護、ヘルパーの充実を図る。
- 年金生活のため。
- 毎年人間ドック受診に満足している。

17 自然環境

- 桜並木のステキな町なので、もっとアピールすると良い。
- 学区域に子どもの遊び場が少ない。
- 自然が大好きなので、今後狛江の自然がどうなっていくのか知りたいため。
- 緑が多いので東京でも住みやすいなと感じた為。

- 散歩の場所がある。
- 多摩川を掃除してくれている（皆で）。すばらしい。
- 公園とは名ばかりの、ただの空地が多く、子供が遊べる様な場所がない。
- 緑の多い外で遊べる街が住み良いと感じるため。
- 緑の保全と創出。緑を少しでも残してほしい。
- 自分の生活が豊かになるため。
- 子どもと公園をよく利用するため。
- 子供がボールを思いきり使える公園（スペース）があれば良いと感じている。
- 満足しているのに都立公園を作ろうとしているから。
- 大きな公園、安心して歩ける落ち着いた公園が少ない。市役所あたりに欲しい。あるいは駅前。
- 公園が多いイメージがあるため。
- 多摩川河川敷の整備をお願いしたい。
- 環境のよい街に住みたいから。
- 緑の多い街が気に入っている。
- 野川の河川工事を、これ以上上流に広げる事は好ましくないと考えます。止めてほしい！！
- 狛江通り沿いに緑を増やすべき。
- 環境が気に入って自宅の購入を決めたため。
- 近くに公園がないので。
- 自然河川で浅くておたまじゃくしなどがいて貴重な野川をコンクリートで埋めないでほしい。都内でも珍しい素敵な風景。
- 都立公園を作ってほしい為（和泉多摩川）。
- 公園が徒歩 10 分以内に沢山あるから。
- 水のキレイな街がステキだとも思います。
- 広々した公園、安全でキレイな公園が少ないと思う。
- 公園へのごみの放置、不審者をよく見かける為。
- きれいな水と自然の森のような公園が欲しい。
- 緑を残してほしいから。
- 公園で子供とあそぶため。
- 狛江市に老人ホームが増えて、遊歩道の花を楽しみながら散歩するお年寄が多いです。常緑樹の大木の手入れをして頂いてボランティアで草花を管理したら良いと思います。
- 公園をつくってほしい。
- 植物や沢山の花を見てウォーキング出来る遊歩道に満足。
- 公園が少ない。あるけど汚ない。トイレがない。
- 以前の様な水と緑の多かった狛江に少しでも戻りたい為。
- 農地が無計画に宅地・住宅になっているように思える。
- 現況を少しでもいいから多くして欲しい。
- 良好な景観の維持と形成に関心が有る為。

- 水と緑の豊かなまちづくりをお願いします。
- 相続等による自然破壊。
- 今ある自然環境を大切にしたいから。
- 多摩川河川敷の整備。特に草刈り頻度の増と自転車道のアスファルト化。
- 緑を増やすのは大いに結構であるが、公園のそばに住んでいるため、伐採等の管理はもっと徹底してやってほしい。
- 余っている土地を小さな公園にするのではなく人々が集う、大きな自然公園（遊具もある）があるといい。
- 公園をよく利用しているので。
- 人口が増えていると感じる。マンションが増えた。この理由により、空き地が減ったり、木が伐採されるのはイヤだ。
- 周囲に緑は多いものの、公園として整備されているものは少ない。老若男女がリフレッシュできる緑を生かした公園をもっと整備すべき。
- 新しくできた「えきまえ広場」の前に喫煙所があることに疑問を持っているから。
- 遊具のある公園を増やして欲しい。
- 多摩川河川敷の整備活用、土手の全面舗装。
- 多摩川で休日を過ごすことが多いので。
- ・ボールあそびが自由に出来る公園を増やしてほしい。ＢＢＱが出来る場所を作ってもらいたい。
- もう少し公園を増やしてほしいため。
- 多摩川やせせらぎは狛江の宝です。
- 公園が減ると子供の遊ぶ場所がなくなるから。
- 公園等に行く機会が多い為。
- 緑あふれる心安らぐ町に住みたいから。
- 良質で安価な水道水提供を行ってほしいため。
- 安全な生活の基本のため。
- 多摩川でバーベキューができるようお金をとってメリットがあるように考えてほしい。
- 多摩川の保全。
- 緑道整備や街路など、きれいで素敵な町だと思います。
- 5年前に神奈川から転居してきたが多摩川や野川がとても魅力的だった。自然を大事にしてほしい
- 水と緑の狛江……らしさとは？樹のアーチ（桜やポプラ e t c）とか、多摩川の桜を増やすとか。
- 環境促進のため。
- きれいな町だと思うので。
- 多摩川が市内を流れサイクリングロードも整備され満足している。
- 公園のスペースを広く設けて欲しい。狭すぎる。e x：ボール×、自転車×など。
- 働き手が減少する社会では、循環型社会の確立が必須と思っている。循環型社会を作るための施策を今後もより推進してほしい。

- 狛江は公園が多く魅力的なので、今後もさらに魅力的であってほしいので。
- 自然環境の維持と保全。
- 健康に過すためには水と緑が必要だから。
- 水と緑のまち。
- 綺麗な水質の河川を維持して生息する生き物を増やす。
- 古民家とその近くの水の流れる公園、好きです。
- 農地が少なくなっていく中で緑地確保と公園の充実。
- 野川沿い（小田急線より北側）サイクリングロードは谷戸橋まで世田谷区管轄だと思うが、谷戸橋から野川大橋までの狛江市管轄と思われる部分に桜がないのは物足りないと感じる。
- 公園を増やしてほしい。普段は世田谷のふれあい公園に行っているの。
- 今後の生活し易さに役立つため。年をとって、ゆっくりと生活できるよう。
- 狛江市は緑が豊かでとても良いと思ったから。
- 多摩川をきれいにすることに関心があるため。
- 上下水道施設の充実。
- 緑の保全と創出、公園は大切。
- 子供が公園でよく遊ぶから。
- 多摩川、野川まかせの自然環境だが保全がされていない。
- 発展とは、無制限なものではなく、本来あるべき姿の土台（環境）を堅持しながら行うものとする。狛江を本当の意味で発展させたい。
- 快適な市民生活の基本である。
- 公園が少ない。
- 水と緑、素晴らしい。川を大事に。
- 温暖化を防ぐため。
- 自然環境。
- 公園を利用する機会が多い為。
- 狛江市のすばらしい自然を下水道の整備によって守って欲しい。
- 多摩川河川敷の休日無料駐車場をよく利用しており、重宝している為。しかしながら“芝生”の場所がそこにしかないの、公園があれば嬉しいです。
- これ以上の開発を止めるため。
- ボールが使える公園がない。増やしてほしい。
- 公園の整備は重要。
- 公園とか町並みが整備されてきている。
- 緑の保全、公園の整備。
- 街がきれいであることは、美しいだけではなく防犯にもなると思うから。
- 環境が大事だから。
- 自然が近くにあるので。
- 緑の保全に努力してほしい。
- 公園で子供と遊ぶ機会が多い為。

- 緑の多い公園は子供から年寄り全ての市民が利用できるから。
- 市の特徴であり管理をもう少し充実してほしいため。
- 緑の保全。
- キレイで住みやすいまちであってほしい為。
- 近くに公園があるため。
- ごみが有料なのできれいになればいい。
- 都会の喧騒感がない。
- マンションが多すぎて緑が少ない。
- 公園が多いので子供を遊ばせやすい。
- 多摩川の水、緑ゆたかな川沿いの風景が気に入っているから。
- 豊富（最近は？）な地下水での水力発電等、災害にあっても市の発電等でもまかなえる仕組みを作る。
- 公園を使う機会が多いため。
- 公園にトイレを。
- 狛江らしさ。
- 緑の多い環境で心の安らぎを得たいため。
- 多摩川、野川は狛江で誇れる豊かな自然なので、守っていききたいと思っている為。
- 緑が多い中での生活。
- きれいな多摩川であってほしいから。
- 美しい自然の街狛江であり続けたい。
- 子供が安心して遊べる環境がたくさんあるとうれしいため。
- 子どもと遊べる公園や環境に興味がある。
- 緊急時に対応できるか、気になる事も在る為。
- 子供の遊べる公園等も整備してほしい。
- 比較的緑の多い街なので、保全してほしい。
- ボール遊びが出来る場所を増やして下さい。
- 緑の保全。
- ドッグランや公園を利用するから。
- 多摩川を持つ狛江市。この利点を最大限に活用し、多摩川にホテル（小型）、市のプール、温泉…。
- 緑豊かな街づくりを希望しているため。
- 狛江のシンボル水・緑、とてもアピールでき、自然が多く良い。
- 子育て中のため。
- 狛江駅付近の公園の整備が必要。
- 水環境の保全に興味があるため。
- 緑が多いと感じるので。
- 『水と緑のまち』のため。
- 小さな子供がいるから、多摩川があるから。
- 健康生活に清潔な水は必要。

- 子ども公園を利用したり、多摩川に遊びに行ったりするため。
- 現状は良いと思いますが、もっと狛江らしくリファインしていくとうれしいです。
- 川や広場などの自然が多いから。
- 雨水と汚水の分流方式推進を望んでいるため。
- 子供達がボール遊び等できる場所を増やした方が良い。
- 公園が多くあり、良いと思います。
- とにかく公園が無く、子供達、ご老人達の憩える花や緑の豊かな（ぜいたくなら）普通の公園が増える事を期待します。
- 狛江は緑と水の美しいところ。緑の保全と、そして野川の清掃も心がけて欲しい。
- 狛江の自然環境が好き。
- 狛江に長く住みたいから。
- 西野川緑道を毎朝散歩するが、せせらぎの道など気持ちの良い場所があって、満足している。
- 生活していく上でとても大切な事だと思うため。
- もっと大規模な公園があっても良い！
- 子供と安全に遊べる公園が少ないと感じていたため。
- 水環境の保全と緑の保全。
- 多摩川もどの公園も手入れがいき届き心地良く思える。都立公園の構想も、自然を残しつつどの世代の人も安心して過ごせる狛江ならではの公園になるのを楽しみにしている。
- 多摩川をもっと活用した市政を望む。
- 岩戸川緑地の除草、住民が自分でやるよりしかたがない。
- 保育園児・小学生の子供を育てているため。
- 自然を守るだけでなく、現代にマッチした環境づくり。(例) 多摩川の流れを望む展望スポーツジム・展望レストラン等、人を呼ぶ点も考慮する。
- 公園は多いが、あまり小さい公園は利用者がいるのか疑問に思います。
- 自然環境を守る、緑の多い街であってほしいから。
- 関発（まちづくり条例）による公園等の維持管理が出来ていない。
- 公園・遊歩道もっと整備し（ボランティアも含めて）水と緑の街、推進してほしい。
- 多摩川の保全や、街の中に緑が増えることや、各家庭への補助金（植栽について）など興味がある。
- 多摩川住宅の周辺の緑の管理が満足しています。
- 水と緑を保護することと地球を守ることの繋りを知る。
- 公園をよく散歩するので。
- 住み良い町として大切だから。
- 災害時に対応できる公園があればいいと思う。
- 緑の保全と創出。
- 変に都市化しないでほしい。
- 野川は素敵な川。そして大好きです。

- 自然豊かな環境で生活したいと考えているため。
- 住みよい場所にするため。自然環境についてもっと良くしていきたい。
- 緑の保全。都心から帰ってくるとホッとすることから。
- 豊かな自然のなかで生活したいため。
- 都立公園化の件に興味があるから。
- ここ数年、元々あった大木（緑）が激減していくのが悲しいです。どうにかならないものか？
- 緑の多い、きれいな環境で過ごしたい為。
- 駅のそばに緑地があり、住みはじめた。さらに緑豊かな街になってほしい。
- テーマに「緑の保全と創出」とあるが創出で何をしたのか？これからも団地？マンション開発の時点で公園敷地を余った場所に計画するのでなく、陽の当たる良い場所や、場合により市が援助してちょっと広くするなど企画したら如何でしょうか？※駅前広場に大きな1本の木を植える。
- 休日、健康のために、多摩川沿いをウォーキングしているため。
- 町並みに桜や花みずきが植えてあり、とても美しい。自慢出来る。
- 狛江の好きなところが、川があり自然が豊かであること。このままずっと自然が豊かであってほしい。
- 多摩川や、保護樹木、樹林があり都心に出やすいのに自然に恵まれ豊かなまちを維持してほしいため。
- 定期的に整備されていると気持ち良く過ごせる。
- 老後の生活を充実させたいから。
- 空地の公園化、空家の取り壊し推進などを進める。
- 多摩川沿いを整備して欲しい。狛江市内多摩川沿いは未だ砂利がある（走ったりするのに不便）。
- 緑地の確保。
- 自然環境は、とても良いところ。多摩川、公園（せせらぎ）。

18 循環型社会

- プラスチックゴミの回収も市全体でやってほしい。
- 安定したごみの回収でありがたい。
- おむつ袋をレジ袋でOKにしてほしい。
- ごみ袋の価格が高い点。
- 年2回定例となった小型電気機器回収プロジェクトは、大変素晴らしい活動なので続けてほしい。単に、無料で処分できる…と言った理由からではなくこれからも、資源として、リサイクルされ有効活用できるしくみを築き上げることは、義務である。またそれを推進する狛江市を誇りに感じる！
- ゴミ袋が高い（値段）。

- ごみ、資源物の回収は、助かっています。
- 有料ゴミ袋が高価で反対する。
- ゴミ袋もうすこし安く。
- 回収が個人の家の前で助かる。
- ゴミ袋を無料にして欲しい。
- 不燃ゴミはほとんど出ないのに、ゴミ袋を 10 枚単位で購入させるのは考えて欲しい。
1 枚単位での販売希望。
- 日常に関わることのため。個人で取り組むことができる。
- ゴミ袋が高い。
- ゴミの出し方（このゴミは何ゴミか？）が表にはでていなくてわからないものが多く、
もっと「こうしてもらわないとこうなる」という問題点など、現場の声をきいて、徹底させてほしい。
- 小型家電回収がありがたいので続けてほしい。
- 限られた資源が大事だと思うし、処理場がない市なので、皆がしっかり意識を持つことが大事だと思う。
- ゴミの減量は、市民の大事な問題。
- ごみ減量に協力している。なるべくごみを出さない様に。
- ごみ減量を引き続き進めてほしいから。
- ゴミ袋がもう少し安くなったらいいと思う。
- 資源回収の努力は認めるが、広報が足りないため。
- ごみ袋（燃物・ピンク色）は利用頻度が少ないので、「5 枚入り」又は「1 枚売り」をして欲しい。10 枚は多すぎる。
- ごみ収集の仕方を考え直してほしい（スーパーに頼り過ぎ）。
- 今にプラスして（少しでも良くしていく）。
- ごみの出し方改変はすてきだった。
- 日頃からゴミ軽減を意識しているため。
- 資源回収に関心があるため。
- 資源回収。
- よくやっていると思います
- プラスチックのリサイクルに取り組んで欲しい。
- 今まで経験しなかった、指定ゴミ袋！ごみに対する取り組みに関心があります。
- ごみ処理のしくみが良いと思います。
- 環境問題に興味があるから。
- 家電回収を利用している為。
- 処分場の確保は、安定的な日常生活をすごすうえで必須なことであるため（普段は意識しないが…）。
- 快適な住環境確保のためゴミ処理は不可欠なため。
- 安全な生活の基本のため。
- カン・ビン・ペットボトル回収を毎週にしてほしい。

- イベントに時間があれば参加したい。
- ごみを減量していかなければ、ならないと感じている。
- ごみ問題は、関心がある。
- 働き手が減少する社会では、循環型社会の確立が必須と思っている。循環型社会を作るための施策を今後もより推進してほしい。
- 資源回収の確立。
- ごみ袋が高い。
- ごみ袋の料金が他の市より高い。
- 可能であれば自力のごみ処理施設を作る。
- いつもありがとうございます。
- ごみ問題が将来的に大きな負担とならない様考えて欲しい。
- ごみの分別が比較的細かく、居住する大規模集合住宅では管理組合に対し資源ごみ（布、びん缶）の還付金（？）がある。
- ゴミの分別や、集収方法に満足しているから。
- 小型家電の無料回収を利用したいが日程がなかなかあわない。
- ゴミの分別は、気にしているので資源として活用してほしい。
- ごみの管理がとても良いと思う。
- ゴミの出し方とその後の処理に関心があるため。
- ごみ問題。スーパーのプラスチック袋の回収はできないか？
- ゴミの回収がきちんと行われているので。
- ゴミ処理だけでなく、地産地消はできないか。ややリサイクルが後退している？担い手がなくなった？
- 発展とは、無制限なものではなく、本来あるべき姿の土台（環境）を堅持しながら行うものとする。粕江を本当の意味で発展させたい。
- 将来の為ごみ減量について考えるべき。
- 廃プラのリサイクル、回収。
- ごみの減量化を進めているため。
- プラスチックゴミは海を破壊するので、なんとかしたい。
- ゴミを減らしたいから。
- ゴミ袋の有料制度及び単価が高いと感じます（他地区経験上）。また、無料補助制度の期間や対象にも疑問を感じます。
- ごみの減量は粕江に限らず、地球規模かつ個人や地元レベルで取り組むべき問題だから。
- 市のごみ対策に期待しています。
- プラゴミは資源ゴミにならないのか。
- 現在の取組みには満足しているが将来は？
- 毎日、毎週必ず出てしまうゴミなので、ゴミ袋代が気になる。
- ごみ袋を無料にしてほしい。
- ごみを減らし、きれいなまちになってほしいから。

- 究極は地球のため。
- 資源の有効利用をよく取り入れている。
- ごみ処理、資源回収体制の確立。
- ゴミの多い世の中なので。
- ゴミを減らせるよう各家庭に配布。
- 他の市区町村より確立している。
- キレイで住みやすいまちでい続けてほしい為。
- ごみが有料なのできれいなになればいい。
- 取組みに満足。
- 小規模な市の特性を生かしたまちづくりをして欲しい。
- 安定的なごみ処理体制の確立。
- 収集袋を購入しなくてもいい環境に。
- 特にプラスチックの回収再利用が重要と思うため。
- 資源回収、リサイクルに興味がある為。
- ごみ処理については満足していますが、常に関心を持っています。
- ごみ袋が高い。
- ごみ減量で少しでも環境にやさしくすべきだと思うから。
- 狛江市は他よりもごみの分別や減量が進んでいると思う。より完璧にするには民間業者まかせではなく、担当課も現場へ。
- 資源ごみの回収、ごみ減量に。
- プラゴミを資源として回収してほしい（経済的理由）。調布市は無料なのに…。
- ごみを減らしたい。調布のようにプラごみを無料回収できると減るのでは。
- 快適な暮らしの持続には、重要だと思う。
- 毎日の生活に欠かせない問題なので。
- ゴミ分別はさほど厳しくなく、戸別集収も助かっている。
- ゴミのリサイクルの強化をしてほしいため。
- 循環型社会、安定的なごみ処理体制の確立。
- 資源回収体制と安定したごみ処理体制に満足。
- 資源ゴミの回収方法が最近変わったため。
- リサイクルゴミを自治体で解決できる様なインフラ整備を強化してほしい。
- ごみの分別が細かい。
- ゴミ袋が高い。
- 世田谷区のように、ゴミを無料化してほしいとか課題多し。

19 環境保全

- 契煙スペースまわりでのゴミや吸いがらの放置などマナーの悪さが目立つ。
- 歩きたばこ、ポイ捨て等、たばこの臭い、規制をもっと、厳格に行なって欲しいです。

- 市内の路上での禁煙を強化して欲しい。
- 歩きタバコ禁止（守られていない）。
- 未だに歩きタバコを多く見かけます。罪金取るなり、きびしい対応をお願いしたい。
- 路上喫煙禁止域をもっと広げてほしい。
- 環境が整っていないと人は生活できないため。
- 畑をつぎたいと思えるように一次産業の活性化、税制上の優遇など考えて欲しい。
- 異常気象が気になるため。
- 以前、このような事業に関わりがあったため。
- 放射線量は毎日公表。
- 歩きタバコ、ポイ捨て、ゴミ放置、かなり改善もまだ課題。
- 環境に留意している事を感じる。
- 働き手が減少する社会では、循環型社会の確立が必須と思っている。循環型社会を作るための施策を今後もより推進してほしい。
- 市内野菜をもっと知る。
- 路上喫煙多い。とても嫌だ。
- 美しく安全な街にしてほしい。
- 放射線量は気になるので。
- 東北の放射線量が今どれくらいかを一カ月に一回位知りたい。
- 緑豊かな街であってほしい。
- 緑あふれる心安らぐ町に住みたいから。
- 地域美化。
- 地域の変化を推進してもらいたい。
- 将来にわたって重要。
- 環境促進のため。
- 農地が無計画に宅地・住宅になっているように思える。
- 自然環境の良い粕江を保てるように。
- 自然エネルギーの利用を増やしてほしい。
- 住み続けたいと思えることに必要。
- 環境美化は必要。
- 粕江産の野菜、果実は本当に安全なのかしら？といつも…。
- これ以上の開発を止めるため。
- 地域の美化。
- 定期的な活動を根付かせる。
- アパートなど管理がきちんとされていないところへの指導。
- 環境問題に興味があるから。
- 放射線量の公表。
- 環境が大事だから。
- 安全に子供を育てたいため。
- 地域美化に力を入れると環境が良くなって若い人も住みたい街になると思うので。

- 安全な生活の基本のため。
- 多少気になるので。
- 多摩川などの自然豊かな狛江を維持したいため。
- 狛江らしさ。
- 環境が良いことは大事なことから。
- 時間をかけ、今後もとどまることなく取り組む問題。
- 選挙マイク・スピーカーの使用禁止。うるさい。
- 気持ち良く安心して生活したいため。
- 都市と自然のバランスを保つ為。
- 緊急時に対応できるか、気になる事も在る為。
- 熱中症を防ぐ為にも陽かげを作るいちょう並木をもっと増やしてほしい。座れる椅子もあると私達年寄りには助かります。
- きれいな町づくり。
- 道路の緑化や雪かきがきちんとされているため。
- 空地や畑も必要。家が建ち並ぶと息苦しい
- 居住する大規模集合住宅敷地内には、大小含めて、樹木がかなりあるが、特に大きな樹木には市から保全の為の補助金が出ている様である。
- いつも狛江は各地域で、美しい環境であってほしい為。
- 子育て中のため。
- 放射線量の測定・公表をキチンと続けてほしい。自然を破壊する政策や推進には反対です。
- メビウス駅前広場ができたのは良いが、たばこを吸う場所が近いので不快です。子供が遊んでいるのに、なぜあの場所にあるのか？不適應だと思う。
- 低炭素社会の構築に興味があるため。
- 近所の駐車場に無断でネコに餌やりをする人がいる　フン、尿でこまっている。
- 環境美化。
- 多摩川など、環境に関心があるため。
- 緑の保全。公園管理　低炭素社会の構築。
- 低炭素社会の実現のため、原発再稼働を必要と考えるべきか？
- 狛江の良さは豊かな自然だと思います。
- 住民の活動が固定化していないか？広がりが無い？
- 発展とは、無制限なものではなく、本来あるべき姿の土台（環境）を堅持しながら行うものとする。狛江を本当の意味で発展させたい。

20 市民参加・市民協働

- 他の狛江市民の人と仲良くなる場が欲しいから。自分も狛江市のために何かしたいから。

- 市政へもっと関心を持つようにするべきだから。
- 原則情報をオープンにすることで人の行動は変わる。
- 市民参加。パソコン教室他の参加。
- まちづくりに参加していきたい思いがあるため。
- 即アクションすべき。情報共有の発信は小都市の強みとして積極的にすべき。
- 市民が積極的にまちづくりに関与し、声を上げていくべきと考えるため。
- こまえば 1 2 3 4 の活動をもっとアピールしていくと良い。
- グルメイベントに興味があります。
- 情報の共有。
- 障害 1 級の父の世話を 1 人で行っているが、人員不足とのことで相談員を付けてもらえず、大変に苦勞している。移住を考えたり、狛江市民に、「最期まで安心して暮らせない町」だと広報したいくらいの気持ちである。20 年近く、税金をきちんと納めてきた父が、平等な（他地域と）サービスを受けられないことに、多大ないきどおりを感じている。品川区から引っ越してきて、自然豊かな狛江を気に入っているだけに残念でならない。また、前例がない、とのことで介護保険のケアマネや（そもそも事務所が少なすぎる）、市担当者も経験不足、知識不足すぎる。調布や世田谷の現状をきくと、不平等感がつくる。せめて、近隣地域との情報共有を密にし、連携できる体制を整えるべきだ。情報リテラシーへの意識も低すぎる。人材育成にも力を入れてほしい。また、このような現状を公開し、市民の「高齢化社会」への意識改革をさらに促進すべきだ。「エンディングノート」はよい試みと思うが、部数が少なすぎるし、告知されていなさすぎ。住宅や公共施設のバリアフリー化もすすめ、支援し、寝たきりを作らない対策も必要。『ゆりかごから墓場まで』を、小さいまちだからこそ、地域のつながりの深さの中で実現してほしい。市内にある有料老人ホームは情報や人財をもっている。もう少し交流して、開かれたものにすることで、お互いに、共生しやすくなるのではないか。情報の共有化、市民からの情報発信と交流の場を、対面だけでなく、ネットワーク（Web）でも充実させることで、若い世代の新しいアイデアや考えをとり入れていくべきだ。また、世代を超えて、それら情報を共有していくべきだ。地域交流も、観光ばかりにかたよっているように思われる。（目立つものが観光だけかもしれないが）福祉面での交流など、実のあるものを増やしてほしい（人的・物質的交流、含む）。
- 情報開示がまだまだ少ない。
- 市民が、市を活性化させるための事業をサポートしてほしい。
- 新旧住民が参加できる環境作り。
- 助け合う市で、互いに協力する風土ができればよい。
- オリンピックに向けて、観光案内の充実をこれからも！
- 思想的に片寄った団体等への注意をしてほしい。
- あまり情報が流れて来ない。友人がいないせいかも。無感心の方が多いのかも…。
- 市民活動に積極的に参加したい。
- 市役所横というか裏の門の閉め切りに反対ですが、意思を表明する機会も方法も無い。

- 広報など情報発信は多い方が良いと思う為。
- 別の街で、劇的に変化した状況を知ったため。
- 市政の政策決定過程を市民にきちんと情報発信することは民主主義と自治の基本だから。積極的な情報公開を求めます。
- 活気ある町づくりになる。
- 主に子育ての事だが、情報がちらばって発信されている為、一括して見れるようになればありがたい。
- 開かれた市政。市が何をしているのかわからない。
- 地域住民に密着した透明な行政推進は今後益々重要だから。
- 役所に任せるのではなく市民参加をしていくことで良好な関係をつくるのが、行政運営の活性化につながると思うので。
- 市民同士の連携が必要。
- 上記の小分野を更に充実推進する為には、市民協働を推進する事が狛江市のまちづくりに必須である。
- Me Too。
- 住みやすい町づくりには市民同士のコミュニケーションが必要だと思うため。
- 私自身、市について詳しく知らないため。
- 市民参加が不十分と感じるから。
- 情報共有をもっと積極的に。
- 市民への情報発信。
- ツイッターでよく情報を目にするから。
- 現状の国会や、官僚を見れば一目瞭然。人材選び、行政改革なくして将来はない。
- ポイント制の採用、市民大学を毎週、又は講座毎に連続で企画。文化・スポーツでも講座出席でポイント。大会も有。ヨガ他も。そのポイントを換算して市内のお店で物を買うことが出来る。

21 行財政改革

- 市民税が高い。
- 箱モノは不要。市役所の効率化を進めて欲しい。
- 広報の内容が薄い。細かな説明、経過、情報をこまめに出すべきだ（毎回、同じ質問、同じ回答、ちっとも進んでいる情報がない）。
- 税は、大切に利用して欲しい。
- 市議会議員が多すぎる。
- 効率化して市民税（住民税）の減税をしてほしい。
- セクシャルハラスメント疑惑は、事件の責任の負うことももちろんだが、再発防止のための制度、条例、を定めないと、双方すべきこと、すべきでないことが分からなくなり、また同じことが起こる。

- 狛江市は、となりの調布市のような華やかさ（財）がないと思う。
- もっと頑張っていたきたいので（借金が多い）。
- 財政基盤の強化が何より。
- このまま頑張りたい。お役所の人達も親切。
- 市民税を減らしてもらいたいから。
- 効率的行政に期待、PFI民営化の推進。
- 議員数が多い。
- あまりお金があるとは思えないので。
- 収入を増やすか、出費を減らすしかない中、市が小さいので、バランス良く、事業者の受け入れや、他自治体等との協定連携が必要と思うため。
- 民間から顧問を雇うなどし、変革すべき。積極的な情報共有も求む。
- 投票所が遠い。駅近くにないので選挙に参加できない。
- 市内から大企業がなくなり法人税収が減ると思われ、今後の市の財政が心配なため。
- 財政基盤の安定要。
- 健全な財政を望む。無駄が多いと感じる。
- 仕組みがいまいちよくわかってないので理解していきたい。
- 世田谷区、調布市との合併を行い、有効な税金の使い方をしてほしいため。
- 今時、住民税の電子送金も出来ないとは、遅れすぎていませんか？
- 市長に辞めて欲しいため。
- 健全な財政を。
- 財政基盤強化は大切。
- 住みよい街にするには、財政基盤が重要と思う。
- 今後の生活し易さに役立つため。年をとって、ゆっくりと生活できるよう。
- 大きな産業がないため、財政基盤が弱い。
- 借金を少なくする対策と成果の周知。
- 市の効率的な推進、IT化が不十分。
- 市の財政を安定させることが必要。
- 財政の使い方、海外等への見学等には、個人費で行く事。
- スクラップ＆ビルドの積極的推進（業務の集約と細分化）→ワンストップサービス（縦割り業務の改善）
- 何の産業もない市が、どうやって構築するのか興味がある。
- 税金の使い道に関心がある。
- いわゆる箱物行政の見直しを求めたいから。
- ふるさと納税の返礼品に魅力がない。
- 小さな自治体での運営は、選択と集中にならざるを得ないが、前々市長（石井）のような放漫経営で迷惑をこうむるのは市民である。
- 狛江市は企業からの法人税収入が少ないのだから、ムダなことにお金や時間を使わず簡素な行政にすべきだと思う。
- 市民税や介護保険料などの負担額がこれにより決まるため。

- 誰でもわかる、効率性のある行政を構築してもらいたい。
- 市長、議員に財政基盤を強化しようとする方策がない。
- すべての政策は財政が基盤になっているので。
- 財政強化で、市民のための、潤った町づくりをして欲しいから。
- 赤字になると将来的にサービス低下につながるため。
- 柔軟な行政、コンパクトで効力的な行政。
- 市の職員が経験を生かした、新しい発想とそれを後押しできる試みがあると良い。
- 狛江の財政がすべての基盤であるため。
- 財政基盤の強化をすべきである。現状であれば、今後安定したものになる要素がないように感じる。
- 財政強化。
- 大事だから。
- 高齢化社会の中で市民へのサービス維持のためには財政基盤の強化が必要と思う。これからも財政基盤強化を進めて下さい。
- 財政の強化。
- 財政部分の使い道を明確に知りたい。
- 全てはお金が無いと何も出来ない為。
- 税金をムダに使われたくない。
- 何事も市の財政がベースになっているからムダなく効果的にしてほしい。
- 税金が適切に使われていない気がします。
- 大分簡素化されてきたと思うが、手続き等非効率でお役所的だと感じる。改正個人情報保護法の活用も柔軟運用を。
- 市行政は市民の生活に直結しているから。
- 財政基盤の強化。
- 市の財政状態がよくなれば、自分たちの生活にも還元されると思うから。
- 市町村合併や議員数の削減を推進して欲しい。
- より安定した財政改革が必要。
- 住民税を大事に使ってほしい。
- 無駄使いをせずきちんと税金を使って欲しい。
- 興味がある。現状を知りたい。
- 住みはじめた頃は健康診断も先着順な程財政難だったが、少しは改善したとしたいので。
- 財政基盤の強化が必要。
- 財政難が今以上にきびしくなるはずなので、無駄を（市職員を減らすべき）なくす。
- 市と関連施設との Web 上のリンクが、利用者側の視点で行なわれていない。一般の利用者ファーストで…。
- 財政状態の説明と今後の展望が知りたい。
- 新卒、第2新卒等の採用を増やし、新しい発想を市政に取り入れて欲しい。現状維持の政策しかしていないように思える。職員の刷新も必要ではないか！

- 東京都内で相対的に弱いため、余力が生まれれば市民に還元してほしい。
- 市長のセクハラ問題、狛江の恥です！！
- 財政が何より大事なことであるため。
- 行政改革。
- 税金のより効率的な運用。
- 行政、財政は市民生活の基本と思います。
- 特に問題を感じないから。
- 狛江市をよりよくするため行財政改革の強化。
- 現状の国会や、官僚を見れば一目瞭然。人材選び、行政改革なくして将来はない。

参考 テキストマイニングによる分析

※テキストマイニング … 大量の文章データ（テキストデータ）から、有益な情報を取り出すことの総称。自然言語解析の手法を使って、文章を単語（名詞、動詞、形容詞等）に分割し、それらの出現頻度や相関関係を分析することで、有益な情報を抽出することができる。

【満足度に係る調査（記述欄）のテキストマイニング】

	単語	スコア	出現頻度		単語	スコア	出現頻度		単語	スコア	出現頻度
1	充実	328.2	151	11	子育て	141.3	77	21	大切	29.4	49
2	狛江	83.3	119	12	環境	72.8	69	22	多摩川	32.9	47
3	子供	77.1	117	13	市民	85.4	68	23	交流	57.9	46
4	必要	37.5	94	14	高齢者	157.0	65	24	安全	26.4	43
5	利用	50.2	89	15	支援	29.4	59	25	狛江市	30.1	43
6	生活	52.7	81	16	道路	95.5	57	26	保育園	87.1	43
7	地域	85.6	81	17	健康	15.6	56	27	今後	30.1	43
8	公園	130.8	80	18	安心	28.8	54	28	活動	27.2	42
9	図書館	136.5	78	19	関心	102.0	51	29	情報	4.1	42
10	整備	219.0	78	20	子ども	36.3	49	30	市内	67.1	39

※スコア … 単語ごとに表示されている「スコア」の大きさは、文書の中でその単語がどれだけ特徴的であるかを表している。通常はその単語の出現回数が多いほどスコアが高くなるが、「言う」や「思う」など、どのような種類の文書にも現れやすいような単語についてはスコアが低めになる。

分析結果

テキストマイニングにより、表中の単語（名詞）が本アンケートにおいて多く記載されていることが分かった。

特に、色が塗られている単語は、個別の施策に関連するものであり、本アンケートにおいて着目すべきと考える。「子供（子ども）」「地域」「公園」「図書館」「子育て」「環境」「高齢者」「道路」「健康」「安心」「多摩川」「交流」「安全」「保育園」といった単語は、市民の関心度が高いことがうかがえる。

皆さんの声を粕江市のまちづくりにいかします！



後期基本計画に関する市民アンケート



**粕江市をより魅力あるまちにするために
アンケートへのご協力をお願いいたします！**

日頃より、粕江市政にご協力いただき、誠にありがとうございます。

粕江市は、将来都市像として掲げる『私たちがつくる水と緑のまち(第3次基本構想)』の実現に向け、行政活動の方向性を示す「粕江市後期基本計画」を定めており、この中で進捗状況を測る指標を設定しています。

今回のアンケートは、これらの指標のうち、市民の皆さんの状態や行動の現状値の把握に加え、今後の政策形成の資料として、市民の皆さんの関心ある分野及び満足度を調査するために実施するものです。

なお、今回のアンケートは、平成30年4月1日時点で満18歳以上の方の中から無作為に抽出した2,500人の皆さんに送付させていただきましたが、回答いただいた内容は、匿名のデータとして統計的に処理しますので、ご迷惑をお掛けすることは一切ございません。

魅力あるまちづくりに向けて、調査の趣旨をご理解いただき、一人でも多くの皆さんのご協力を
いただきますようお願い申し上げます。

平成30年4月

粕江市長 高橋 都彦



ご記入いただきました調査票は、同封されている返信用封筒に入れて、

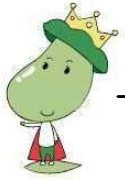
平成30年4月24日（火）までに 郵便ポストに投函してください。

※切手は不要です。

【担当】粕江市企画財政部政策室企画調整担当

電話 03-3430-1111(内線2451・2452)(平日午前8時30分から午後5時まで)

FAX 03-3430-6870



質問は全部で 30 問です。ご協力をぜひお願いいたします。



◆ 以下の質問について、該当する項目 1 つに○をつけてください。

■ はじめに、あなたご自身のことについてお伺いします。

問 1 あなたの性別を教えてください。

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問 2 あなたの年齢を教えてください。

- | | | |
|--------------|----------|--------------|
| 1. 10 歳代 | 2. 20 歳代 | 3. 30 歳代 |
| 4. 40 歳代 | 5. 50 歳代 | 6. 60 歳～64 歳 |
| 7. 65 歳～69 歳 | 8. 70 歳代 | 9. 80 歳以上 |

問 3 世帯の構成を教えてください。

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみの世帯 |
| 3. 二世帯世帯（親・子） | 4. 三世帯世帯（親と子と孫） |
| 5. その他（ ） | |

問 4 あなたご自身も含め、ご家族の中に次の方はいらっしゃいますか。（該当するものすべてに○をつけてください。）

- | | |
|--------------|-------------|
| 1. 高校生以下の子ども | 2. 65 歳以上の方 |
|--------------|-------------|

問 5 あなたがお住まいの地域を教えてください。

- | | | |
|---------|---------|--------|
| 1. 和泉本町 | 2. 中和泉 | 3. 西和泉 |
| 4. 元和泉 | 5. 東和泉 | 6. 猪方 |
| 7. 駒井町 | 8. 岩戸南 | 9. 岩戸北 |
| 10. 東野川 | 11. 西野川 | |

問 6 あなたは、狛江市に住んで何年になりますか。

- | | | |
|---------------|------------|-----------|
| 1. 生まれてから現在まで | 2. 1 年未満 | 3. 1～5 年 |
| 4. 6～10 年 | 5. 11～20 年 | 6. 21 年以上 |

■ 狛江市に対する考えについて伺います。

問 7

- | | |
|----------------|-------------|
| 1. ずっと住みたい | 2. 当分は住むつもり |
| 3. できれば市外に移りたい | 4. 市外に移りたい |
| 5. わからない | |

問 8

1. 水と緑が豊かなまち
2. 狛江ならではの文化をはぐくむまち（音楽、絵手紙など）
3. 安心安全に過ごせるまち
4. コンパクトさを生かせるまち
5. 農・商・工業の調和の取れたまち
6. 歴史・文化財を大切にするまち
7. にぎわいのあるまち（多彩なイベントなど）
8. 皆が優しいまち
9. 子育てしやすいまち
10. だれもが住みやすいまち
11. 健康に暮らせるまち
12. 教養を高めあうまち
13. 美しい景観、まち並みのあるまち
14. 交通環境が良いまち
15. 環境にやさしい、きれいなまち
16. 地域のつながりが強いまち



■ 防災・防犯についてお伺いします。

問 9

- | | |
|---------|------------|
| 1. 参加した | 2. 参加していない |
|---------|------------|

問 10

- | | |
|------------|---------------|
| 1. 備えをしている | 2. 特に備えはしていない |
|------------|---------------|

問 11

1. 知っていて、浸水区域等を確認している
2. 知っているが、浸水区域等は確認していない 3. 知らない

問 12

1. 防災行政無線（市内一斉放送） 2. テレビ・ラジオ 3. 市ホームページ
4. ツイッター・フェイスブック 5. 緊急速報メール 6. こまえ安心安全情報メール
7. Yahoo!防災速報 8. 広報車で呼びかけ 9. 市へ直接問い合わせる
10. その他（ ）
11. わからない 12. 市からの情報を手に入れたくないと思わない

問 13 あなたは、空き巣・ひったくり・振り込め詐欺など、身近で起こり得る犯罪の被害にあわないよう、何らかの対策をとったり、心がけていることはありますか。

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 対策をとったり心がけていることがある | 2. 特に対策や心がけはしていない |
|-----------------------|-------------------|

■ お住まいの住宅についてお伺いします。

問 14 あなたがお住まいの住宅は、昭和 56 年 6 月 1 日以降に建てられたもの（新耐震基準により建てられた住宅）、または、その日より前に建てられた住宅で既に耐震化されているものですか。

- | |
|---|
| 1. 昭和 56 年 6 月 1 日以降に建てられた住宅（新耐震基準）である |
| 2. 昭和 56 年 6 月 1 日より前に建てられた住宅であるが、既に耐震改修を行っている、または、耐震診断の結果、耐震化の必要がないと判明している |
| 3. 昭和 56 年 6 月 1 日より前に建てられた住宅であり、耐震改修を行っていない |
| 4. わからない・その他（ ） |

■ 健康についてお伺いします。

問 15 あなたは、かかりつけの医療機関がありますか。

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. かかりつけの医療機関がある | 2. かかりつけの医療機関はない |
|------------------|------------------|

■ 伝統・文化についてお伺いします。



問 16 あなたは、平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの間に、コンサートホールや美術館・ギャラリーで芸術を鑑賞したり、自ら文化・芸術活動に取り組むなど、文化・芸術活動に触れる機会がありましたか。（自宅や通勤通学途中で音楽を聴くといったことは除外してください。）

- | | |
|--------------|---------------|
| 1. 触れる機会があった | 2. 触れる機会がなかった |
|--------------|---------------|

問 17 あなたは、粕江市の歴史や伝統について、関心を持ったり、見聞きしたことがありますか。

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. ある | 2. どちらかといえばある |
| 3. どちらかといえばない | 4. ない |

■ イベントや催しについてお伺いします。

問 18 あなたは、平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日までの間に、狛江市内で開催されたイベントや催しに何回参加・見学しましたか。

- | | |
|----------|----------|
| 1. 2 回以下 | 2. 3 回以上 |
|----------|----------|

■ 市内で生産される野菜についてお伺いします。



問 19 あなたは、狛江産の野菜をどれくらいの頻度で食べていますか。

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1. 週に 1 回以上 | 2. 月に数回程度 |
| 3. 月に 1 回程度 | 4. 年に数回程度、またはそれ以下 |
| 5. 特に産地を意識していないのでわからない | 6. 狛江産の野菜は食べない |

■ スポーツ活動についてお伺いします。

問 20 あなたは、週に 1 回以上の頻度でスポーツ活動※をしていますか。

※「スポーツ活動」とは、サッカーやランニング、水泳などの近代スポーツのほか、体操やウォーキングなどの健康を志向するスポーツや、登山やハイキングなどの野外スポーツ、ダンス、ボウリング、ゲートボールなども含みます。

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 行っている | 2. 行っていない |
|----------|-----------|

■ 市民公益活動についてお伺いします。

問 21 あなたは、市民公益活動※に取り組んでいますか。

※「市民公益活動」とは、個人での清掃活動や見守り活動、ボランティアやNPO 法人での活動等、市民が自主的かつ自発的に行う不特定かつ多数のものの利益の増進に寄与することを目的とする活動のことです。

- | | |
|------------|-------------|
| 1. 取り組んでいる | 2. 取り組んでいない |
|------------|-------------|

■ 公共施設の利用についてお伺いします。

問 22 あなたの公民館の利用頻度を教えてください。

- | | |
|------------|----------------|
| 1. 週 1 回以上 | 2. 月に 1 回以上 |
| 3. 年に数回程度 | 4. 全く利用したことがない |

問 23 問 22 で「3. 年に数回程度」, 「4. 全く利用したことがない」とお答えいただいた方に伺います。公民館をあまり利用しないのはなぜですか。

1. 公民館を使用するようなサークル活動等をしていないから
2. 公民館事業に魅力を感じないから
3. 利用したい機材や設備がないから
4. サークル, 団体活動などの人付き合いが面倒だから
5. 開館している時間や利用の仕方が自分の生活と合わないから
6. 学習スペースが少ないから
7. 市内に公民館があることを知らなかったから
8. その他 ()

問 24 あなたは, 市民活動支援センター「こまえくぼ1234」※を利用したことがありますか。

※平成 28 年 4 月に開設した施設で, 市民活動団体や市民活動に参加したい方を支援する施設のことです。

1. 利用したことがある, または利用する予定がある
2. 今後利用してみたいと思う
3. 利用したいとは思わない
4. 知らない

■ 地域の行事や活動, ふれあいの機会についてお伺いします。

◎この質問は, 65 歳以上(平成 30 年 4 月 1 日現在)の方のみお答えください。

問 25 あなたは, 日ごろから地域の行事や活動に参加したり, 他の人とふれあう機会がありますか。

1. 定期的に活動やふれあいの機会がある
2. 定期的ではないが, 活動やふれあいの機会がある
3. 活動やふれあいの機会はあまりない
4. 活動やふれあいの機会がない

■ 自転車利用についてお伺いします。



問 26 あなたは, 狛江市でコミュニティサイクル※が導入されたら, 利用しますか。

※「コミュニティサイクル」とは, 街中にいくつもの自転車貸出拠点(ポート)を設置し, 利用者がどこでも貸出・返却できる新しい交通手段で, 地方公共団体単体で実施している場合と, 複数の団体で移動可能なものがあります。

1. 利用したい
2. 近隣自治体でも移動可能であれば利用したい
3. 利用する予定はない

問 27

1. 観光のため 2. 地球温暖化対策（二酸化炭素排出抑制）のため
3. 健康のため 4. その他（ ）

問 28

1. 放置禁止区域を広げる
2. 今以上に自転車を撤去する
3. 駐輪場を増やす
4. 現状のままでよい

■ 関心のある分野及び満足度についてお伺いします。

問 29

②：①で選んだ理由を記入してください。

【記入例】 7「防災・防犯」、17「自然環境」に関心がある場合

①小分野番号	②：①の理由を記入してください。
7	市の震災等への取組みに満足しているため。
17	公園で子供と遊ぶ機会が多いため。

【回答欄】

①小分野番号	②：①の理由を記入してください。

問 30

【満足度の基準】

1. 満足している 2. やや満足している 3. どちらともいえない
4. やや不満がある 5. 不満がある

分野における市の取組み及び各小分野における事業例

分野	番号	小分野	事業例	満足度 回答欄
都市基盤	1	まちづくり	土地利用の計画的誘導, 住宅施策の推進, 都市拠点の形成, 良好な景観の形成	
	2	交通	交通環境の整備, 道路整備の推進	
市民生活	3	市民交流	地域交流の推進, 都市間交流の推進	
	4	市民文化	さらなる地域文化の振興, 文化・芸術活動の推進	
	5	地域振興	商工業の振興, 都市農業の振興, 観光の推進とイベントの充実, 消費生活の充実	
	6	生涯学習	生涯学習機会の充実, 図書館利用の推進, スポーツ・レクリエーション活動の促進, 歴史遺産・文化財の保存と活用	
	7	防災・防犯	防災機能の強化, 地域との連携, 防犯対策の充実	
	8	平和・人権	平和を求めるまちづくり, 人権を尊重するまちづくり	
子ども	9	子育て	保育環境の整備, 子育て家庭への支援, ひとり親家庭への支援	
	10	青少年	放課後対策の充実, 青少年の自立と社会参加	
	11	学校教育	生きる力を育む教育の推進, 特別支援教育の推進, 地域との連携の推進, 教育環境の充実, 教育施設の整備	
福祉・健康	12	地域福祉	相談機能の充実, 地域福祉活動の推進, ユニバーサルデザインの推進, 避難行動要支援者対策	
	13	高齢者福祉	自立生活の支援, 生きがいづくりの推進, 介護予防・認知症予防の推進, 介護保険制度の推進	
	14	障がい者福祉	相談体制の強化, 障がい福祉サービスの充実, 自立生活・社会参加の支援, 発達障がい者（児）の支援, 高次脳機能障がい・難病者（児）の支援, 虐待防止の推進	
	15	生活福祉	生活困窮者への支援, 就労支援・就学支援体制の強化	
	16	保健・医療	健康意識の向上, 健康診査の充実, 健康づくりの推進, 母子保健の充実, 地域医療体制の充実, 感染症対策の充実, 国民健康保険の安定的な運営	
環境	17	自然環境	水環境の保全と活用, 水循環の推進と下水道施設の整備, 緑の保全と創出, 公園の整備と管理	
	18	循環型社会	ごみ減量化の推進, 安定した資源回収体制の確立, 安定的なごみ処理体制の確立	
	19	環境保全	環境保全意識の啓発, 低炭素社会の構築, 日常生活の環境の維持, 地域美化の推進, 放射線量の測定・公表	
行財政改革	20	市民参加 市民協働	情報の共有化と積極的な情報発信, 市民参加の促進, 市民協働の推進	
	21	行財政改革	財政基盤の強化, 簡素で効率的な行政基盤の構築	

以上でアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。

※返信用の封筒に入れて, 平成 30 年 4 月 24 日（火）までに郵便ポストに投函してください。

狛江市のキャラクター紹介



日本一安心で安全なまち推進キャラクター
【安安丸（あんあんまる）】



「こまえ子育てねっと」のキャラクター
【えだまめ王子】



「音楽の街ー狛江」のキャラクター
【こまねちゃん】



「狛江ブランド野菜」のキャラクター
【狛ベジちゃん】



狛江市環境マスコットキャラクター
【えこまさん】



「こまバス」のキャラクター
【きたこま】

登録番号 H30-14

平成30年度狛江市後期基本計画の指標等
に係る市民アンケート調査報告書

平成30年7月発行

発	行	狛江市
編	集	企画財政部 政策室
		狛江市和泉本町一丁目1番5号
		電話 03(3430)1111
印	刷	庁内印刷
頒布	価格	190円